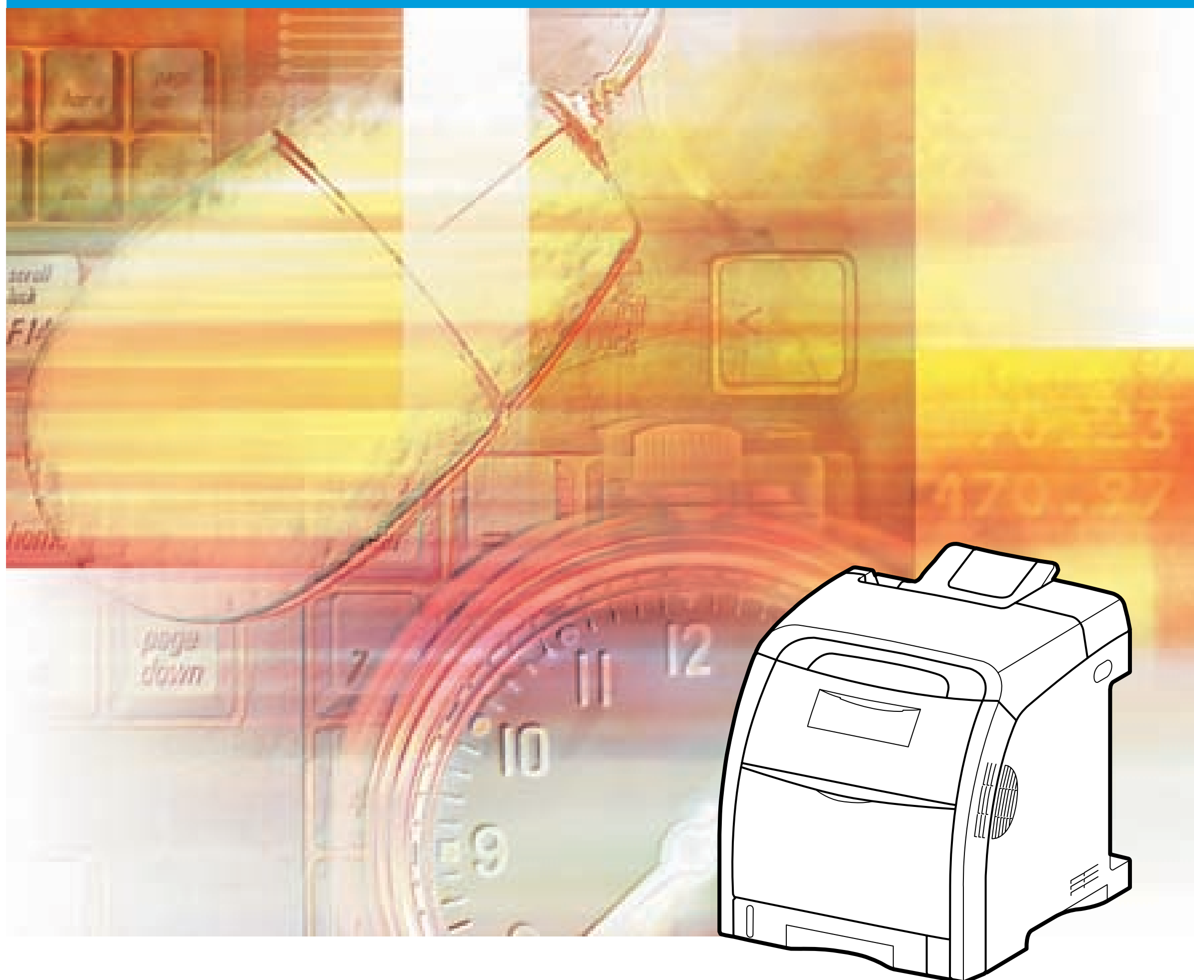
Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5400

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。


このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **コンピュータと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド 

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド 

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書） 

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

ネットワークガイド／本編 

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド 

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**

リモート UI ガイド 

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書
オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

目次

第 6 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5400 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告　取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

  例：　[オンライン]
  　　　[ユーティリティ]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：　[OK]
  　　　[変更]

OS について

Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows operating system：	Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、imageWARE、LBP、LIPS、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PowerPC、PS/55 シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	• 刑法 • 著作権法 • 通貨及証券模造取締法 • 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 郵便法 • 郵便切手類模造等取締法 • 印紙犯罪処罰法 • 印紙等模造取締法

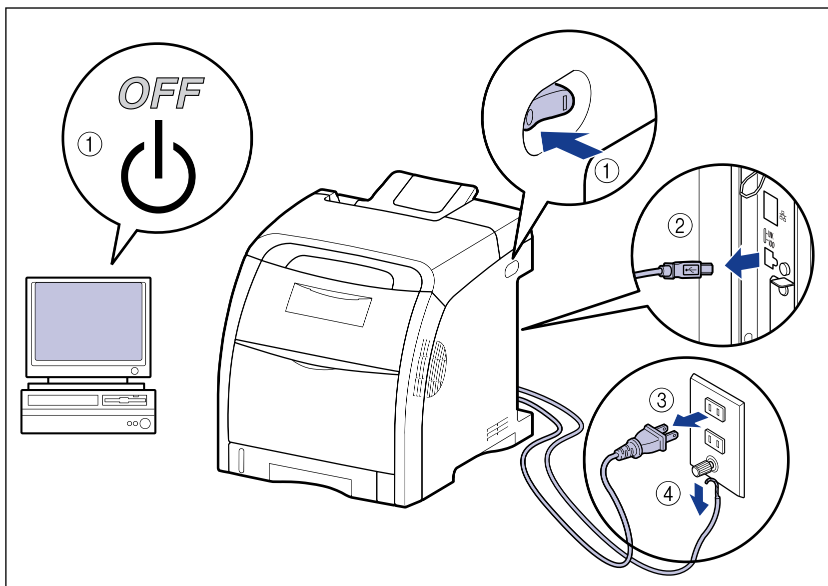
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  ・アクセサリーなどの金属物
  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

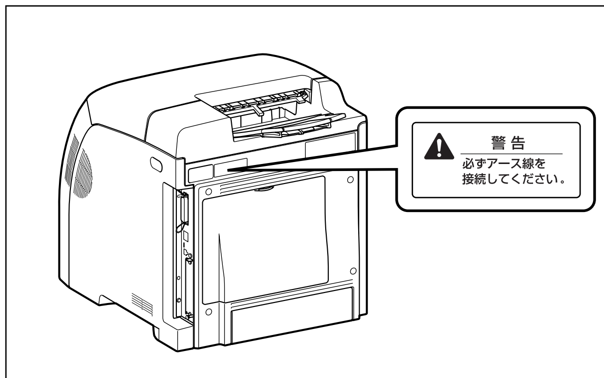
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→ プリンタを移動する：P.4-27）

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

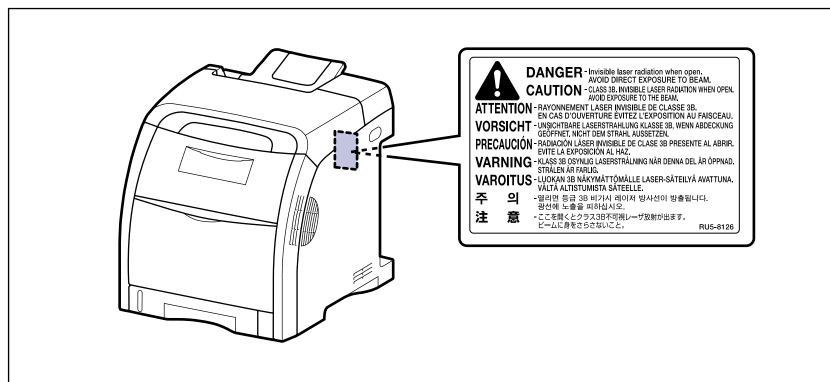
⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USBケーブルを接続している場合は、USBケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

- 製品を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  - ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。



  - ・この製品は IEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

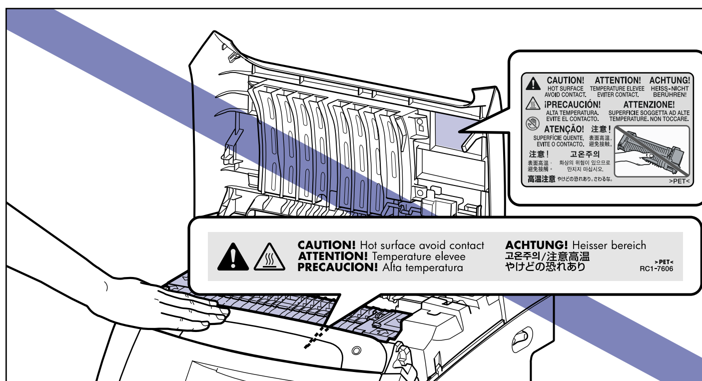
保守／点検について

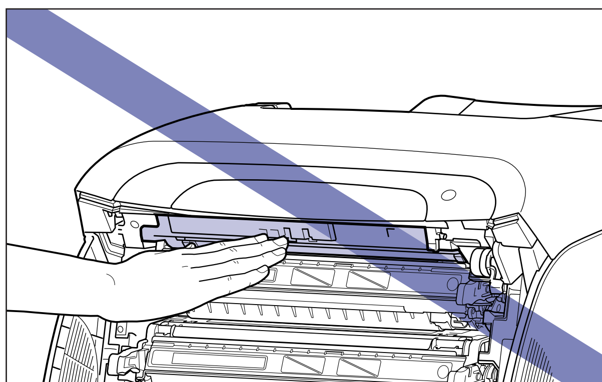
⚠ 警告

- 清掃のときは、プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。





- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ **高品位 A4 フルカラープリント**

印字機構に A4 カラーレーザプリンタエンジンを搭載。さらにデータ処理解像度を600dpi ／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングを A4 サイズで実現しました。

■ **高速プリント**

高速 CPU や、新 PDL の採用によりコントローラ処理時間の高速化を実現。さらに現像ドラムを４つ持つことで、従来モノクロプリントの４倍の時間を要したカラープリントが、モノクロプリント同様のスピード（毎分 21 枚）で行うことが可能になりました。

■ **エコロジー**

「資源エネルギー庁長官賞」受賞経験のある低消費電力を実現したオンデマンド定着方式を採用。オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「スリープモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。

■ **イージーメンテナンス**

トナーとドラムが一体化したシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの４色のトナーカートリッジ（キヤノン純正品）により、手を汚しやすいトナーの補給や面倒なドラムの交換がなくなり、このトナーカートリッジを交換するだけで簡単に日常のメンテナンスが行えます。さらに、カバーが前面に配置されているため、トナーカートリッジなどの交換が簡単に行え、用紙が機器内部につまったときも簡単に取り除けます。これは、給紙・現像・転写・定着というプロセスをすべてプリンタの前面で行わせ、用紙の搬送経路を簡略化することで可能になりました。

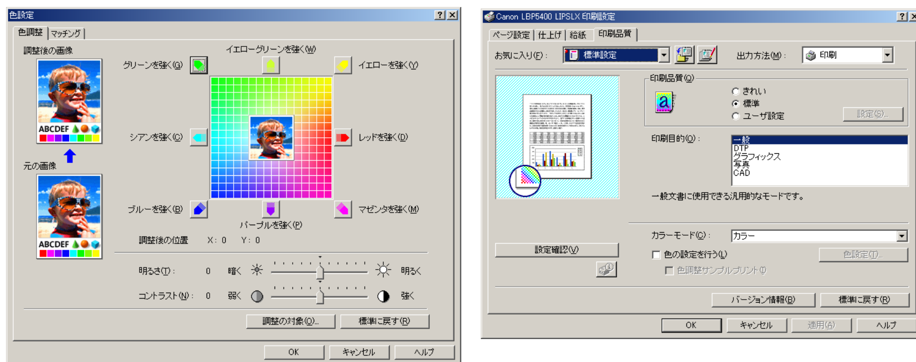
■ **ペーパーハンドリング**

標準の手差しトレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで 500 枚ペーパーフィーダを用意。最大 850 枚（64g/m^2 の場合）、3 種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、両面ユニットを標準装備することで、手差しトレイや給紙カセットにセットした用紙を自動両面印刷できます。これにより、用紙の節約やファイルスペースの効率化が図れます。

■ 簡単操作のカラーコントロール

カラーマトリックスを使ったユーザインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも調整した画像サンプルを 1 枚の用紙に出力するサンプルプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。

また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。



■ ネットワークプリンタ

10BASE-T/100BASE-TX　対応のプリントサーバを標準装備。TCP/IP、SMB、AppleTalkのプロトコルに対応しており､多様なホスト／OS環境に対応するネットワークプリンタとして、すぐにお使いになれます。また、高速 DMA 転送（プリンタのメモリに直接データを送る）や自動インタフェース切り替え、自動エミュレーション切り替え機能によって、ネットワーク環境下での快適なプリンティングを実現しています。

標準装備のプリントサーバには、ブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。

メモ　本プリンタに内蔵のプリントサーバの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ ユーザフレンドリー

高速な USB2.0 インタフェースを標準装備し、Windows のみでなく Mac OS にも対応可能となった簡単操作が自慢の LIPS プリンタドライバを用意しました。

印刷したい設定をアイコンで簡単に選択できる「お気に入り」メニューや、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等の便利なプリント機能を使用できます。

さらに、コンピュータ上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」を提供します。プリンタの使用状況や出力総量の集計・分析が可能な「imageWARE Accounting Manager」（有償）やプリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをコンピュータ画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」等を同梱しています。

■ セキュリティ機能が充実

オプションのハードディスクを装着すると、印刷時にパスワードの入力が必要な「セキュアプリント」機能に加え、データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用することができます。また、ハードディスク内のデータを完全に消去する「ハードディスク完全消去」機能やリモートUI の通信に SSL を使用することができ、より安全なプリント環境を実現しました。



暗号化セキュアプリント機能を使用する場合は、「暗号化セキュアプリントドライバ Add-in」をインストールする必要があります。
インストール方法は、付属の CD-ROM 内の「Readme.txt」を参照してください。

■ さまざまなプリント方法に対応

本プリンタはネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができる BMLinkS に標準で対応しています。また、TIFF や JPEG のデータを直接プリンタに送って印刷する「ダイレクトプリント」機能や、E メールをプリンタに送って印刷する「E メール印刷」機能にも対応しています（E メール印刷はオプションのハードディスク使用時のみ可能）。

■ TrueType フォント「FontGallery」同梱

和文 20 書体、かな 31 書体、欧文 100 書体を標準で CD-ROM に収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG 環境を実現できます。

また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGallery の各種 TrueType フォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。

■ LIPS V に対応

LBP5400 は、LIPS の資産を継承した、最新テクノロジーである「LIPS V」に対応しています。LIPS V は、LIPS IV（LIPS II+、LIPS III を含む）および LIPS LX から構成されています。

LIPS LX は、最新の OS に最適化されたプリンティングシステムで、印刷処理をコンピュータとプリンタで分散させて行なうため、高速なプリント出力が行なえます。また、プリンタのメモリ追加を行なわない場合でも、高速なプリント出力が可能です。



LIPS LX は Windows 2000/XP/Server 2003/Vista および Mac OS X のみで使用可能です。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

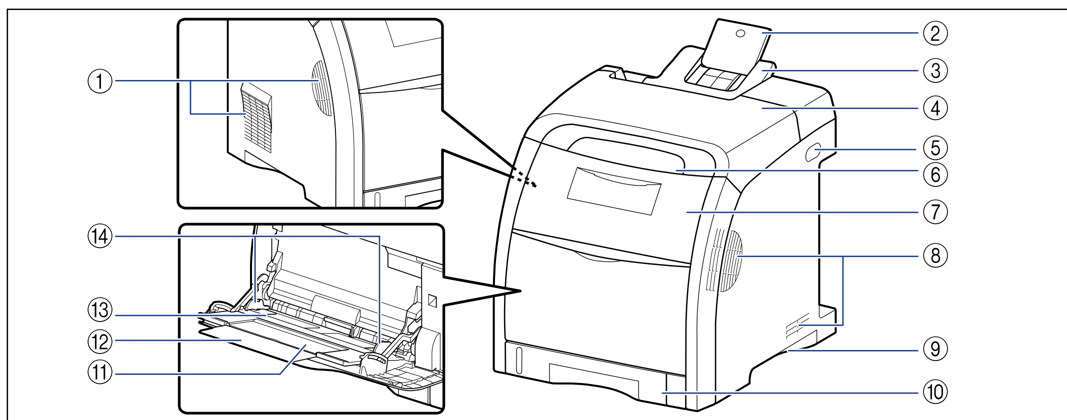
本体

プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

⚠注意　本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。



① **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

② **補助トレイ（排紙トレイ）**
リーガルサイズの用紙を排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

③ **排紙トレイ**
印刷された用紙が下向きで排紙されます。
（➞P.3-16）

④ **上カバー**
紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（➞P.5-4）

⑤ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。（➞P.2-6）

⑥ **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（➞P.1-8）

⑦ **前カバー**
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（➞P.4-3）

⑧ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑨ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（→P.4-27）

⑩ **給紙カセット**
普通紙（64g/m ^{2} の場合）で最大 250 枚までの用紙をセットすることができます。（→P.3-18）

⑪ **補助トレイ（手差しトレイ）**
手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

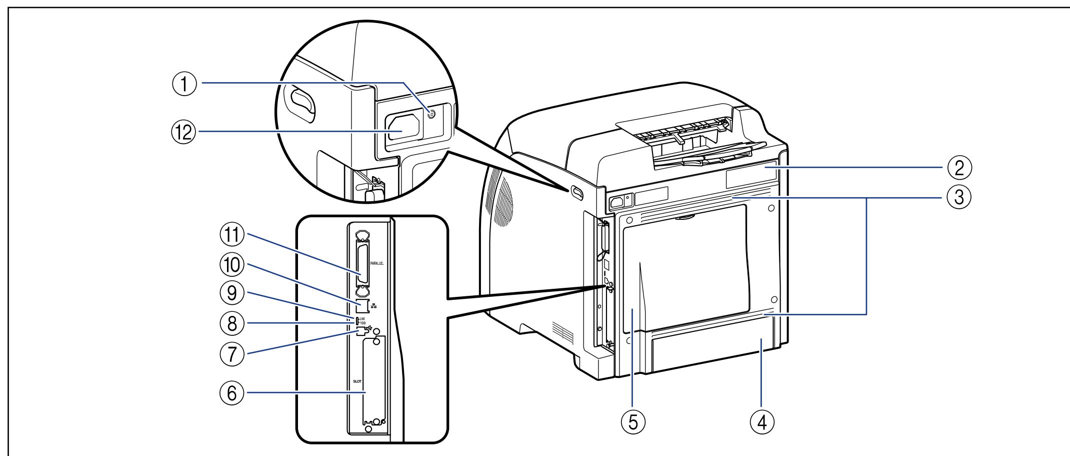
⑫ **延長トレイ**
A4 サイズの用紙など長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

⑬ **手差しトレイ**
用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。（→P.3-34）

⑭ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。



① **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

② **定格銘板ラベル**
明示されている電流値は、平均消費電流です。

③ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

④ **カセット保護カバー**
給紙カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。リーガルサイズの用紙を給紙カセットにセットすると、自動的にカセット保護カバーが上がります。

⑤ **後カバー**
オプションの RAM や ROM、ハードディスクを取り付けるときに、ここを開けて作業します。

⑥ **拡張ボードスロット**
オプションのハードディスクを取り付けます。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

⑦ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。コンピュータが USB インタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑧ **100 ランプ（緑色）**
プリントサーバが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

⑨ **LNK ランプ（緑色）**
プリントサーバがネットワークに正しく接続されているときに点滅します。

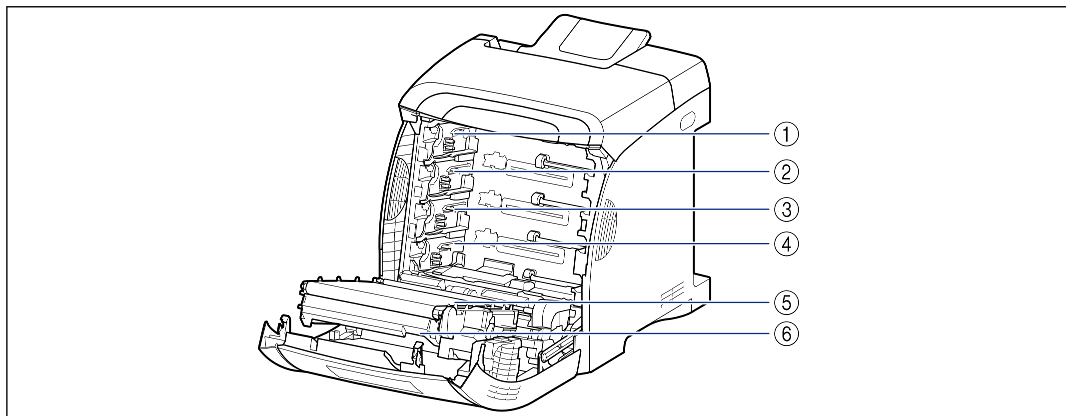
⑩ **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

⑪ **パラレルコネクタ**
IEEE1284 準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。コンピュータのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。（→P.6-12）

⑫ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。



① **K（ブラック）トナーカートリッジスロット**
K（ブラック）トナーカートリッジをセットするスロットです。

② **Y（イエロー）トナーカートリッジスロット**
Y（イエロー）トナーカートリッジをセットするスロットです。

③ **C（シアン）トナーカートリッジスロット**
C（シアン）トナーカートリッジをセットするスロットです。

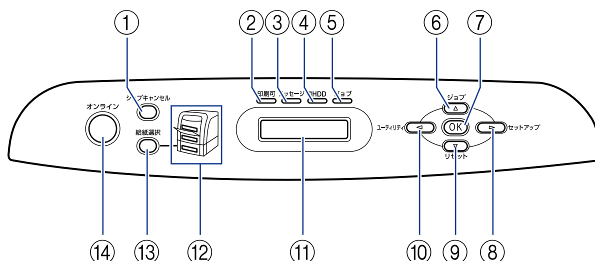
④ **M（マゼンタ）トナーカートリッジスロット**
M（マゼンタ）トナーカートリッジをセットするスロットです。

⑤ **ETB（Electro static Transfer Belt：静電搬送ベルト）ユニット**
用紙を搬送しながら４色のトナーを用紙に転写する装置です。

⑥ **両面ユニット**
両面印刷するための装置です。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



① **［ジョブキャンセル］キー**
オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。
オンライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。

② **印刷可ランプ（緑色）**
点灯：
印刷可能な状態。（オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
点滅：
自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：
印刷できない状態。

③ **メッセージランプ（オレンジ色）**
点灯：
プリンタに何かトラブルが起きて印刷できない状態。（オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
消灯：
プリンタが正常な状態。

④ **HDD ランプ（緑色）**
点灯：
ハードディスクに読み書きを行っている状態。
消灯：
ハードディスクに読み書きを行っていない状態。

⑤ **ジョブランプ（緑色）**
点灯：
印刷データ受信中または、プリンタのメモリに印刷データが残っている状態。
点滅：
印刷データを処理している状態。
消灯：
プリンタのメモリに印刷データが何もない状態。

⑥ **［ジョブ］（▲）キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
ジョブメニューを表示します。
メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑦ **［OK］キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑧ **［セットアップ］（►）キー**
オフライン時：
セットアップメニューを表示します。
オンライン時：
セットアップメニューを表示します。ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。
メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑨ [リセット]（▼）キー

オフライン時：
リセットメニューを表示します。
オンライン時：
リセットメニューを表示します。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑩ [ユーティリティ]（◀）キー

オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
ユーティリティメニューを表示します。
メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑪ ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。（➞P.1-10）

⑫ 給紙元表示ランプ（緑色）

点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。ただし、手差しトレイの場合は、用紙がないときでもランプは点灯します。
消灯：
現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットまたはペーパーフィーダが装着されていない状態。

⑬ [給紙選択] キー

オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：
給紙選択メニューを表示します。
メニュー操作時：
動作しません。

⑭ [オンライン] キー／オンラインランプ（緑色）

コンピュータとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除して印刷を続行させる機能も持っています。ただし、エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：
オンライン状態（コンピュータから印刷データを受信できる状態）
消灯：
オフライン状態（コンピュータからの印刷データを受信できない状態）。
ただし、プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯します。（➞P.2-10）

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

①　00　インサツ　カノウ　　A4　②

操作パネルでメニュー操作中の状態

カクチョウ　キノウ　　→

① **状態、動作欄**
プリンタの状態や動作モードを表示します。

② **給紙元、用紙サイズ欄**
現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。（リーガル：LG、レター：LT、エグゼクティブ：EX、はがき：HG、往復はがき：H2、4 面はがき：H4、洋形 4 号封筒：Y4、洋形 2 号封筒：Y2、ユーザ設定サイズ：80 ～ 99、ユーザ設定サイズ縦、フリー：FR）

プリンタの使いかた

2
CHAPTER

この章では、本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

コンピュータから印刷するには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのコンピュータやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows から印刷するときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

重要 BMLinkS プリンタドライバは、付属の CD-ROM には同梱されていません。以下の URL にアクセスし、BMLinkS プリンタドライバをダウンロードしてインストールしてください。インストールのしかたや詳細については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

■ LIPS プリンタドライバ

Windows アプリケーションから印刷するときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot Device Installer

コンピュータからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はコンピュータへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をコンピュータの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

重要 プリンタとコンピュータを USB やパラレルインタフェースで接続した場合、「NetSpot Job Monitor」は使用できません。

DOS の場合

DOS のアプリケーションソフトで本プリンタを使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択して印刷します。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS モードと IBM PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）の ESC/P エミュレーションモードなどの動作モードを内蔵していますので、キヤノン製 LIPS プリンタや ESC/P 準拠プリンタを、互換性のあるプリンタとして選択できます。また、オプションのコントロール ROM を装着することにより、PC-9800 シリーズ用、PS/55 シリーズ用のプリンタを、互換プリンタとして選択できたり、HP-GL 対応のアプリケーションソフトから印刷できるようになります。



- エミュレーションモードの印刷については、「動作モードについて」（→P.2-52）を参照してください。
- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- オプションのコントロール ROM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

Macintosh の場合

Macintosh から印刷するときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

■ LIPS プリンタドライバ

Macintosh アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

プリンタの状態をコンピュータの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

コンピュータからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はコンピュータへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属の CD-ROM から、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントコンピュータにインストールします。インストールのしかたや詳細については、User Software CD-ROM に収められている取扱説明書や「ネットワークガイド／本編」を参照してください。



- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- ネットワークに接続して使う場合のプリントサーバについては、設置ガイド「第 2 章 プリンタの設置」を参照してください。

電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

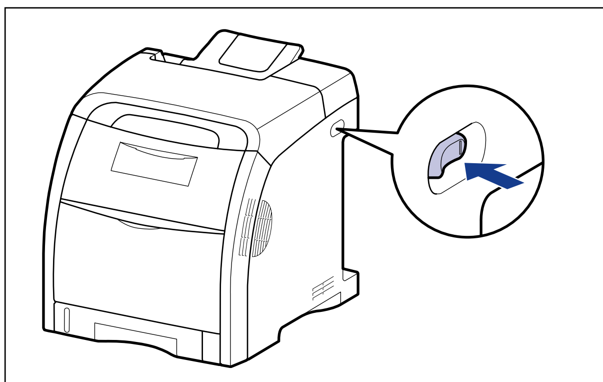
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの“I”側を押し、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、印刷可能な状態になります。

重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにした後に再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（➞P.5-31）、「サービスコール表示」（➞P.5-50）を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。

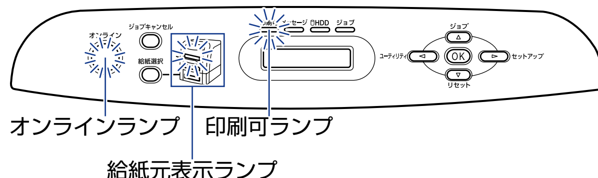
メモ
ハードディスクを取り付けて初めて電源をオンにするときやハードディスクに異常があるときは、電源をオンにした後フォーマットが行われるため、印刷可能な状態になるまで約 60 秒かかります。

1 **プリンタの電源スイッチの“I”側を押します。**



操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果に異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されて印刷可能な状態になります。



ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態　00 インサツ カノウ　A4　現在選択されている給紙元の用紙サイズ

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。電源をオフにする操作は、ハードディスクを使用している場合と、使用していない場合で異なります。

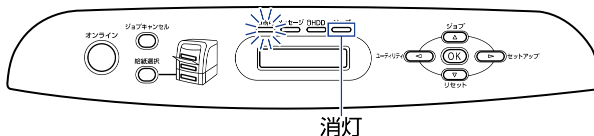
重要

- ハードディスクを使用している場合は、ハードディスク保護のため、必ず手順にしたがって電源をオフにしてください。(➞P.2-8)
- ネットワークに接続している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［リセット］を押して「ハイシュツ」を選択し、出力してから電源をオフにしてください。(➞P.2-55)
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中
  - ・ディスプレイに NVRAM 初期化中や NVRAM 書き込み中のメッセージが表示されているとき
  - ・ディスプレイに「02　キドウチュウ」や「02　キャリブレーションチュウ」のメッセージが表示されているとき
- ハードディスクを使用している場合は、必ず HDD ランプが点灯していないことを確認してください。HDD ランプが点灯中（ハードディスクに読み書き中）に電源をオフにすると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

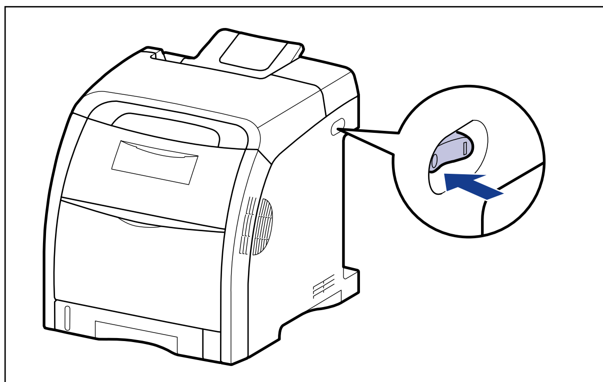
ハードディスクを使用していない場合

ハードディスクを使用していない場合は、次の手順で電源をオフにします。

1 **ジョブランプが消灯していることを確認します。**



2 **プリンタの電源スイッチの“○”側を押します。**



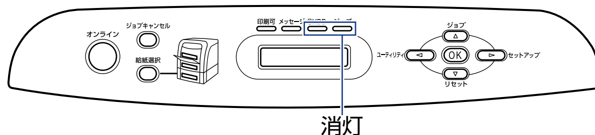
ハードディスクを使用している場合（ハードディスク装着時のみ）

オプションのハードディスクを使用している場合は、次の手順で電源をオフにします。

重要

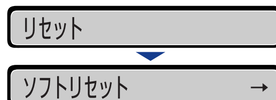
- ハードディスクに停止操作したジョブやセキュアプリントのジョブがある場合にシャットダウン操作を行うと、「ジョブガ　ノコッテイマス」または「ジッコウ　デキマセンデシタ」のメッセージが表示されます。
  シャットダウンを実行する場合は、ソフトリセットをしてジョブを消去したあと、再度シャットダウン操作を行ってください。
  シャットダウンを実行しない場合は、［オンライン］を押してください。
- シャットダウンを実行すると、途中で止めることはできません。再びプリンタの電源をオンにしたい場合は、メッセージに従って電源スイッチを一度オフにしてから、電源スイッチをオンにしてください。

1 ジョブランプとHDDランプが消灯していることを確認します。



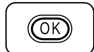


2 ［リセット］を押します。



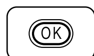




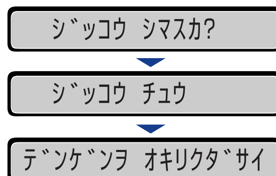


3 ［◀］、［▶］で「シャットダウン」を選択し、［OK］を押します。



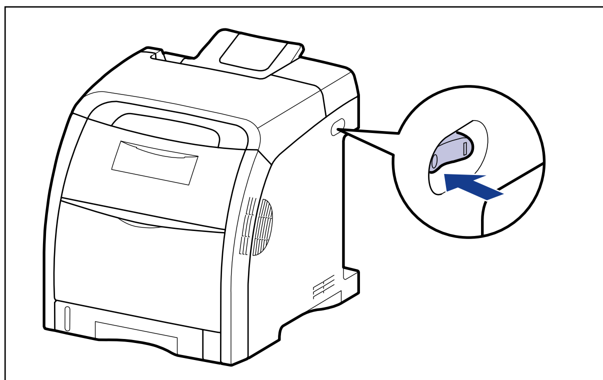


4 メッセージを確認し、［OK］を押します。



電源をオフにするための処理が行われ、準備が整うと、「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されます。

5 「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されたら、プリンタの電源スイッチの“○”側を押します。



消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタが動作していないときや、ご使用になっていないときに、スリープモードにすることで効率的に節電することができます。

スリープモードには以下の 2 種類あります。


重要

電源スイッチをオフにした場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。


メモ

- ボックスへのジョブの保存中は、スリープモードであっても、ジョブランプが点灯します（ボックスにジョブを保存できるのは、ハードディスク装着時のみです）。
- 「タイマー設定」の「ウェイクアップ時刻」を設定すると、設定した時刻にスリープモードを解除することができます。「タイマー設定」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行しないようにするには、「エラースリープ」を「シナイ」に設定します。「エラースリープ」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- スリープモードに移行しないようにするには、「スリープモード」を「ツカワナイ」に設定します。

■ スリープモード 1（パネルオフモード）・・・節電効果：小

スリープモード 1 には、以下のいずれかの条件のときに移行します。設定項目についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

<table>
<tr><th>条件 1</th><th>条件 2</th></tr>
<tr><td>「スリープモード」が「ツカウ」または「パネルオフ」に設定されている</td><td>「スリープモード」が「ツカウ」または「パネルオフ」に設定されている</td></tr>
<tr><td rowspan="6">パネル操作を行わず、コンピュータからデータが送られてこない状態が「スリープ移行時間」で設定した時間経過した（「スリープ移行時間」の設定は、「5 フン」、「15 フン」、「30 プン」、「60 プン」、「180 プン」から選択でき、工場出荷時は「30 プン」に設定されています。）</td><td>「タイマー設定」の「スリープタイマー」を「ツカウ」に設定していて、「スリープ時刻」で設定した時間になった</td></tr>
<tr><td>パネル操作を行っていない</td></tr>
<tr><td>コンピュータからデータが送られてきていない</td></tr>
<tr><td>プリンタの起動中ではない</td></tr>
<tr><td>シャットダウン中（ハードディスク装着時のみ）</td></tr>
<tr><td>ハードディスク初期化中（ハードディスク装着時のみ）</td></tr>
</table>



- スリープモード 1 に移行すると、印刷可ランプのみが点灯します。ただし、オフライン状態のときは、メッセージランプのみが点灯します。
- スリープモード 1 は、以下のいずれかの条件で解除されます。
  - ・操作パネルのキーが押されたとき
  - ・エラーが発生したとき
  - ・オンライン状態でコンピュータからのデータを受信したとき（ボックスへのジョブの保存を除く）
  - ・「タイマー設定」の「ウェイクアップタイマー」を「ツカウ」に設定していて、「ウェイクアップ時刻」で設定した時間になったとき
  - ・リモート UI でユーティリティメニューの操作を行ったとき
  - ・リモート UI でキャリブレーション実行の操作を行ったとき
  - ・リモート UI でデバイス制御の操作を行ったとき
  - ・リモート UI で［デバイス管理］メニューにある［ユーザメンテナンス］ページの表示および設定を行ったとき

■ スリープモード２（プリンタスリープモード）・・・節電効果：大

スリープモード２には、以下の条件を満たしたときに移行します。

条件
スリープモード１に移行している
「スリープモード」が「ツカウ」に設定されている
電源をオンにしたあと、またはスリープモード２が解除されたあと、印刷可能な状態が 15 分間経過した
印刷待ちのジョブがない
サービスコールが発生していない
紙づまりが発生していない
カバーが開いていない
トナーカートリッジが装着されている

メモ

- スリープモード２に移行すると、印刷可ランプのみが点灯します。ただし、オフライン状態のときは、メッセージランプのみが点灯します。
- スリープモード２は、以下のいずれかの条件で解除されます。
  - ･操作パネルのキーが押されたとき
  - ･エラーが発生したとき（ただし、エラーの種類によっては、スリープモード２が解除されない場合があります。）
  - ･オンライン状態でコンピュータからのデータを受信したとき（ボックスへのジョブの保存を除く）
  - ･「タイマー設定」の「ウェイクアップタイマー」を「ツカウ」に設定していて、「ウェイクアップ時刻」で設定した時間になったとき
  - ･リモート UI でユーティリティメニューの操作を行ったとき
  - ･リモート UI でキャリブレーション実行の操作を行ったとき
  - ･リモート UI でデバイス制御の操作を行ったとき
  - ･リモート UI で［デバイス管理］メニューにある［ユーザメンテナンス］ページの表示および設定を行ったとき

オンラインとオフライン

プリンタがコンピュータからデータを受け取り、印刷できる状態を「オンライン」、コンピュータとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。

操作パネルから各メニューを設定するには以下の状態に切り替えます。

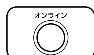
○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

	オンライン状態	オフライン状態
セットアップメニュー	○*	○
給紙選択メニュー	○	○
リセットメニュー	○	○
ジョブメニュー	○	×
ユーティリティメニュー	○	×

* オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。

オンラインにする

コンピュータから印刷するときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。印刷するときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。



1 **[オンライン］を押します。**

オンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。



プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。



プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。スリープモード中にデータを受信すると、スリープモードは解除されオンラインランプが点灯し、印刷可能な状態になります。

オフラインにする

コンピュータからのデータを受け取らない状態にしたり、セットアップメニューのすべての項目を設定するには、プリンタを次の手順でオフラインにします。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

重要　本プリンタは、オフラインにしたまま 5 分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小印刷や複数ページ印刷、とじしろの設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタの操作パネル、プリンタドライバ、リモート UIの 3 つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

メモ　BMLinkS プリンタドライバの設定項目については、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を以下の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

機能	機能の概要	プリンタドライバ（Windows）	リモートUI	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
手差しトレイ用紙サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。	○	○	○
両面印刷	用紙の両面に印刷します。	○	○	○
カセット用紙サイズ	給紙カセットにセットした用紙のサイズを設定します。	○	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードで印刷するときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	×	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定して印刷するか、自動で印刷するかを設定します。	○	○	○
拡大／縮小 *1	データを拡大または縮小して印刷します。	○	×	○ *2
複数ページ印刷 *1	拡大／縮小印刷の機能で縮小したデータを複数ページ並べて1枚の用紙に印刷します。	○	×	○ *2
オーバレイ印刷 *1（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねて印刷します。	○ *3	×	○ *4

機能	機能の概要	プリンタドライバ(Windows)	リモートUI	操作パネル
とじ方向	とじしろを作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
とじしろ	とじ方向で設定された辺のとじしろの幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	印字濃度を調整します。	×	○	○
ドラフトモード	テスト印刷するモードの設定をします。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバとリモートUI、操作パネルとで設定内容や印刷結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、プリンタドライバのヘルプや「LIPS 機能ガイド」、「リモート UI ガイド」を参照してください。

*2 LIPS 専用セットアップメニューからのみ設定可能です。

*3 LIPS IV プリンタドライバからのみ設定可能です。

*4 フォーム作成登録は LIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやリモート UI、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ
- プリンタドライバのインストール方法や操作方法については、User Software CD-ROM に収められている取扱説明書およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- リモートUI からの操作方法については、「リモートUI ガイド」およびリモートUI のヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

本プリンタに付属の LIPS プリンタドライバをコンピュータにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ リモート UI

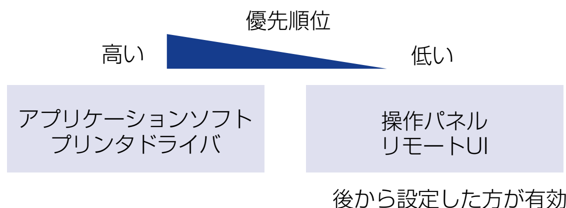
本プリンタをネットワーク経由で接続している場合は、コンピュータから Web ブラウザで本プリンタを設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタの操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

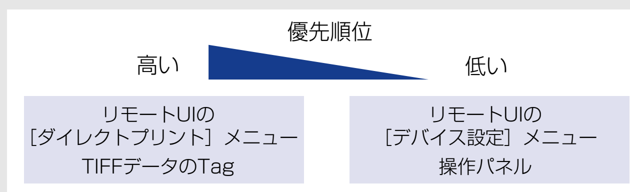
設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



● ダイレクトプリント時（→P.2-24）の設定の優先順位

メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とリモート UI の［デバイス設定］メニューで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

ダイレクトプリント時には、操作パネルやリモート UI の［デバイス設定］メニューで設定した内容よりもリモート UI の［ダイレクトプリント］メニューや画像ファイルの TIFF データのヘッダーが持つ IFD（Image file directory）の中にある Tag で設定されている内容が優先されます。



TIFF データのヘッダーが持つ一部の Tag の機能は有効にならない場合があります。

2
プリンタの使いかた

BMLinkS について

本プリンタは、BMLinkS に標準で対応しています。ここでは、BMLinkS についての概要やプリンタドライバの入手方法、BMLinkS から印刷するための設定について説明します。

BMLinkS とは

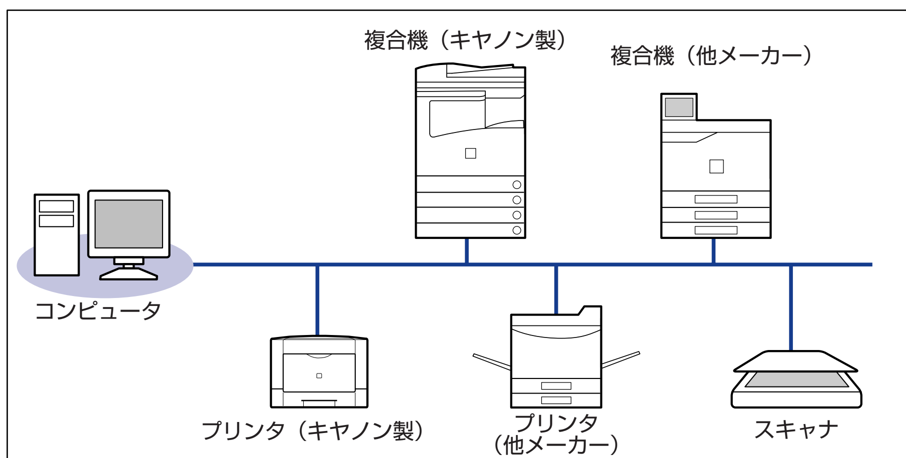
BMLinkS は、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続する技術です。

BMLinkS に対応したプリンタやスキャナを利用することで、以下のようなことが可能になります。

■ 1 種類のプリンタドライバで異なるメーカーのプリンタに出力が可能

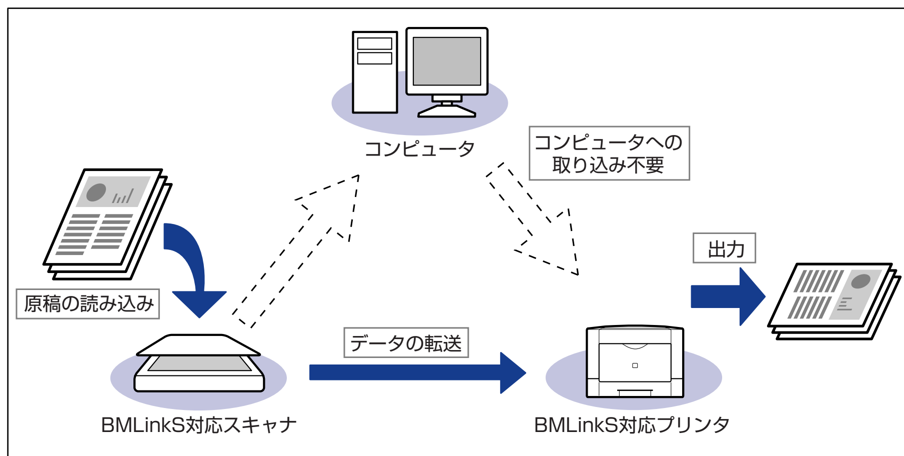
従来は、プリンタごとに専用のプリンタドライバをコンピュータにインストールしなければなりませんでしたが、BMLinkS 対応のプリンタの場合、異なるメーカーのプリンタであっても、1 つのプリンタドライバで出力することができ、プリンタごとに共通の操作、共通の設定で印刷することができます。

また、お得意先や出張先などで、自分のノート PC から印刷するときなども、BMLinkS に対応したプリンタがあれば、プリンタドライバをインストールしなくても印刷することができます。



■ スキャナで読み込んだ画像を PC を介すことなくプリンタに出力が可能

BMLinkS 対応のスキャナとプリンタがネットワーク上にある場合、スキャナからプリンタにダイレクトに印刷することができます。スキャナで読み込んだ画像を PC に取り込んでから印刷するという手間が省けます。



- BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。
- 本製品は JBMIA による BMLinkS 認証を受けています。
- 実装サービス名：プリントサービス
- 仕様環境 BMLinkS 2005 対応

BMLinkS プリンタドライバについて

BMLinkS を利用するには、専用のプリンタドライバが必要になります。BMLinkS プリンタドライバは、以下の BMLinkS ホームページからダウンロードしてインストールします。

http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

必要なシステム環境やインストール方法、使用方法については、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。「ユーザーズマニュアル」は BMLinkS ホームページからダウンロードするか、BMLinkS プリンタドライバをインストールするとお使いのコンピュータにインストールされます。

■ BMLinkS プリンタドライバのお問い合わせ先

BMLinkS プリンタドライバについてのお問い合わせは、以下のメールアドレスにご連絡ください。

bmlinks-support@jbmia.or.jp



BMLinkS プリンタドライバに関するお問い合わせのみを受け付けております。プリンタ本体については、キヤノン「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

2
プリンタの使いかた

プリンタで行う BMLinkS の設定について

BMLinkS プリンタドライバから印刷するために、以下の設定を行ってください。

BMLinkS の設定は、リモート UI で行います。リモート UI の操作方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要

- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なりますので、ネットワーク管理者に相談してください。）
  - ･Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）にプリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

BMLinkS の設定は、プリンタの操作パネルからも行うことができますが、設定できるのは BMLinkS プリンタドライバからの印刷を有効にするかしないかの設定のみです。

---

1 **Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

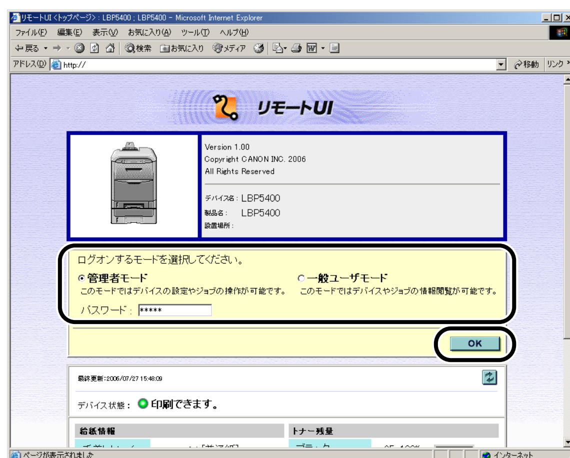
http:// <プリンタの IP アドレス> /



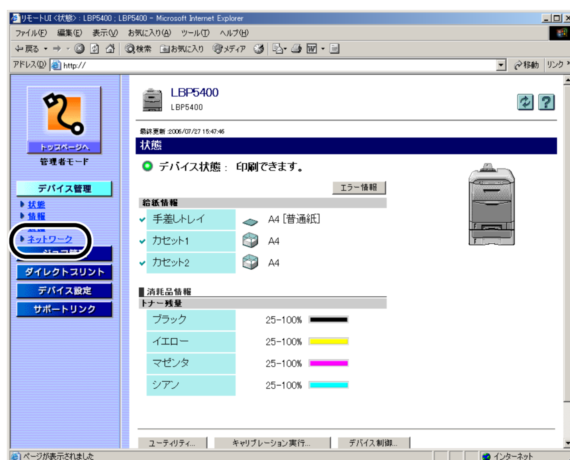
メモ

- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSL による暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

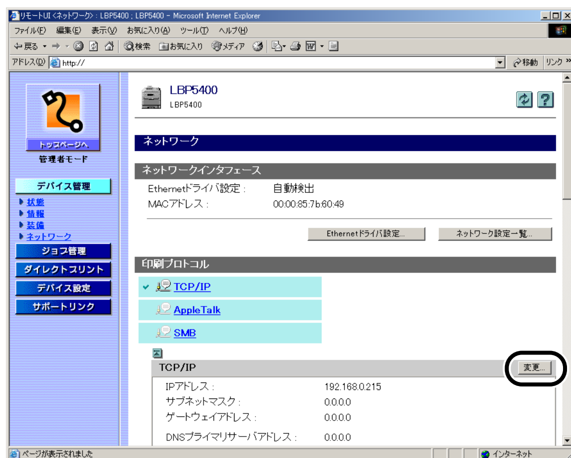
2 [管理者モード] を選択し、[パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



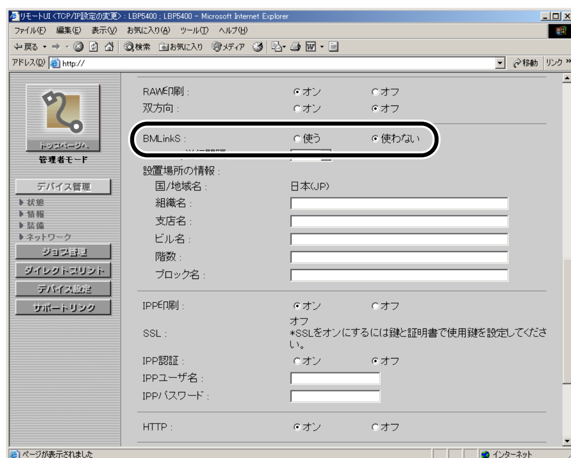
3 [デバイス管理] メニューから [ネットワーク] を選択します。



4 ［TCP/IP］の右にある［変更］をクリックします。

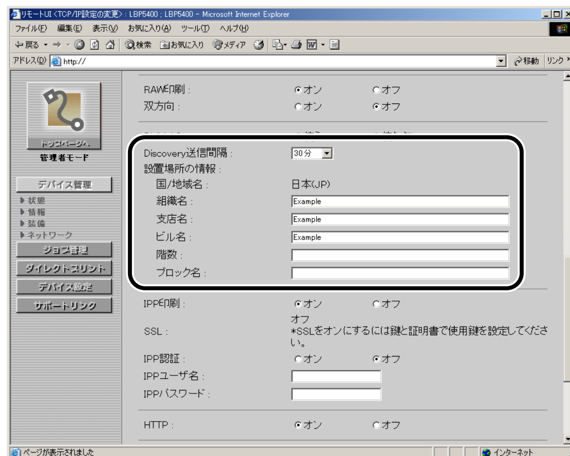


5 ［BMLinkS］で［使う］を選択します。



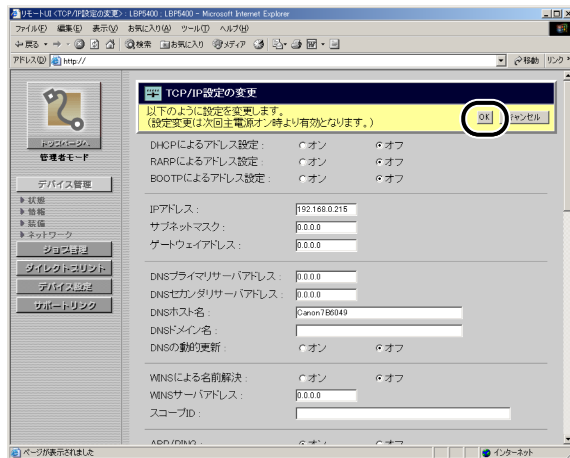
6 [Discovery 送信間隔] で、プリントサーバがネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。

30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。



必要に応じて、[組織名]、[支店名]、[ビル名]、[階数]、[ブロック名] を入力します。

7 設定後、[OK] をクリックします。



8 ハードリセットまたはプリンタを再起動します。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。



「ハードリセット」の実行方法については、「すべての作業を中止する (ハードリセット)」(➞P.2-57) を参照してください。

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントとは

ダイレクトプリントは、プリンタドライバを使用せずにホスト端末からファイルをプリンタに転送し、ファイルそのものをプリンタが認識し、印刷する機能です。したがって、ファイルを開いて印刷する必要がありません。

印刷するには、リモートUIから印刷したいTIFF/JPEG形式の画像ファイルを指定します。

また、コマンドプロンプトからのコマンド入力（LPR コマンド）によるダイレクトプリントにも対応しています。

■ リモートUIから印刷する（→P.2-25）

■ コマンドプロンプトから印刷する（→P.2-29）

重要

- 本プリンタのダイレクトプリントでは、JPEGデータはITU-T勧告T.81の仕様に対応しています。TIFFデータはAdobe TIFF Revision6.0の仕様に対応しています。
- 本プリンタでは、JPEGデータの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ・対応している符号化方式
    基本DCT方式
  - ・対応していない符号化方式
    拡張DCT方式
    可逆方式
    ハイアラーキカル方式
- 本プリンタでは、TIFFデータの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ・対応している符号化方式
    非圧縮
    ITU-T勧告T.4 一次元符号化方式
    ITU-T勧告T.4 二次元符号化方式
    ITU-T勧告T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
    ITU-T勧告T.81 JPEG（基本DCT方式のみ）
    PackBits（Apple Macintosh PackBits方式）
  - ・対応していない符号化方式
    LZW
    ITU-T勧告T.82 JBIG
    ITU-T勧告T.43 JBIG
    ITU-T勧告T.44 MRC

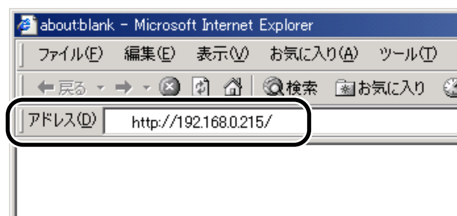
リモートUIからダイレクトプリントするには

リモートUIからTIFF/JPEG形式の画像ファイルを指定してダイレクトプリントすることができます。リモートUIの基本的な操作方法については「リモートUIガイド」を参照してください。

メモ　ダイレクトプリントを使用して印刷できない場合や印字位置がずれる場合でも、ファイルをアプリケーションから開いてプリンタドライバを使用することで正しく印刷できる場合があります。

1 **Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に以下のURLを入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http://<プリンタのIPアドレス>/

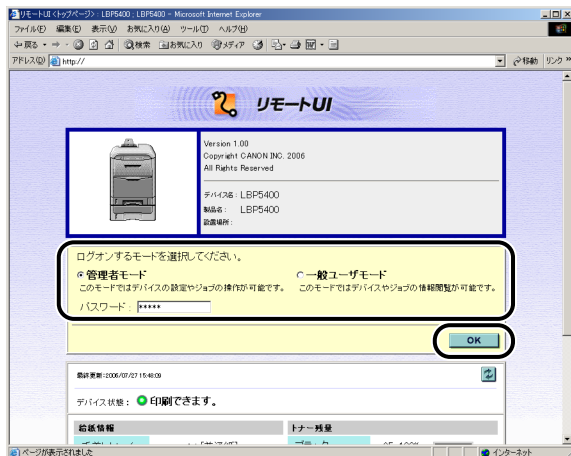


メモ

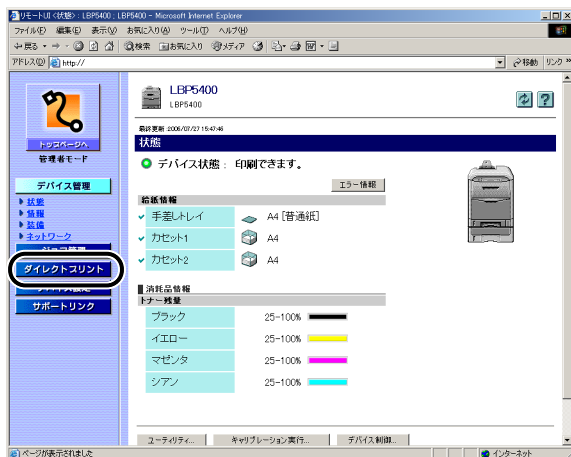
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IPアドレスのかわりに［ホスト名.ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSLによる暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https://<プリンタのIPアドレスまたは名前>/」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSLによる暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモートUIガイド」を参照してください。

2 リモートUI にログオンするモード（[管理者モード] または [一般ユーザモード]）を選択して、[OK] をクリックします。

[管理者モード] を選択した場合は、「パスワード」を入力してから [OK] をクリックします。

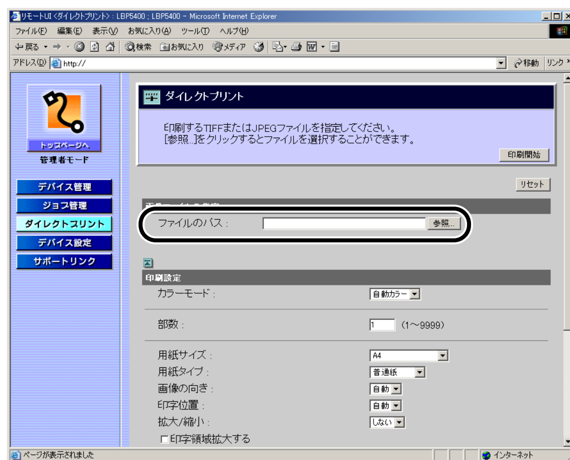


3 [ダイレクトプリント] メニューを選択します。



4 ［ファイルのパス］を設定します。

［参照］をクリックし、ファイルを選択したあと、［開く］をクリックします。



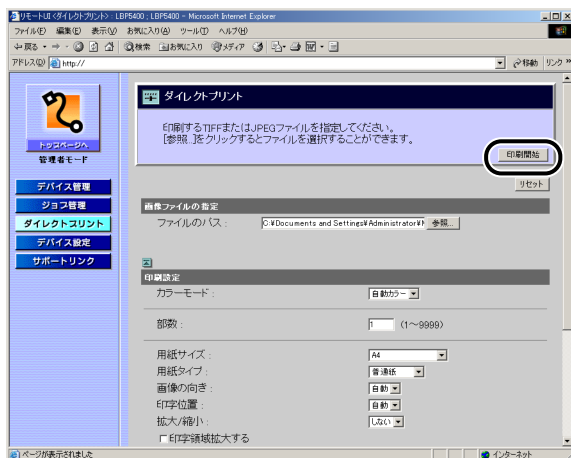
5 必要に応じて以下の［印刷設定］を行ってください。



［カラーモード］	カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。
［部数］	印刷する部数を「1」（部）〜「9999」（部）で入力します。
［用紙サイズ］	印刷する用紙のサイズを指定します。
［用紙タイプ］	印刷する用紙の種類を指定します。
［画像の向き］	印刷する画像の向きを［自動］、［縦］、［横］から選択します。

[印字位置]	画像を印字する位置を［自動］、［中央］、［左上］から選択します。［自動］を選択すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されている場合は、指定された位置に印字します。印字位置が指定されていない場合は、中央に印字します。JPEG 形式のデータには印字位置の指定がないため、［自動］を選択した場合は、中央に印字されます。
[拡大 / 縮小]	有効印字領域に合わせて拡大 / 縮小印刷をするかどうかを［しない］、［自動］から選択します。
[印字領域拡大する]	有効印字領域を広げて印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、用紙の周囲に余白を入れずに、用紙の端まで有効印字領域を広げて印刷します。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。
[両面印刷する]	自動で両面印刷をするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、両面に印刷をします。
[両面の種類]	両面印刷時のとじ方向を［短辺とじ］、［長辺とじ］から選択します。
[警告表示]	エラー発生時の警告表示方法を［印刷］、［パネル］、［しない］から選択します。［印刷］を選択すると、エラーの内容を用紙に印刷しジョブを終了します。［パネル］を選択すると、プリンタのディズプレイにエラーメッセージが表示され印刷を停止します。［しない］を選択すると、エラーが発生しても何も表示を行わずにジョブを終了します。
[印字保証する]	TIFF データに対しての印字保証をするかどうかを設定します。（ハードディスクを使用している場合にのみ表示されます。）
[Exif 補正する]	デジタルカメラで撮影したときの設定情報を元に補正を行うかどうかを設定します。

6 ［印刷開始］をクリックします。





設定を工場出荷時の値に戻すときは［リセット］をクリックします。

コマンドプロンプトからダイレクトプリントするには

コマンドプロンプトから LPR でダイレクトプリントを行うことができます。

コマンドは以下の書式が有効です。その他のコマンドはご使用になれません。

lpr （スペース）-P （スペース）<プリンタ名> （スペース）<ファイル名>

プリンタ名： プリンタの名称を入力します。プリンタの名称は、リモート UI の［デバイス管理］メニューの［情報］ページの［デバイス情報］-［デバイス名］で確認できます。

ファイル名： 印刷するファイルのファイル名を入力します。

<入力例：プリンタ名が「LBP-Printer」、ファイル名が「sample.txt」の場合>

lpr　-P　LBP-Printer　sample.txt

プリンタの操作パネルで設定した設定項目は有効になります。ダイレクトプリントでご使用になれる設定項目はセットアップメニューの「共通セットアップメニュー」と「IMAGING 専用セットアップメニュー」です。

各メニューの設定項目については「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

E メール印刷について（ハードディスク装着時のみ）

E メール印刷とは

E メール印刷は、ホスト端末から本プリンタ宛に送信された E メールをプリンタが受信して、E メールの本文や添付されたファイルを印刷する機能です。したがって、プリンタドライバを使用したり、添付ファイルを開いて印刷する必要がありません。

 重要

- E メール印刷には以下の制限があります。
  - ･印刷可能な添付ファイルの形式は、TIFF または JPEG のみです。
  - ･印刷可能な添付ファイルのファイルサイズは、1 ファイルあたり 100MB までです。100MB を超える添付ファイルは、印刷されません。
  - ･添付ファイルの数は、1 メールにつき 14 個までです。14 個を超えた場合は、14 個目まで印刷され、15 個目以降の添付ファイルは印刷されません。
  - ･HTML 形式のメール本文は印刷されません。
  - ･E メールの本文データが 25MB を超える場合、メールの本文は印刷されません。
  - ･E メールの本文には、メールヘッダの情報も併せて印刷されます。
  - ･E メールの本文で 1 行（改行なし）全角 499 文字、半角 998 文字を超える場合、自動的に改行されるため、次行の文字が正しく印刷されないことがあります。
- E メール印刷を行うためのメールサーバは、POP3 プロトコルの UIDL コマンドをサポートしている必要があります。UIDL コマンドがサポートされていない場合や UIDL コマンドの応答が「negative("-ERR")」の場合は、メールサーバへはアクセスしますが、E メールを受信することはできません。メールサーバについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本プリンタの E メール印刷では、JPEG データは ITU-T 勧告 T.81 の仕様に対応しています。TIFF データは Adobe TIFF Revision6.0、IETF RFC2301（File Format for Internet FAX）の仕様に対応しています。
- 本プリンタの E メール印刷は、Internet FAX Simple Mode に対応しています。
- 本プリンタでは、JPEG データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    基本 DCT 方式
  - ･対応していない符号化方式
    拡張 DCT 方式
    可逆方式
    ハイアラーキカル方式
- 本プリンタでは、TIFF データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    非圧縮
    ITU-T 勧告 T.4 一次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.4 二次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
    ITU-T 勧告 T.81 JPEG（基本 DCT 方式のみ）
    PackBits（Apple Macintosh PackBits 方式）

・対応していない符号化方式
LZW
ITU-T 勧告 T.82 JBIG
ITU-T 勧告 T.43 JBIG
ITU-T 勧告 T.44 MRC

- 本プリンタでは、エンコード形式の対応は、次のようになっています。
  ・7bit
  ・8bit
  ・binary
  ・quoted-printable
  ・base64
  ・uuencode
  ・x-uuencode
- 本プリンタでは、文字セットの対応は、次のようになっています（文字セットの指定がない場合は、「us-ascii」で処理されます）。
  ・iso-2022-jp
  ・Shift_JIS
  ・SJIS
  ・EUC-JP
  ・eucJP
  ・us-ascii

E メール印刷の設定項目

E メール印刷に関する設定は、以下の通りです。プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントから設定することができます。詳しい設定内容については、「LIPS 機能ガイド」、「リモート UI ガイド」、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

設定項目	設定内容	設定方法		
		操作パネル	リモート UI	FTP クライアント
POP3 サーバ名	E メールを受信するサーバ名または IP アドレスを設定します。	×	○	○
POP3 ユーザ名	E メールを受信するユーザ名を設定します。	×	○	○
POP3 パスワード	E メールを受信するユーザ名のパスワードを設定します。	×	○	○
POP3 受信間隔	E メールを受信するサーバへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。	○	○	○
POP3 受信	E メール印刷機能を有効にするかどうかを選択します。	○	○	○

POP3　サーバのポート番号	E メールを受信するサーバのポート番号を設定します。	×	○	○
E メール受信	E メールの手動受信を行います。	○	○	×
印刷履歴リスト	Eメール印刷の履歴を印刷します。	○	○	×
E　メール通信エラー	E メール印刷時に受信エラーが発生したとき、メッセージの表示やランプの点滅をさせるかどうかを設定します。	○	×	×
E メール本文印刷	E メール印刷時に、E メールの本文を印刷するかどうかを設定します。	○	×	×
E メール印刷制限	E メール本文の印刷枚数を制限するかどうかを設定します。	○	×	×

E メール印刷をするには

E メールを受信して印刷する方法は以下の 2 種類あります。

■ 自動的に E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で、「POP3 受信間隔」を設定します。「POP3 受信間隔」で設定された間隔で、自動的にメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル（→ LIPS 機能ガイド）
- リモート UI、FTP クライアント（→ネットワークガイド／本編）

■ 手動で E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で、手動でメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. [ユーティリティ] を押してユーティリティメニューを表示します。
3. [◀]、[▶] を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. [OK] を押します。
5. [◀]、[▶] を押して「E メールジュシン」を表示します。
6. [OK] を押します。

- リモート UI

次の手順で、リモート UI から手動で E メールを受信して、E メール印刷を行うことができます。リモート UI の基本的な操作方法については「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要　• オンライン時にのみ、E メールを受信することができます。

- 「POP3 受信間隔」で自動的に E メールを受信するように設定していても、手動で E メール を受信することができます。ただし、E メールの受信中に、手動で E メールを受信しようとしても無視されます。

1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレス> /

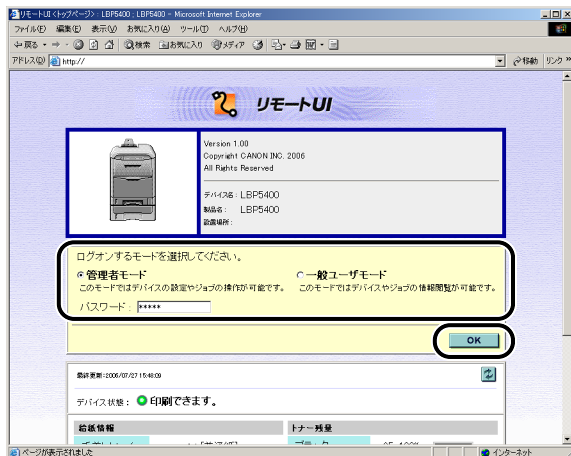




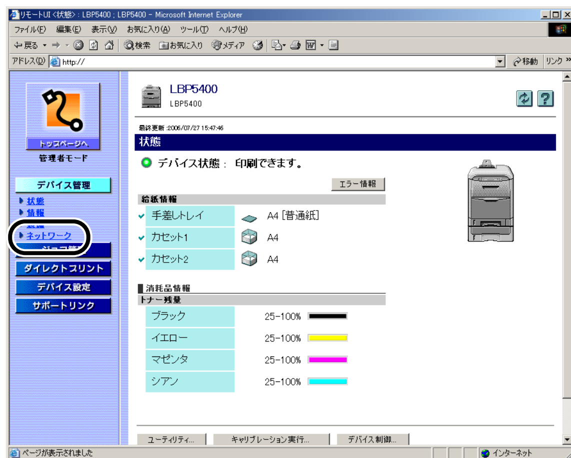
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSL による暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

2 リモートUI にログオンするモード（[管理者モード] または [一般ユーザモード]）を選択して、[OK] をクリックします。

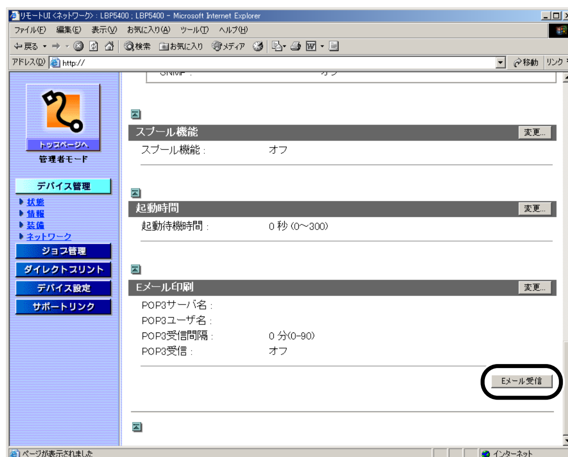
[管理者モード] を選択した場合は、「パスワード」を入力してから [OK] をクリックします。



3 [デバイス管理] メニューから、[ネットワーク] をクリックします。



4 ［E メール受信］をクリックします。



メールサーバへ接続されます。本プリンタ宛の E メールを受信し、E メール印刷が行われます。

E メール受信履歴を印刷するには

E メールの受信履歴を印刷することができます。受信履歴には、件名や送信元などが印刷されます。E メールの受信履歴の印刷は、プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で行います。

• プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［◀］、［▶］を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. ［OK］を押します。
5. ［◀］、［▶］を押して「ジュシンリレキリスト」を表示します。
6. ［OK］を押します。

• リモート UI

次の手順で、リモート UI から E メールの受信履歴を印刷することができます。リモート UI の基本的な操作方法については「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」で、ハードディスクをフォーマットすると、すべての E メール受信履歴が削除されます。

メモ
- 最大 96 通までの E メール受信履歴を印刷することができます。
- 何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、E メール受信履歴の「受信結果」にエラーコードが印刷されます。エラーコードの詳細については、「E メール印刷ができなかったときには」(➞P.2-38) を参照してください。

1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

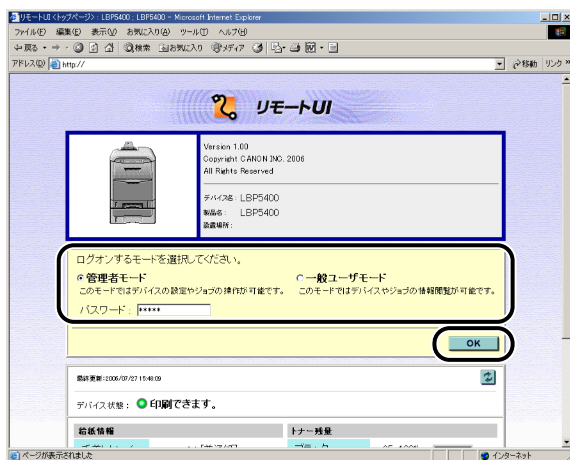
http:// ＜プリンタの IP アドレス＞ /



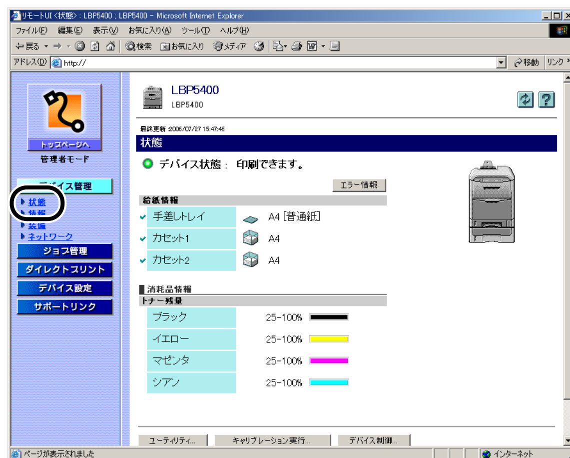


- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSLによる暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

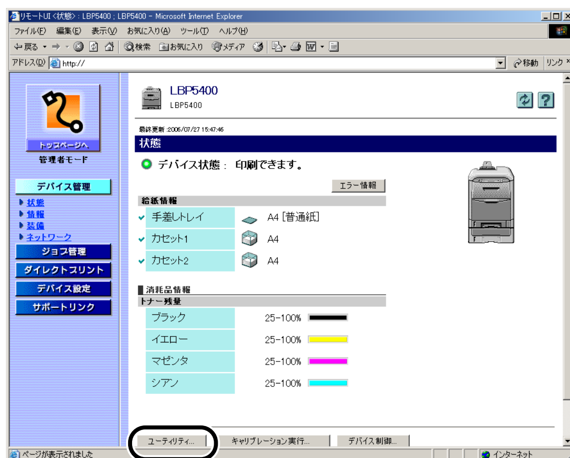
2 ［管理者モード］を選択し、［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。



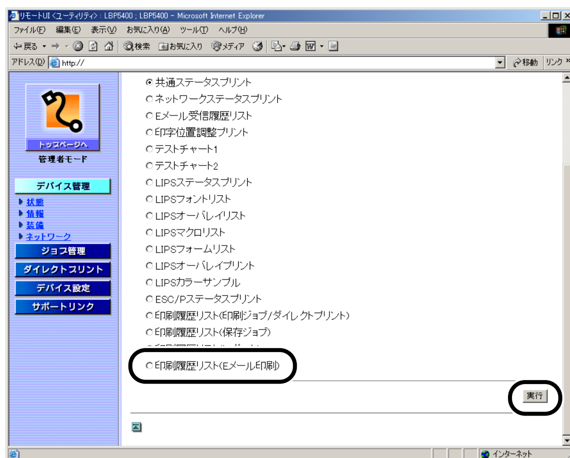
3 ［デバイス管理］メニューから、［状態］をクリックします。



4 ［状態］ページの［ユーティリティ］をクリックします。



5 [印刷履歴リスト(E メール印刷)] を選択し、[実行] をクリックします。



E メール受信履歴が印刷されます。

E メール印刷ができなかったときには

何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、プリンタのディスプレイやリモート UI、N/W ステータスプリントにエラーメッセージか、E メール受信履歴にエラーコードが表示されます。表示されたエラーメッセージ、エラーコードに応じて、次のような処置を行ってください。

メモ

- リモート UI のエラーメッセージは、[デバイス管理] メニューの [ネットワーク] ページにある [E メール印刷] に表示されます。
- N/W ステータスプリントの印刷方法については、LIPS 機能ガイド「第 8 章 付録」を、E メール受信履歴の印刷方法については「E メール受信履歴を印刷するには」(➞P.2-35) を参照してください。

■ ディスプレイ、リモート UI、N/W ステータスプリントに表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージ		原　因	処　置
ディスプレイ	リモート UI、N/W ステータスプリント		
EM　サーバセッテイ　エラー	POP3 サーバ接続エラー	E　メール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった	・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［E　メール印刷］の［POP3 サーバ名］と［POP3 サーバのポート番号］が正しく設定されているかを確認してください。 ・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［TCP/IP］の DNS が正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3 サーバが正常に動作しているかを確認してください。 ・DNS サーバが正常に動作しているかを確認してください。
	POP3　サーバユーザ名エラー	E　メール印刷時、POP3　サーバでユーザ名の認証に失敗した	・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［E　メール印刷］の［POP3 ユーザ名］が正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3 サーバにユーザ名が正しく登録されているかを確認してください。
	POP3 サーバパスワードエラー	E　メール印刷時、POP3 サーバでパスワードの認証に失敗した	・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［E　メール印刷］の［POP3 パスワード］が正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3 サーバにパスワードが正しく登録されているかを確認してください。
	POP3　サーバ UIDL エラー	E　メール印刷時、POP3　サーバが UIDL コマンドをサポートしていないため接続できなかった	UIDL に対応している POP3 サーバをご使用ください。
EM　E メールアクセス　エラー	–	POP3　サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった	POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

■ E メール受信履歴に表示されるエラーコード *

* 複数のエラーが発生した場合は、優先順位の高いエラー（高：407 ＞低：499）のみが表示されます。

エラーコード	原　因	処　置
407	Eメール受信時に5分以上、応答がなかった	・ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ・同じ E メールのデータで何度もエラーが発生する場合は、E メールのデータが正常かどうかを確認してください。
	E メール受信中、10 分間に 1Kbyte(1024byte) のデータを受信できなかった	
408	POP サーバから「ERR」の応答が返ってきた	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
420	E メールのデータサイズが 1.5GB を超えた	E メールのデータを 1.5GB 以下にしてください。
421	E メールの本文のサイズが 25MB を超えた	E メールの本文を減らしてください。
422	添付ファイルのファイルサイズが 100MB を超えた	添付ファイルのファイルサイズを 100MB 以下にしてください。
423	非サポートの形式の添付ファイルが送られてきた	添付ファイルの形式を TIFF または JPEG にしてください。
424	添付ファイルが 14 個を超えた	添付ファイルの数を 14 個以内にしてください。
430	送信者が不明の E メールが送られてきた	送信者を入力してください。
431	対応していないエンコードや文字コードが含まれた E メールが送られてきた	本プリンタに対応したエンコード、文字コードにしてください（➞P.2-30）。
	対応していないマルチパートメールを受信した	マルチパートメールのコンテンツタイプを本プリンタに対応した以下のタイプにしてください。 ・multipart/mixed ・multipart/parallel ・multipart/alternative ただし、ネストした場合は multipart/mixed の中で multipart/alternative が指定された場合のみ対応します。
432	不正なデータが送られてきた	送信したEメールのデータが正常かどうかを確認してください。
433	HTML形式のEメールが送信された	本プリンタは HTML 形式の E メールには対応していません。
434	E メールの本文がない	本文を入力してください。
440	何らかの理由でジョブがキャンセルされた	再度、E メールを送りなおしてください。

エラーコード	原　因	処　置
441	処理中に何らかのエラーが発生した	再度、Eメールを送りなおしてください。
499	プリンタに何らかのエラーが発生した	「メッセージ一覧」（→P.5-31）を参照してください。

ジョブの印刷と保存について（ハードディスク装着時のみ）

本プリンタにオプションのハードディスクを取り付けると、本プリンタ用の LIPS プリンタドライバでさまざまな印刷ジョブの処理機能を利用できるようになります。

メモ　DOS アプリケーション、UNIX などプリンタドライバを使用できないコンピュータや BMLinkS プリンタドライバでは、この機能を利用することはできません。印刷ジョブは、［印刷］モードで処理されます。

ジョブの処理方法の種類

本プリンタ用のプリンタドライバでは、以下のような機能を利用することができます。

メモ
- ハードディスクに保存可能なジョブ数や容量を超えると「53　セキュアプリント　エラー」や「53　ホゾン　エラー」のメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示されたときには、［オンライン］を押してエラースキップをしてください。ただし、エラースキップしたジョブは、削除されますので、ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してから、セキュアプリントやジョブの保存をしてください。
- データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用する場合は、「暗号化セキュアプリントドライバ Add-in」をインストールする必要があります。インストール方法は、付属の CD-ROM 内の「Readme.txt」を参照してください。

■［印刷］モード

通常の印刷を行います。

メモ　このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。

■［セキュアプリント］モード

印刷ジョブにユーザ名とパスワードを設定できるモードです。印刷ジョブは、プリンタのハードディスクに保存され、プリンタの操作パネルやリモート UI からの操作でパスワードを入力して印刷できます。機密書類など他人に印刷結果を見られたくないときに便利です。

メモ
- ［セキュアプリント］モードでハードディスクに保存したジョブは、次の場合に消去されます。
  ・プリンタの電源をオフにした場合
  ・ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  ・セキュアプリントのジョブを印刷した場合
  ・一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合

- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ [保存] モード

印刷ジョブをプリンタのハードディスク（ボックス）に保存するモードです。保存したジョブを印刷するには、プリンタの操作パネルやリモート UI でボックス内のジョブを指定します。リモート UI では、印刷時に部数などを指定できるので、よく使うフォームなどを印刷するときに便利です。また、保存時に保存するボックスを指定できるので、用途別にジョブを分けることができます。



[保存] モードで印刷した印刷ジョブはハードディスクに保存され、電源を切っても消去されません。消去したい場合はリモート UI で操作してください。

■ [割り込み印刷] モード

今処理中の印刷ジョブを止めて先に印刷するモードです。止められた印刷ジョブは、プリンタのハードディスクに保持され、割り込み印刷の印刷ジョブが終わると、印刷しなおされます。



すでに割り込み印刷の印刷ジョブを処理している場合は、さらに割り込んで先に印刷することはできません。

■ [編集＋プレビュー] モード

複数の印刷ジョブを [Canon PageComposer] で編集して印刷するモードです。編集機能では、ページを入れ替えたり、印刷結果のプレビューを表示したり、部数などを指定して印刷することができます。簡易製本用に印刷したいときや、複数のアプリケーションやファイルから印刷したものを 1 冊に編集して印刷したいときに便利です。



このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。

パスワードを設定して印刷する（セキュアプリント／暗号化セキュアプリント）

セキュアプリントや暗号化セキュアプリントは、パスワードをかけたジョブをプリンタに保存し、そのジョブをプリンタの操作パネルやリモート UI から印刷します。リモート UI の操作については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
ここでは、プリンタの操作パネルを使って印刷する手順を説明します。

---

1 **プリンタドライバで、セキュアプリントまたは暗号化セキュアプリントを印刷します。**



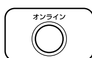
- セキュアプリントは、プリンタドライバで [セキュアプリント] を選択し、ユーザ名とパスワードを入力して印刷します。
- セキュアプリントのユーザ名は半角英数字で 15 文字以内、パスワードは数字で 1 文字以上 7 文字以下で入力します。

- 暗号化セキュアプリントのパスワードの文字制限およびジョブの印刷方法については、暗号化セキュアプリントドライバのオンラインヘルプを参照してください。
  オンラインヘルプは、暗号化セキュアプリントドライバのインストール後にプリンタドライバから表示することができます。

2 印刷するときは、プリンタの所へ行きます。



- セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブは、次の場合に消去されます。
  ・プリンタの電源をオフにした場合
  ・ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  ・セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブを印刷した場合
  ・一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合
- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

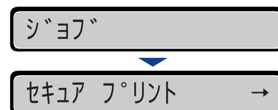


3 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンラインになっていない場合、［オンライン］を押します。



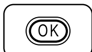
4 ［ジョブ］を押します。



ジョブメニュー項目が表示されます。







5 ［◄］、［►］で「セキュア　プリント」または「アンゴウカセキュアプリント」を選択し、［OK］を押します。

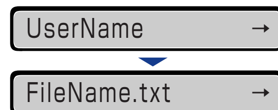








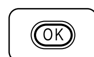
6 ユーザ名が表示された場合は、［◄］、［►］で目的のユーザ名を選択し［OK］を押します。



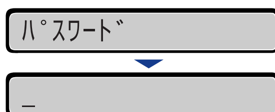


7 ファイル名が表示された場合は、[◄]、[►] で目的のファイル名を選択し、[OK] を押します。





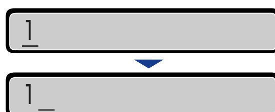
8 [パスワード] と表示されますので [OK] を押します。





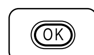
9 [▲]、[▼] で数字を選択し、[◄]、[►] で桁を移動させます。

この操作を繰り返してパスワードを入力してください。





- 操作パネルからは数字のみが入力可能です。
- 暗号化セキュアプリントドライバのバージョンによっては、パスワードに英文字・記号を設定することができます。パスワードに英文字・記号が設定されている場合は、リモートUIから暗号化セキュアプリントのジョブをプリントしてください（→リモートUIガイド）。



10 設定したパスワードを入力し終わったら、[OK] を押します。



指定したファイルが印刷されます。パスワードが違うと、入力したパスワードの表示が消去されるので、入力しなおしてください。

ボックスに保存したジョブを印刷する（保存ジョブプリント）

保存ジョブプリントは、プリンタドライバから［保存］または［保存＋印刷］でプリンタのハードディスク（ボックス）にジョブ保存した後、プリンタの操作パネルやリモートUIを使って印刷します。リモートUIの操作については、「リモートUIガイド」を参照してください。ここでは、プリンタの操作パネルを使って印刷する手順を説明します。



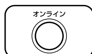
- 保存ジョブは印刷しても、ハードディスクに残ります。保存ジョブの消去は、リモートUIで行ってください。（→リモートUIガイド）

- 保存するデータの名称は、プリンタドライバで印刷時に変更することができます。名称は半角英数字で24文字以内で入力します。名称に全角文字を入力すると、操作パネルのディスプレイには正しく表示されません。

1 **プリンタドライバで［保存］または［保存+印刷］を選択し、保存するボックスを指定して、印刷します。**

メモ　保存ジョブはすべてのボックス内のジョブを合わせて、100 ジョブまで保存できます。

2 **印刷するときは、プリンタの所へ行きます。**

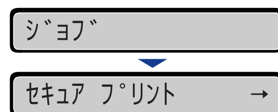


3 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



4 **［ジョブ］を押します。**



ジョブメニュー項目が表示されます。







5 **［◀］、［▶］で「ホゾンジョブ　プリント」を選択し、［OK］を押します。**

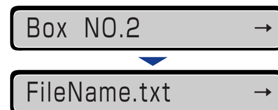


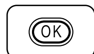






6 **［◀］、［▶］でジョブが保存されているボックス番号を選択し［OK］を押します。**





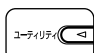
7 [アンショウバンゴウ] と表示された場合は、[OK] を押します。

アンショウバンゴウ
_

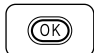
[▲]、[▼] で数字を選択し、[◀]、[▶] で桁を移動させます。

この操作を繰り返して暗証番号を入力してください。

1
1_







8 [◀]、[▶] で目的のファイル名を選択し、[OK] を押します。

ListFile.doc →

指定したファイルが印刷されます。

画質について

本プリンタはデータ処理解像度を設定することにより印刷する画質を変更することができます。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、画質の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

階調モードの種類

階調モードには、高階調モード 1、高階調モード 2 の 2 つのモードがあり、工場出荷時は高階調モード 1 に設定されています。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ 高階調 1 モード

写真などを一般的な品質で印刷する場合に適したモードです。

■ 高階調 2 モード

高階調 1 モードより高い品質で印刷する場合に適したモードです。



高階調モードで印刷する際には、処理に多くのメモリを必要とします。そのため、プリンタの RAM 容量によっては、罫線が多い文書や複雑な図・表・グラフのある文書を印刷する場合、印字品質が低下したり、「39　スプールメモリフル」と表示されて印刷できないことがあります。その場合は、「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおすか、拡張 RAM を増設する必要があります。拡張 RAM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

階調モードを設定する

■ Windows から印刷する場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスの［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh から印刷する場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

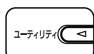
■ DOS や UNIX から印刷する場合

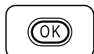
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルで階調処理を選択します。初期値は「コウカイ チョウ 1」に設定されています。プリンタの操作パネルで階調モードを設定するときは、次の手順で行います。



1 [セットアップ] を押します。





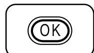


2 [◀]、[▶] で「インジ　チョウセイ」を選択し、[OK] を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。

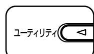


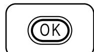


3 [◀]、[▶] で「カイチョウショリ」を選択し、[OK] を押します。



階調モードの設定値が表示されます。





4 [◀]、[▶] で階調モードを選択し、[OK] を押します。



階調モードが変更されます。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、カラーモードの設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

カラーモードの種類

各カラーモードはそれぞれ次のような特長があります。

■ カラーモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にカラー処理して印刷します。「ジドウ」モードに設定していると、カラーデータの場合でも、薄い色を使用した画像などは、モノクロデータと判断されて印刷されることがありますが、このようなときにカラーモードを指定して印刷します。

■ モノクロモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にモノクロ処理して印刷します。カラーデータをモノクロで印刷したいときに設定します。

■ ジドウモード

受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り替えて印刷します。

カラーモードを設定する

■ Windows から印刷する場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「カラー」が選択されています。カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［カラーモード］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh から印刷する場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルでカラーモードを選択します。初期値は「ジドウ」に設定されています。プリンタ操作パネルでカラーモードを設定するときは、次の手順で行います。

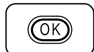


1 [セットアップ] を押します。









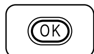
2 [◀]、[▶] で「インジ　チョウセイ」を選択し、[OK] を押します。



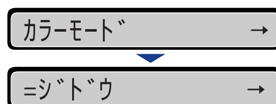
印字調整グループの設定項目が表示されます。







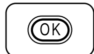
3 [◀]、[▶] で「カラーモード」を選択し、[OK] を押します。



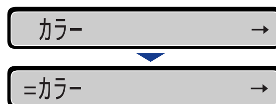
カラーモードの設定値が表示されます。







4 [◀]、[▶] でカラーモードを選択し、[OK] を押します。



カラーモードが変更されます。

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自の LIPS モード、IBM PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）の ESC/P エミュレーションモードの 2 種類の動作モードを内蔵しています。印刷データを受信すると、印刷データを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えて印刷します。

このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種コンピュータに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定することができます。

動作モードの種類

本プリンタは、内蔵の LIPS モード／ESC/P エミュレーションモードと、オプションのコントロール ROM による PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのエミュレーションモードを使用できます。

■ LIPS モード

LIPS は、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードで印刷します。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードで印刷されます。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）、AX コンピュータで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードで印刷します。エプソンが提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ その他のエミュレーションモード

PC-9800 シリーズ、PS/55 シリーズ、HP-GL 専用プリンタをエミュレートするコントロール ROM がオプションで用意されています。コントロール ROM を取り付けることにより、PC-9800 シリーズ、PS/55 シリーズ、HP-GL 対応のアプリケーションから印刷できるようになります。

メモ　コントロール ROM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」（工場出荷時のままの状態）で使用中に、ESC/P データが LIPS で印刷されるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。

次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、印刷データに合った動作モードに固定して印刷してください。

メモ　優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定は操作パネルから行います。設定方法については LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ 優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「ナシ」になっています。この設定を印刷するデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、コントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードに変更します。

■ 自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定で、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）

本プリンタを使用しているコンピュータ専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモード、コントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

メモ
- ESC/P エミュレーションモードで印刷する場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次項目を参照してください。
- 動作モードの設定は操作パネルから行います。設定方法は LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）や AX コンピュータ

ESC/P エミュレーションモードに固定

■ PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのコンピュータ

取り付けたコントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードに固定

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタを ESC/P エミュレーションモードで使用する場合、いままで ESC/P 準拠のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 6 種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では、「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：用紙を縦に使って印刷します

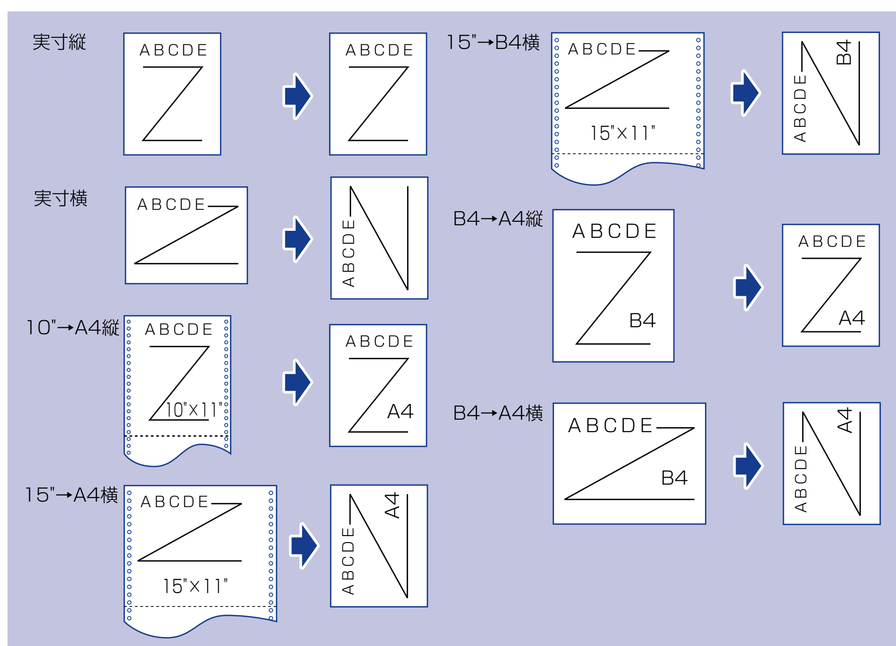
実寸横：用紙を横に使って印刷します

10" → A4 縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します

15" → A4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します

B4 → A4 縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使って印刷します

B4 → A4 横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使って印刷します





- 用紙サイズは「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」では A4 が標準ですが、ESC/P 設定メニューの「用紙サイズ」で設定します。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 10" × 11" の連続用紙のサイズは、254.0mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381.0mm × 279.4mm です。

印刷を中止したいときは

コンピュータ側の操作で印刷を中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、印刷ジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

コンピュータ側で印刷を中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリに印刷データが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次の印刷ができません。このようなときは、次の手順で強制的に印刷データを排出してください。

重要

- LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは排出できません。
- データを排出したときは、印刷中のデータは消されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。
- エラーランプが点灯している状態では、データの排出はできません。受信したデータを消去したい場合は、ソフトリセットを行ってください。（➞P.2-57）
- オプションのハードディスクを使用している場合は、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ

- 印刷データがプリンタのメモリに残ったまま、または印刷データがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1 ページ分に満たないデータも自動的に排出されます（LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは排出されません）。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（➞P.2-57）



1 ［リセット］を押します。



リセットメニューが表示されます。



2 [◀]、[▶] で「ハイシュツ」を選択し、[OK] を押します。

ハイシュツ →

メモリに残っているデータが印刷されます。

印刷をキャンセルする(ジョブキャンセル)

現在実行中の印刷をキャンセルしたいときは、次の操作で「ジョブキャンセル」を実行します。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次の印刷データやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

重要

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき(ジョブランプ点灯または点滅中)に行ってください。ジョブランプが消灯しているときに[ジョブキャンセル]をしてもジョブキャンセルは行われません。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中(給紙動作が始まった状態)のデータは、キャンセルできません。その場合、その次の印刷データがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信された印刷データが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

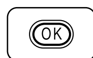
メモ

ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。また、パスワード入力前のセキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブはキャンセルすることはできません。セキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブは、リモート UI で削除してください。(→リモート UI ガイド)

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき(キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態)に行ってください。



1 [ジョブキャンセル] を押します。



2 ジョブキャンセルをする場合、[OK] を押します。

キャンセル ジッコウ?

▼

03 ジョブ キャンセル

▼

00 インサツ カノウ　A4

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中の印刷データがキャンセルされます。
「00　インサツ　カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要

「03　ジョブ　キャンセル」が表示されているときは、プリンタの操作はできません。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフト　リセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。

重要
- 必ずコンピュータ側で印刷中止の操作を行ってからプリンタ側で印刷中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。

メモ
ハードリセットを行うと、プリンタの RAM に保存されているフォームデータなどの登録ファイルはすべて消去されますが、ソフトリセットでは消去されません。



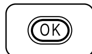
1 ［リセット］を押します。



リセットメニューが表示されます。







2 ［◀］、［▶］で「ソフト　リセット」を選択し、［OK］を押します。

［OK］をそのまま 3 秒以上押し続けると「ハード　リセット」の操作になります。



「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセットが完了します。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハード　リセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。

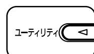
重要
- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。



1 ［リセット］を押します。



リセットメニューが表示されます。



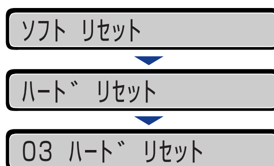


2 ［◀］、［▶］で「ソフト　リセット」を選択します。



3 ［OK］を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

「ハード　リセット」が表示されるまで（約３秒）押し続けます。３秒未満の場合は、「ソフト　リセット」の操作になります。



「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセットが完了します。

給紙・排紙のしかた

3
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 印刷速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  ・郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき：約 5.8 ページ／分
  ・封筒：約 3.2 ページ／分
- 幅が210.0mm未満の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 1.6 ページ／分まで遅くなることもあります。）

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙部		
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）
A4	◎	◎	◎
B5	○	○	○
A5	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
ユーザ設定用紙	○ *1	○ *2	○ *2
はがき 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
４面はがき 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
封筒 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
封筒 洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×

*1 以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。
・用紙を縦置きにセットした場合：幅76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0～ 355.6mm
・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
幅 127.0 ～ 215.9mm、長さ 127.0～ 215.9 mm

*2 以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。
・用紙を縦置きにセットした場合：幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～355.6mm
・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0～ 215.9 mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ	給紙部		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙（60 ～ 105g/m^2）	◎	◎	◎
厚紙（106 ～ 120g/m^2）	◎	×	×
厚紙（121 ～220g/m^2）	○	×	×
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	○	×	×
ラベル用紙	○	×	×
コート紙（105 ～ 120g/m^2）	◎	×	×
コート紙（121 ～ 160g/m^2）	○	×	×
はがき	○	×	×
封筒	○	×	×



用紙の厚さは、1m^2 あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 60～ 105g/m^2 の普通紙を使用できます。
普通紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。また、A4、リーガル、レターサイズは、自動両面印刷が可能です。

■ 厚紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 106 ～220g/m^2 の厚紙を使用できます（ただし、177 ～220g/m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしません。やむを得ず印刷しなければならない場合は、用紙タイプの設定を「厚紙 3」に設定して印刷してください）。
厚紙は、手差しトレイから給紙できます。また、A4、リーガル、レターサイズで重さ 106～ 120g/m^2 の厚紙は、自動両面印刷が可能です。



厚紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ　はがき、往復はがき、4面はがきサイズは、重さ106～176g/m^{2}の厚紙で使用できます。

■ OHPフィルム

本プリンタでは、A4またはレターサイズのOHPフィルムを使用できます。

重要
- OHPフィルムは、モノクロ印刷時のみ使用可能です。
- OHPフィルムは、「キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4」を使用してください。「キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4」の重さは1枚8.7gです。
- OHPフィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。
- OHPフィルムに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ ラベル用紙

本プリンタではラベル用紙を使用できます。

重要
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙A4」の重さは1枚7.8gです。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ コート紙

本プリンタでは、コート紙を使用できます。コート紙は手差しトレイにセットします。また、A4、リーガル、レターサイズで重さ105～120g/m^{2}のコート紙は、自動両面印刷が可能です。

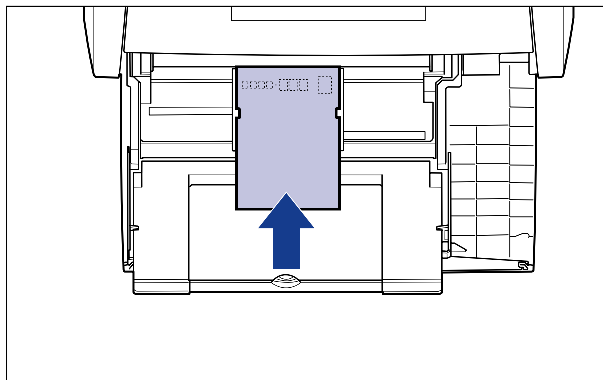
重要　コート紙は、「キヤノン推奨品イメージコートA4」をご使用ください。

■ はがき / 往復はがき /4面はがき

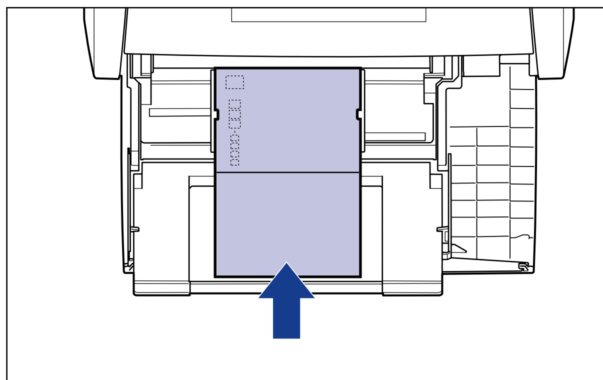
本プリンタでは、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便4面はがきとキヤノン推奨4面はがきを使用できます。はがき、往復はがき、4面はがきは印刷面を下にして手差しトレイにセットします。

重要
- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便4面はがき、およびキヤノン推奨の4面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきは横置きにはセットできません。印刷面を下にして、必ず縦置きにセットしてください。

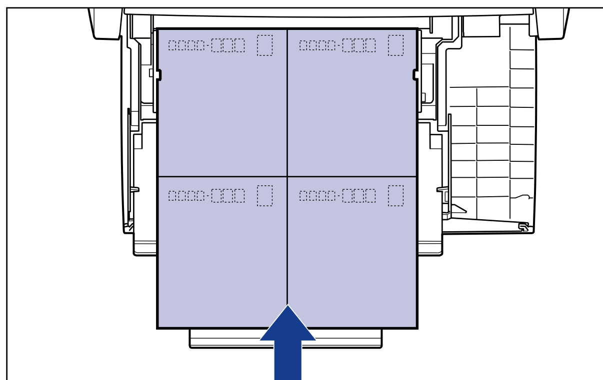
・はがき
（⬅：給紙方向）



・往復はがき
（⬅：給紙方向）



・4 面はがき
（⬅：給紙方向）

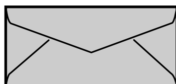


- はがきや往復はがき、4 面はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

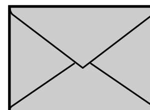
■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を下にして手差しトレイにセットします。

洋形4 号（105mm×235mm ）



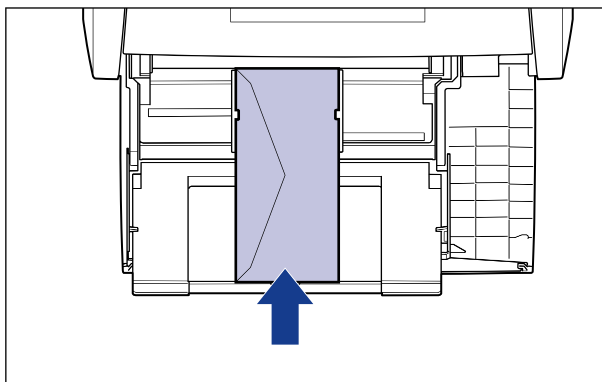
洋形2号（114mm×162mm）



※短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。
  （⬅：給紙方向）



- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ

封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

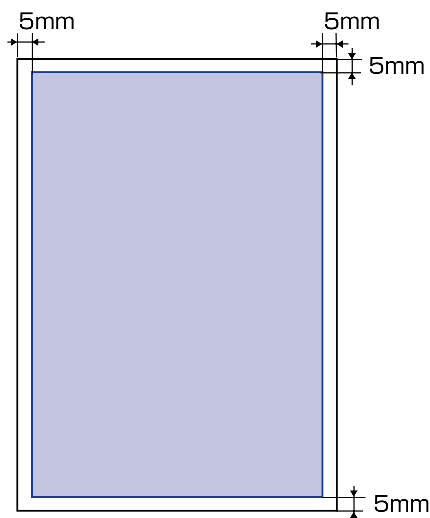
用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。ただし、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けた場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

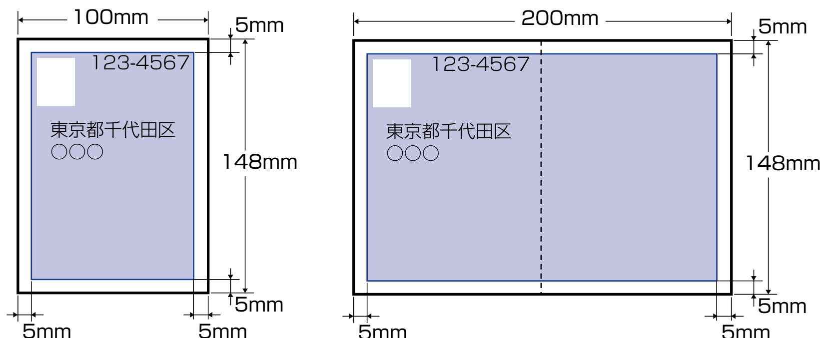
■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙 / コート紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



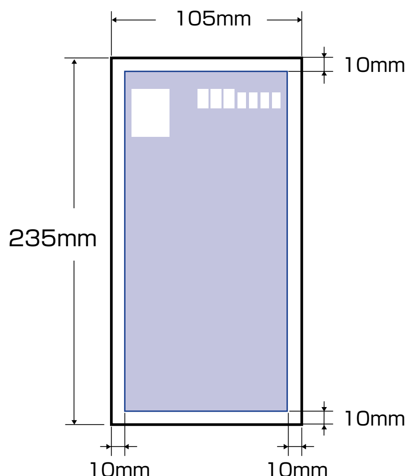
重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

■ 封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。

お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

 重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ･厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ･不規則な形の用紙
  - ･湿っている用紙、濡れている用紙
  - ･破れている用紙
  - ･表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ･バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ･カールした用紙や折り目のある用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ･バリのある用紙
  - ･しわのある用紙
  - ･角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ･定着器の加熱温度（約 275 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ･感熱用紙
  - ･表面加工したカラー用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ･カーボン紙
  - ･ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ･ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。

用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

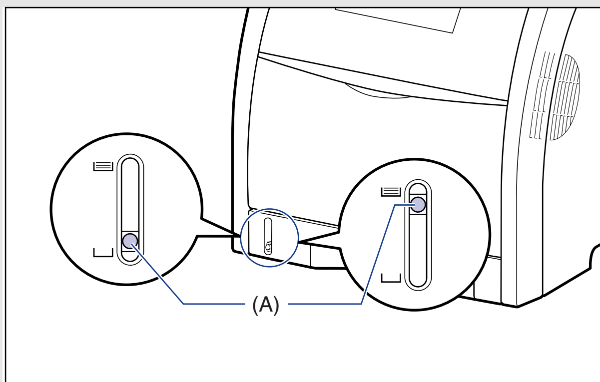
- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2）を装着することにより、最大 3 つの給紙部を使用することが可能です。

● 用紙残量表示について

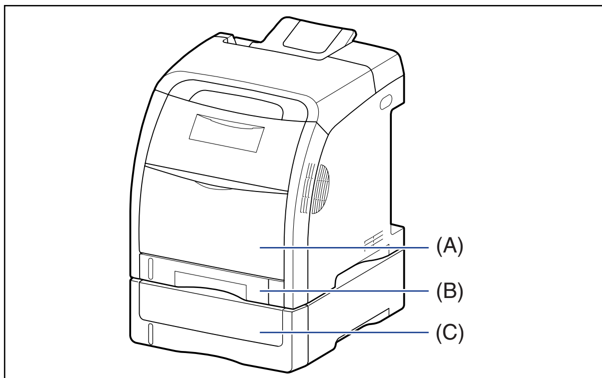
給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示（A）があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。



給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

(A)：手差しトレイ
(B)：カセット 1
(C)：カセット 2（オプション）





手差しトレイやカセット 2 から印刷する場合は、必ずカセット 1 がセットされていることを確認してから印刷してください。

給紙部の積載枚数

用紙の種類	給紙部		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙（64g/m²）	約 100 枚	約 250 枚	約 500 枚
厚紙（128g/m²）	約 50 枚	×	×
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	約 50 枚	×	×
ラベル用紙	約 40 枚	×	×
コート紙	約 50 枚	×	×
郵便はがき	約 50 枚	×	×
郵便往復はがき	約 50 枚	×	×
郵便 4 面はがき	約 50 枚	×	×
キヤノン推奨 4 面はがき	約 50 枚	×	×
封筒	約 10 枚	×	×

給紙元の選択

給紙元の選択は、次の手順で行います。

■ Windows や Macintosh から印刷する場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。印刷中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。

給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

重要 BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで給紙元を選択します。ただし、本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されているため、操作パネルで給紙元を選択しなくても、BMLinkS プリンタドライバで設定したサイズの用紙が自動的に給紙されます。給紙元を指定して印刷したい場合は、「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で給紙元を選択してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

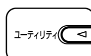
プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、以下の手順で行います。



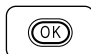
1 ［給紙選択］を押します。



ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。



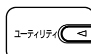




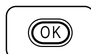
2 ［◀］、［▶］で「キュウシモード」を選択し、［OK］を押します。











3 ［◀］、［▶］で給紙元を選択し、［OK］を押します。





メモ •「カセット 2」はペーパーフィーダ装着時にのみ表示されます。

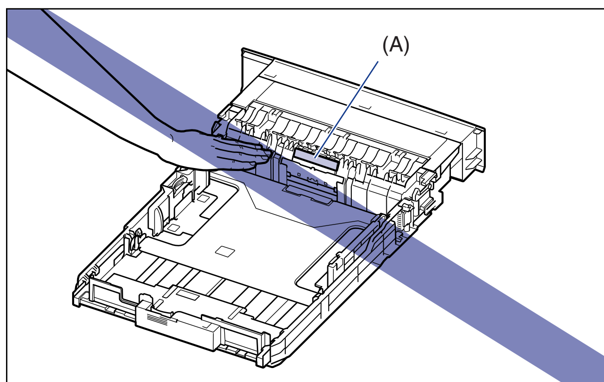
- 自動給紙選択時に、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされているほかの給紙元へ自動的に切り替わります。

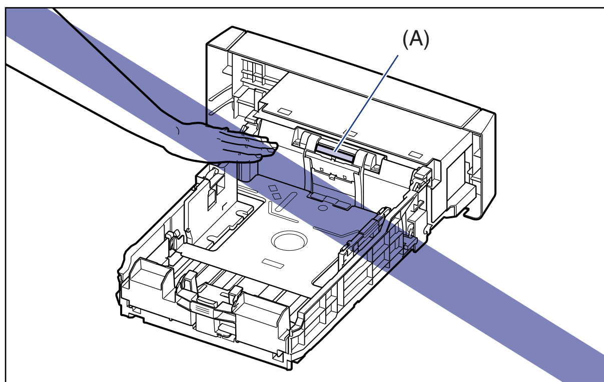
手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意

手差しトレイや給紙カセットを取り扱うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

重要

- 印刷中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 印刷中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 給紙カセットに用紙を補充する場合は、セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。
- 給紙カセットの黒いゴムパッド（A）には触れないでください。給紙不良の原因になります。





- 手差しトレイやカセット 2 から印刷する場合は、必ずカセット 1 がセットされていることを確認してから印刷してください。

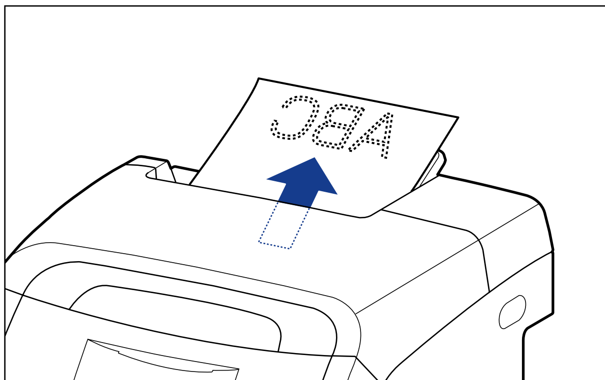


手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

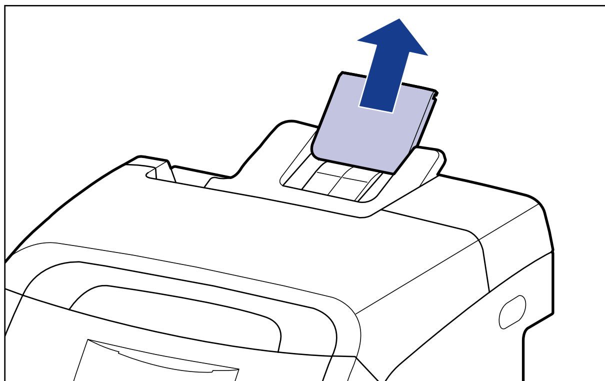
排紙先について

排紙トレイ

本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。



リーガルサイズの用紙を排紙トレイに排紙するときは、用紙が垂れ下がらないようにするために補助トレイを引き出します。引き出すときは、止まるまでゆっくり引き出してください。



注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先 *
	フェースダウン排紙トレイ
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 200 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 40 枚
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	約 50 枚
ラベル用紙	約 40 枚
コート紙	約 50 枚
郵便はがき	約 40 枚
郵便往復はがき	約 40 枚
郵便 4 面はがき	約 40 枚
キヤノン推奨 4 面はがき	約 40 枚
封筒	約 10 枚

* 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

給紙カセットから印刷する

給紙カセットには、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定サイズの普通紙（60 ～ 105g/m²）をセットすることができます。用紙がなくなると、ディスプレイに「11　XXX ヨウシガアリマセン」と表示されたり、給紙元表示ランプが点滅し、給紙元の用紙がなくなったことを表示しますので、用紙をセットしてください。

本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2 が追加されます。

給紙カセットから印刷するときは、次の項目を設定する必要があります。

重要

- 給紙カセットにセットされている用紙サイズとセットアップメニューの用紙サイズを一致させてお使いください。一致していないと、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示され、正しく印刷されません。
- 「カセット N（N = 1、2）　ヨウシサイズ」と「カセット N（N = 1、2）　ヨウシタイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「カセット N（N = 1、2）　ヨウシサイズ」と「カセット N（N = 1、2）　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 本プリンタでは、給紙カセットにセットされた用紙のタイプに応じて、内部的に最適な印刷モードに切り替えて印刷します。給紙カセットにセットした用紙のタイプと印刷モードが異なると、エンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  Windows や Macintosh から給紙カセットを使って印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセット N（N = 1、2）用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないとエラーメッセージが表示され、プリンタは停止します。
  また、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセット N（N = 1、2）用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。

メモ

プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、あらかじめ給紙元を「カセット 1」や「カセット 2」に設定してください。（→P.3-14）

■ **給紙カセットに用紙をセットする**（→P.3-20）

■ **給紙カセットの用紙サイズと用紙タイプを設定する**（→P.3-30、P.3-32）

給紙カセットの用紙サイズや用紙タイプを変更した場合は、操作パネルから以下の設定をしてください。用紙サイズや用紙タイプを変更しない場合は、設定する必要はありません。

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「カセット N（N = 1、2）　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ
- 「カセット N（N = 1、2）　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

BMLinkS プリンタドライバから印刷するときは、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「デフォルト　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ（➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷するときは、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「デフォルト　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ（➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- 「デフォルト　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ（➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

■ プリンタドライバで用紙の設定をする（➞ プリンタドライバのヘルプ）

LIPS プリンタドライバから印刷するときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版 LIPS プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ

［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ

［給紙］ページ

［給紙部］＝［カセット 1］、［カセット 2］

［用紙タイプ］＝

［普通紙］：	普通紙（60 ～ 105g/m^2）	
［普通紙 H］：	普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。	
［ラフ紙］：	表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。	



BMLinkS プリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときは印刷処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要　印刷中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。プリンタが停止し、印刷できなくなる場合があります。

■ ジョブランプが消灯しているとき

消灯

■ 用紙がなくなったことや用紙の交換を知らせるメッセージが表示されているとき

11 A4ヨウシガアリマセン

PC A4ヨウシ ニ コウカン

■ 本プリンタの電源がオフのとき

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットに用紙をセットします。定形の用紙とユーザ設定用紙とではセット方法が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

- 定形の用紙をセットする場合（➞P.3-21）
- ユーザ設定用紙（不定形用紙）をセットする場合（➞P.3-25）

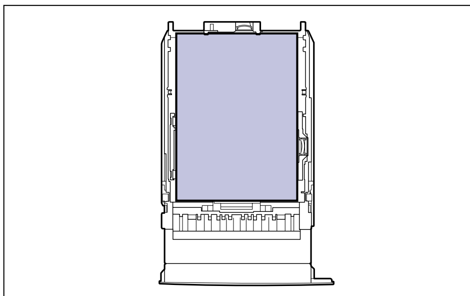
重要
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.3-3）を参照してください。
- 給紙カセットの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.3-15）を参照してください。
- 普通紙（60 ～ 105g/m²）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。

定形の用紙をセットする場合

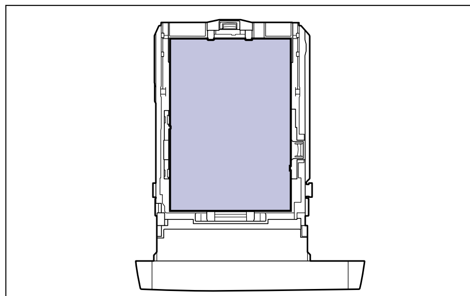
定形の用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

給紙カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

カセット 1



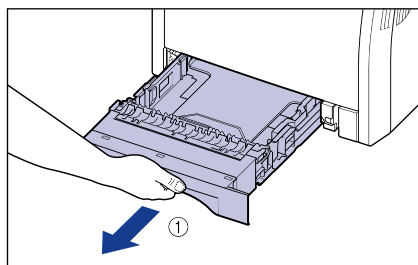
カセット 2



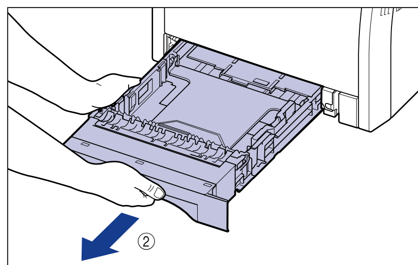
1 給紙カセットを引き出します。

カセット 1

給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。

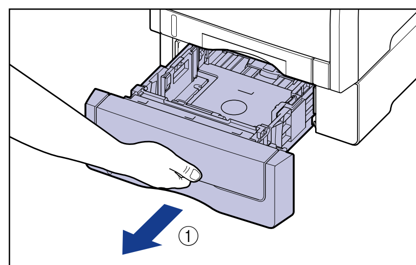


図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します ②。

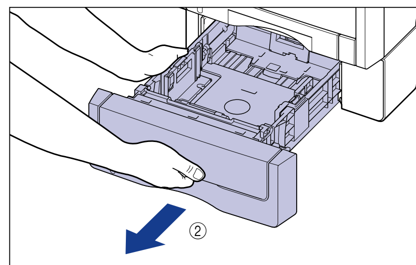


カセット 2

給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。



図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します ②。





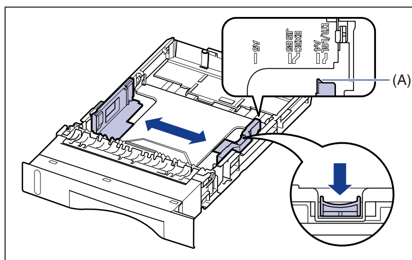
用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

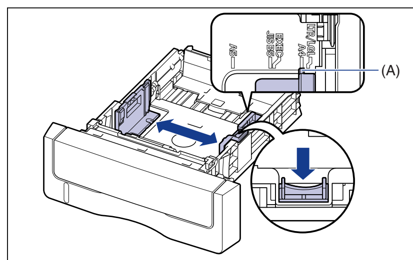
● **側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。**

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1



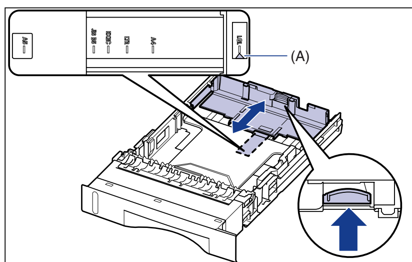
カセット 2



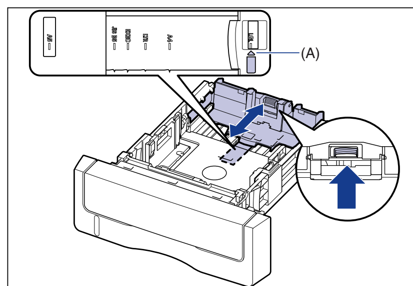
● **後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。**

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1

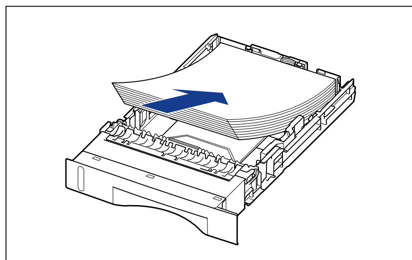


カセット 2

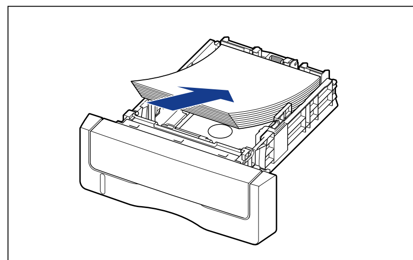


3 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

カセット 1



カセット 2

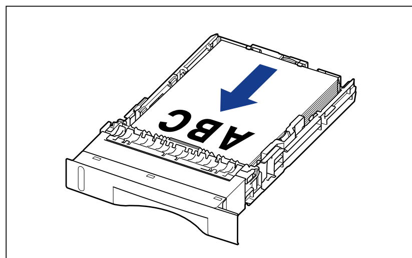


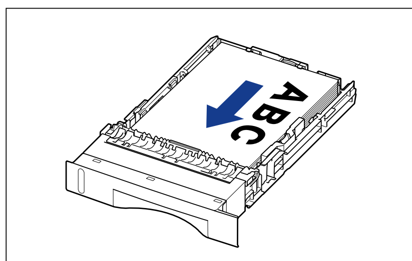
注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

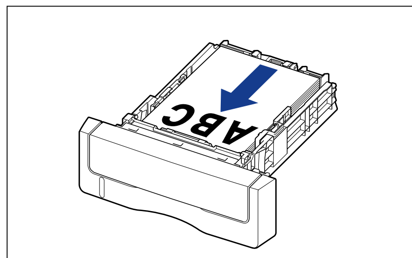
メモ
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。
（←：給紙方向）

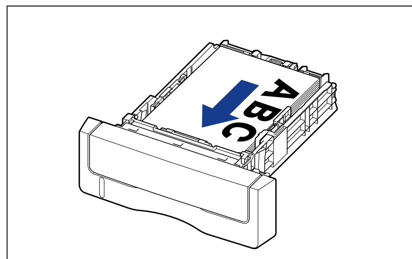
カセット 1





カセット 2

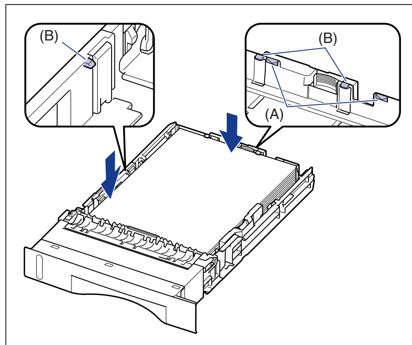




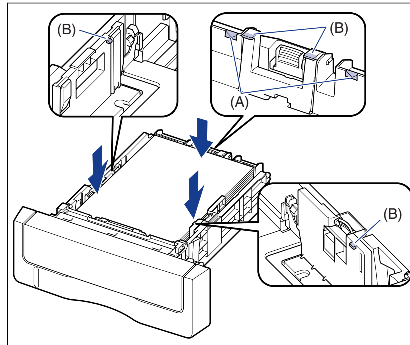
4 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

カセット 1



カセット 2



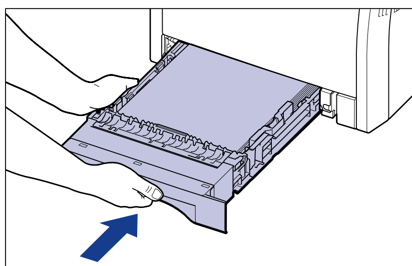


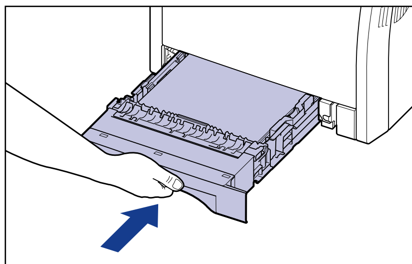
カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 500 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

5 給紙カセットをプリンタにセットします。

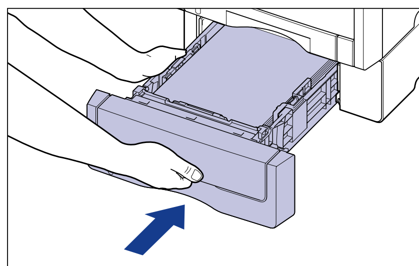
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

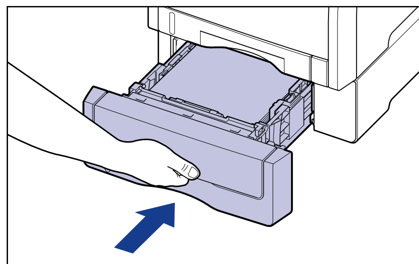
カセット 1





カセット 2





⚠注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

本プリンタの給紙カセットは、自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。
用紙サイズの登録は、「給紙カセットの用紙サイズを設定する」（➞P.3-30）を参照して行ってください。

ユーザ設定用紙（不定形用紙）をセットする場合

ユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順で行います。

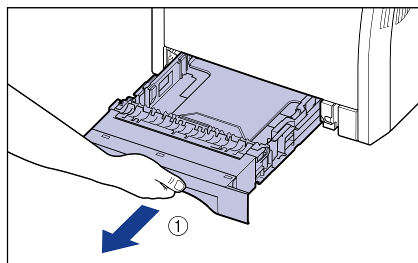
以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。

- 用紙を縦置きにセットした場合：
  幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm
- 用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
  幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 215.9 mm

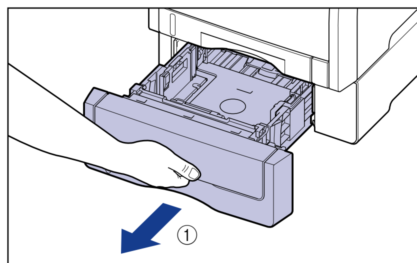
---

1 給紙カセットを引き出します。

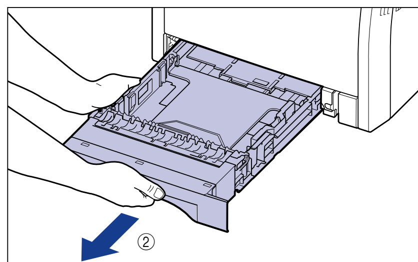
カセット 1
給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。



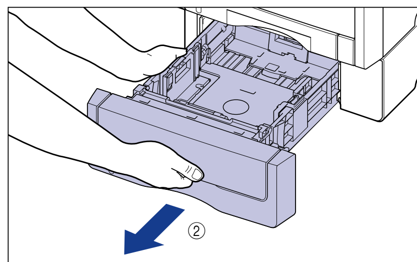
カセット 2
給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。



図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します ②。



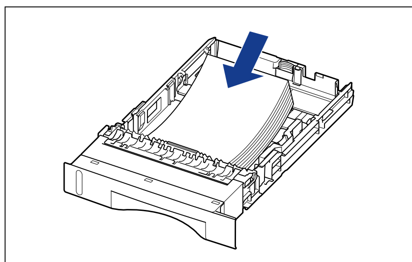
図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します ②。



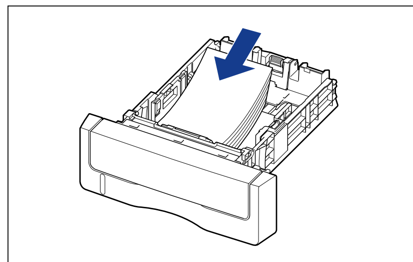
⚠注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

カセット 1



カセット 2



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

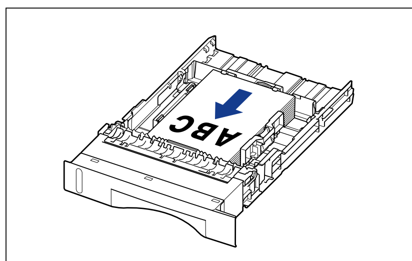
重要

- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

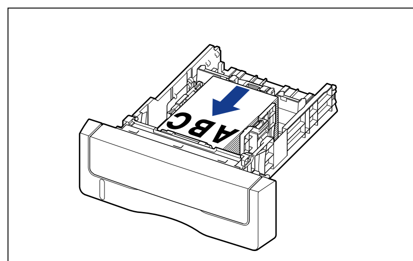
メモ

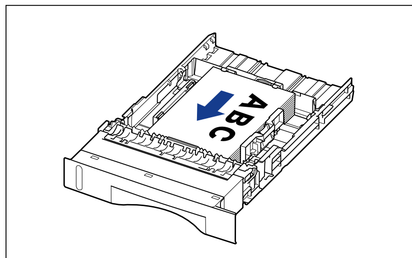
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合、縦置きでセットするときは、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。
（←：給紙方向）

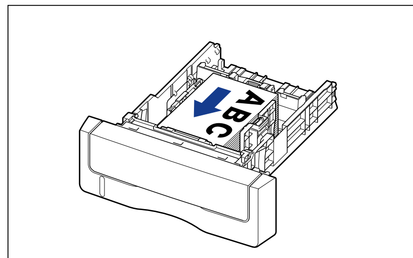
カセット 1



カセット 2

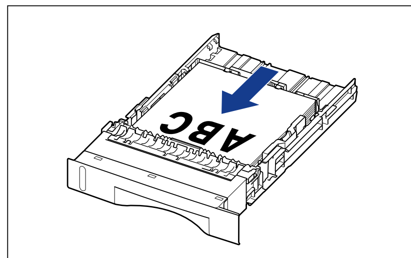


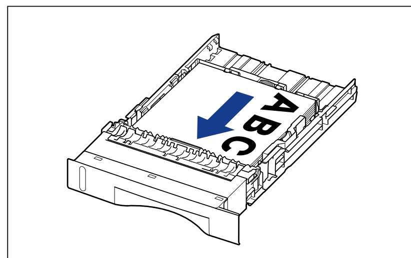




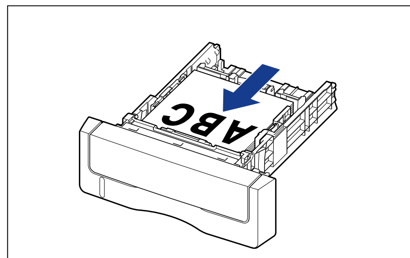
• レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合、横置きでセットするときは、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）

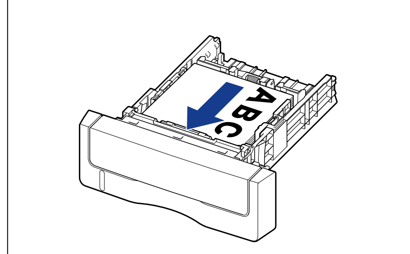
カセット 1





カセット 2

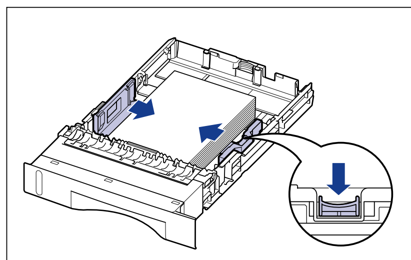




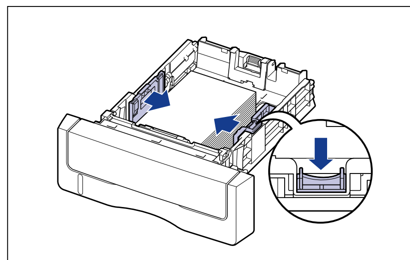
3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

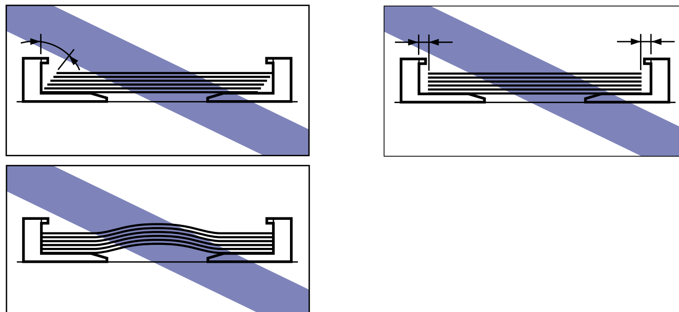
カセット 1



カセット 2

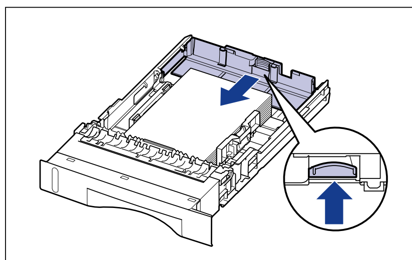


重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

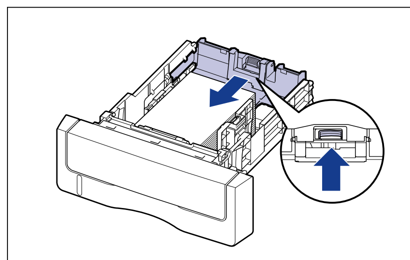


4 **後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。**

カセット 1



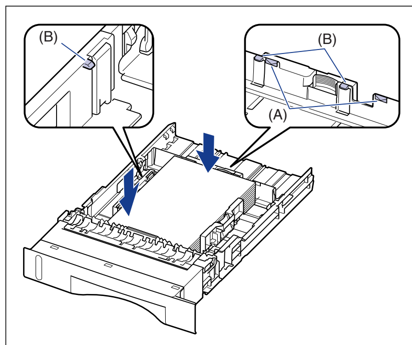
カセット 2



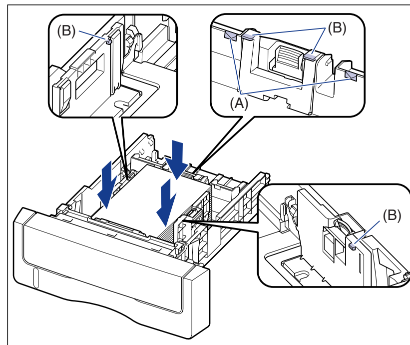
5 **用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。**

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

カセット 1



カセット 2

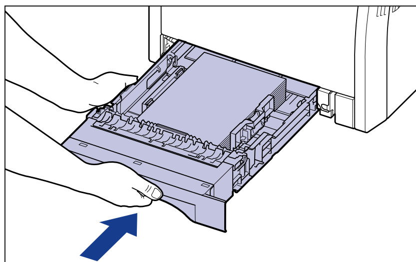


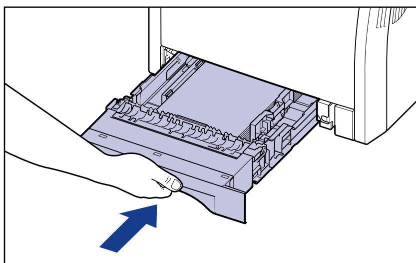

カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 500 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

6 給紙カセットをプリンタにセットします。

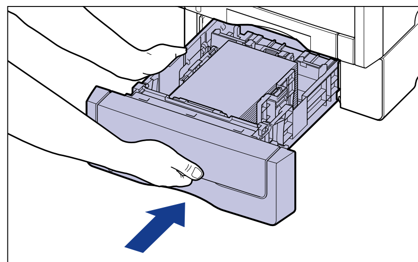
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

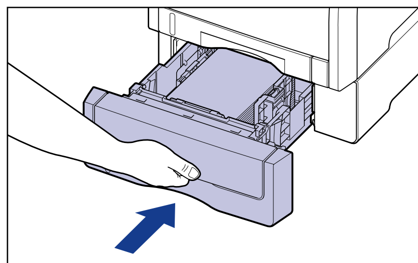
カセット 1





カセット 2






給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

本プリンタの給紙カセットは、自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。
用紙サイズの登録は、「給紙カセットの用紙サイズを設定する」（➞P.3-30）を参照して行ってください。

給紙カセットの用紙サイズを設定する

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙カセットの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙は、そのサイズを設定します。ユーザ設定用紙は、「ユーザセッテイサイズ」または「ユーザセッテイサイズ R」に設定します。給紙カセットの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。

給紙カセットの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

重要

- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX　ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合 [オンライン] を押すと、「カセット 1 用紙サイズ」や「カセット 2 用紙サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- ユーザ設定用紙をセットしたときは、「カセット 1 用紙サイズ」や「カセット 2 用紙サイズ」を以下のように設定してください。
  - ・横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）:「ユーザセッテイサイズ」
  - ・縦置きにセットした場合 :「ユーザセッテイサイズ R」
- 給紙カセットにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、用紙の向きを変更するたびに「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、セットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してから印刷してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズとカセットにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

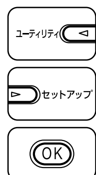


1 **[セットアップ] を押します。**

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ

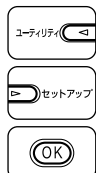


ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ 



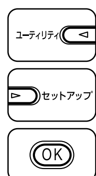
2 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[OK] を押します。



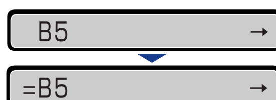


3 [◀]、[▶] で「カセット 1 用紙サイズ」や「カセット 2 用紙サイズ」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で用紙のサイズを選択し、[OK] を押します。



用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

Windows や Macintosh のプリンタドライバから印刷する場合は、プリンタドライバを設定してください。(➞P.3-51)
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、「デフォルト　ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行った後、プリンタドライバを設定してください。
DOS や UNIX などから印刷する場合は、「デフォルト用紙サイズ」および「デフォルト用紙タイプ」の設定を操作パネルで行ってください。

給紙カセットの用紙タイプを設定する

給紙カセットに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「カセットN（N=1、2） ヨウシタイプ」を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードで印刷されます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

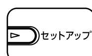
用紙の種類	共通セットアップメニュー「カセットN（N=1、2） ヨウシタイプ」
普通紙（60 ～ 105g/m²）	フツウシ
	フツウシ H*1
	ラフシ *2

*1 普通紙（75 ～ 105g/m²）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m²）を「フツウシ」に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

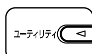
重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC XXX ヨウシ ニ コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「カセットN（N=1、2） ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 実際に手差しトレイにセットする用紙のタイプと「カセット N（N=1、2） ヨウシタイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。
- 「カセット N（N=1、2） ヨウシタイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。

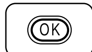


1 ［セットアップ］を押します。









2 ［◀］、［▶］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。





3 [◀]、[▶] で「カセットN（N=1、2） ヨウシタイプ」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で用紙タイプを選択し、[OK] を押します。



用紙タイプの左に「＝」が表示され、給紙カセットの用紙タイプが設定されます。

Windows や Macintosh のプリンタドライバから印刷する場合は、プリンタドライバを設定してください。（➞P.3-51）
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、「デフォルト ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行った後、プリンタドライバを設定してください。
DOS や UNIX などから印刷する場合は、「デフォルト ヨウシサイズ」および「デフォルト ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行ってください。

手差しトレイから印刷する

手差しトレイには、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブと以下のユーザ設定用紙を普通紙（64g/m^2）で約 100 枚までセットできます。

縦置きの場合：幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm

横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
幅 127.0 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 215.9 mm

OHP フィルムや封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。

手差しトレイから印刷するときは、次の項目を設定する必要があります。

重要 「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。

メモ プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、あらかじめ給紙元を「テザシトレイ」に設定してください。（→P.3-14）

■ 手差しトレイに用紙をセットする（→P.3-35）

■ 手差しトレイの用紙サイズと用紙タイプを設定する（→P.3-47、P.3-49）

手差しトレイの用紙サイズや用紙タイプを変更した場合は、操作パネルから以下の設定をしてください。用紙サイズや用紙タイプを変更しない場合は、設定する必要はありません。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「テザシトレイ　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ
- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

BMLinkS プリンタドライバから印刷するときは、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「デフォルト　ヨウシタイプ」= セットした用紙のタイプ（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷するときは、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「デフォルト　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- 「デフォルト　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

■ プリンタドライバを設定する（→プリンタドライバのヘルプ）

LIPS プリンタドライバから印刷するときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版 LIPS プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ

　［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ

［給紙］ページ

［給紙部］＝［手差し（トレイ）］

［用紙タイプ］＝　［普通紙］：普通紙（60 ～ 105g/m^2）

［普通紙 H］：普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

［厚紙 1］：厚紙（106 ～ 120g/m^2）

［厚紙 2］：厚紙（121 ～ 176g/m^2）、キヤノン推奨 4 面はがき

［厚紙 3］：177 ～ 220g/m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合に設定します。

［OHP フィルム］：OHP フィルム

［ラベル用紙］：ラベル用紙

［コート紙］：コート紙（105 ～ 120g/m^2）

［ラフ紙］：表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

［はがき］：はがき



BMLinkS プリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットします。用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

- 普通紙、厚紙、OHP フィルム、コート紙、ラベル用紙（➞ 用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合：P.3-36）
- はがき、封筒（➞ はがき、封筒をセットする場合：P.3-41）



- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.3-3）を参照してください。
- 手差しトレイの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.3-15）を参照してください。

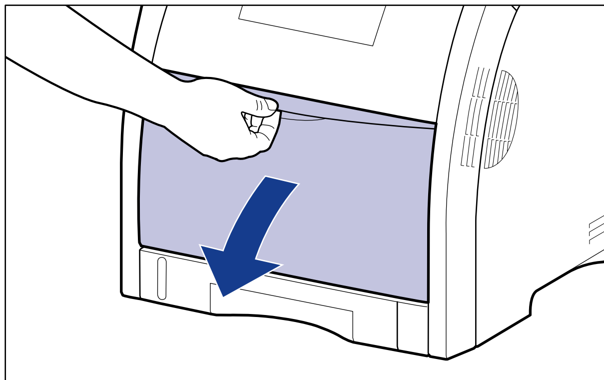
用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合

手差しトレイに普通紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、コート紙をセットするときは、以下の手順で行います。

重要
- OHP フィルムは、モノクロ印刷時のみ使用可能です。
- 177 ～ 220 g/m² の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、用紙タイプの設定を「厚紙 3」に設定して印刷してください。

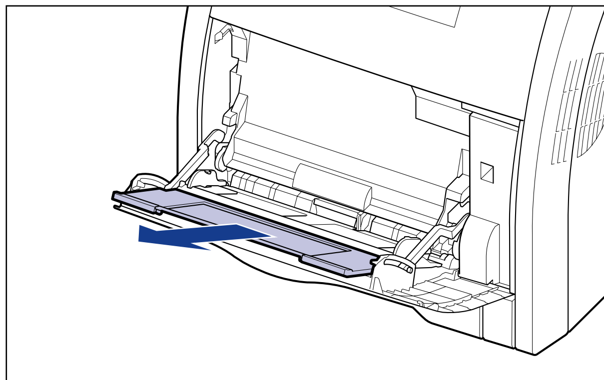
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



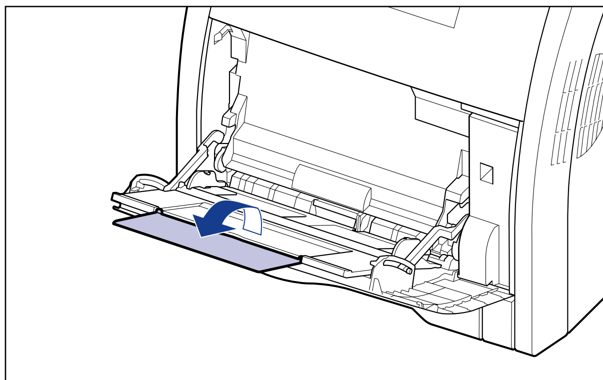
重要 必ず給紙カセットをセットしてください。給紙カセットがセットされていないと、手差しトレイから印刷できません。

2 補助トレイを引き出します。

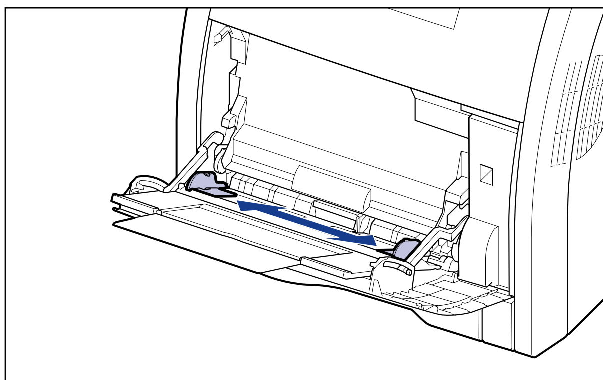


重要 手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

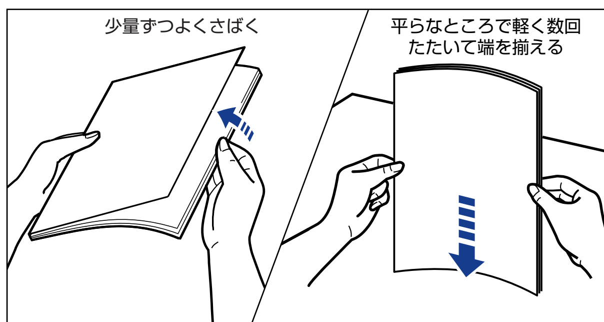
3 A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。



4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



5 OHP フィルムやラベル用紙、コート紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

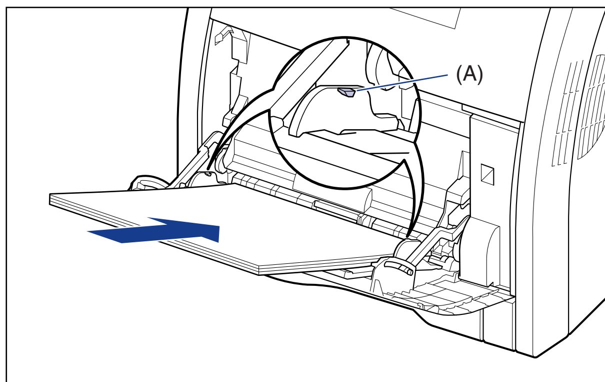


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムやラベル用紙、コート紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムやコート紙をさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムやコート紙に手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

6 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。



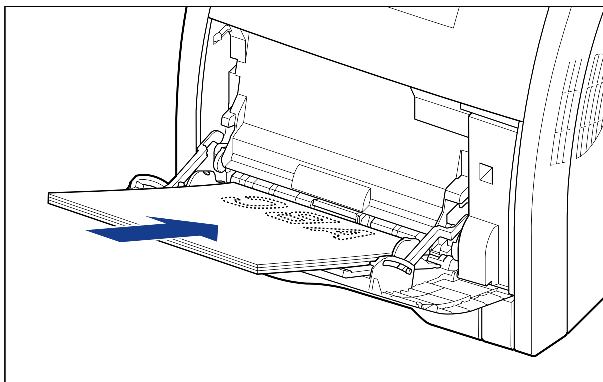
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

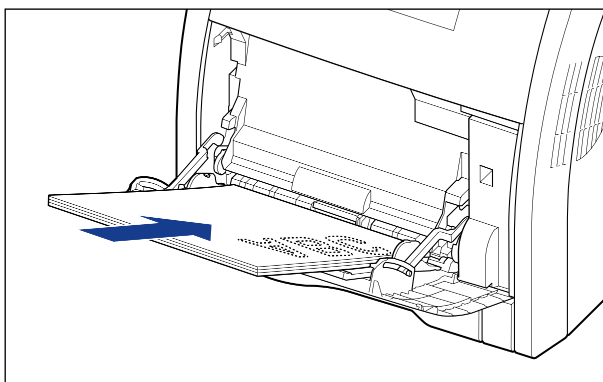
重要
- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
  - ･普通紙　　　　：約 100 枚（64g/m^2 の場合）
  - ･厚紙　　　　　：約 50 枚（128g/m^2 の場合）
  - ･OHP フィルム ：約 50 枚
  - ･ラベル用紙　　：約 40 枚
  - ･コート紙　　　：約 50 枚
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。



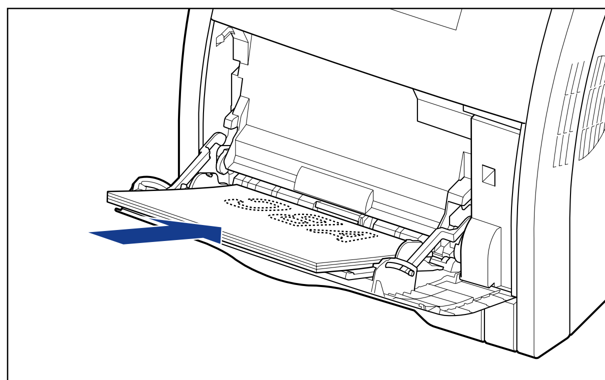
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

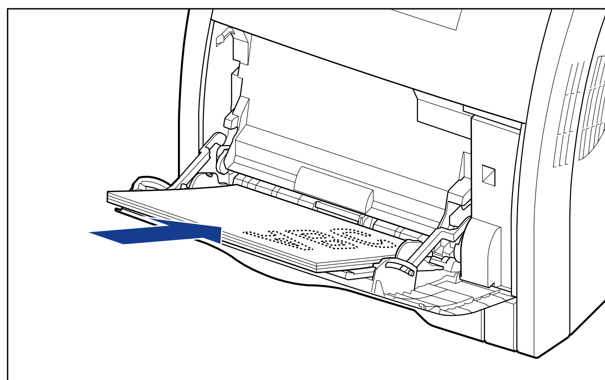
・A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙をセットする場合や、ユーザ設定用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）



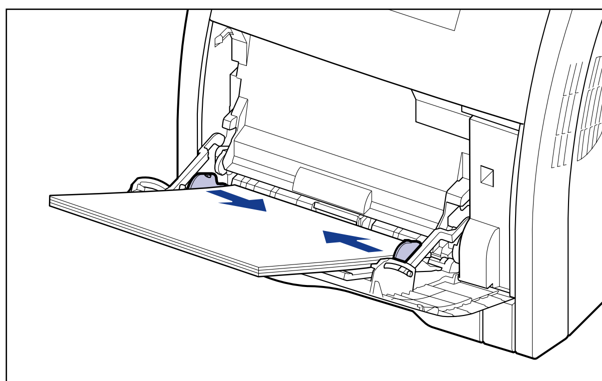


・ユーザ設定用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）



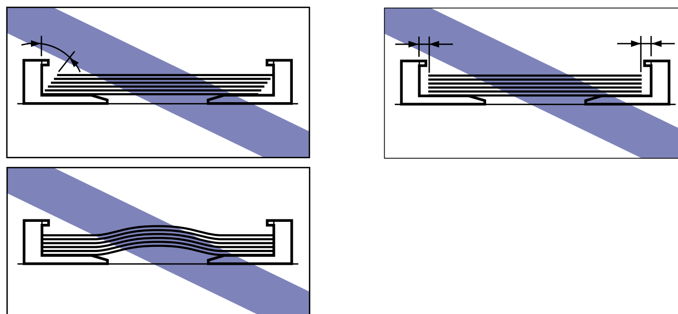


7 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。





必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（➞P.3-47）。

はがき、封筒をセットする場合

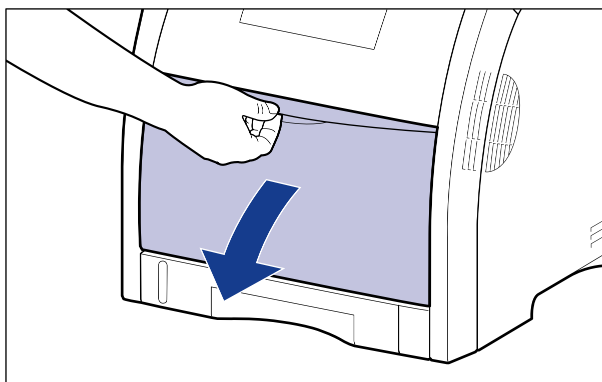
手差しトレイには、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、キヤノン推奨 4 面はがき、洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットできます。はがき、封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。



はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（60 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 176g/m^2）に印刷する場合は、「用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合」（➞P.3-36）を参照してください。

1 手差しトレイを開けます。

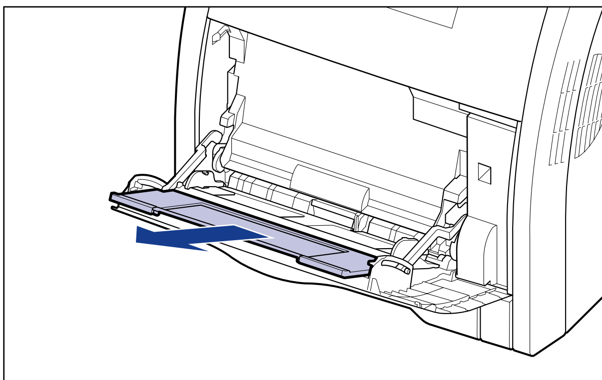
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。





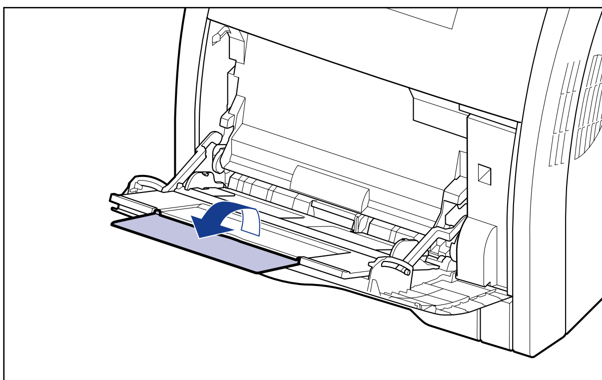
必ず給紙カセットをセットしてください。給紙カセットがセットされていないと、手差しトレイから印刷できません。

2 補助トレイを引き出します。

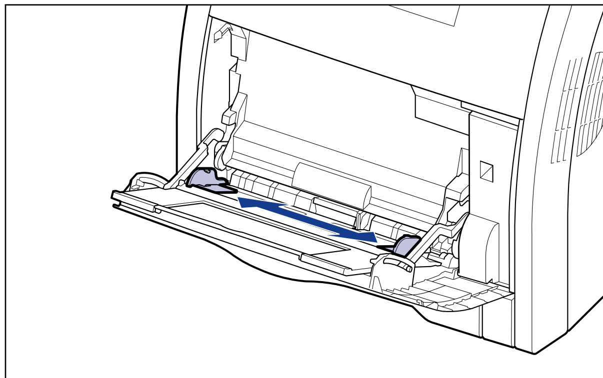


重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

3 4面はがきなどの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

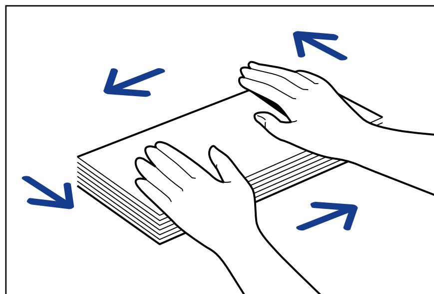


4 用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。



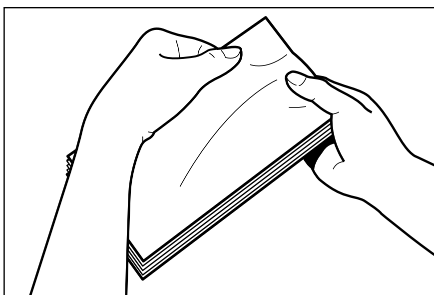
5 封筒をセットする場合は、次のように揃えます。

● 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

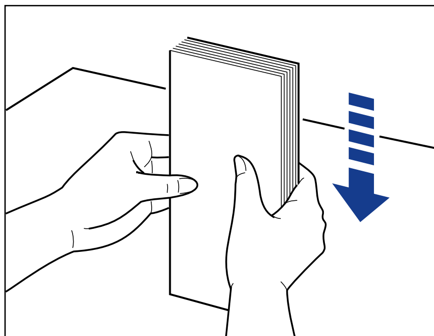


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

● 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

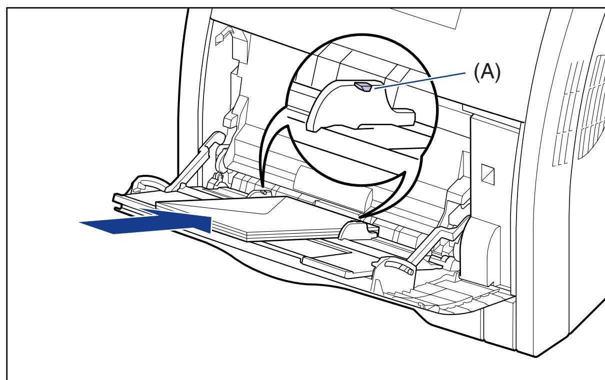


● 封筒を平らな場所で揃えます。



6 用紙の印刷面を下にして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

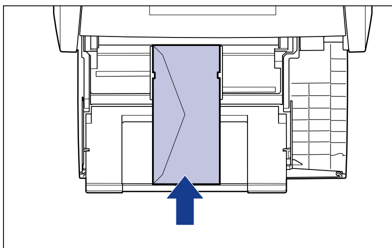
用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。



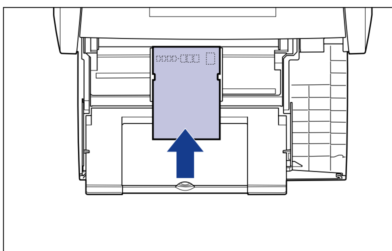
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

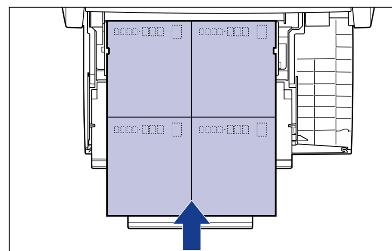
重要

- はがき、封筒は以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）
・洋形 4 号／洋形 2 号
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

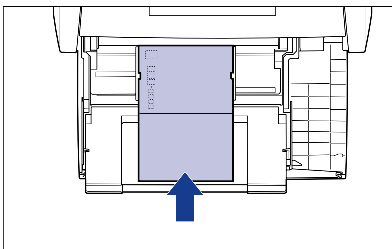


・はがき／ 4 面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



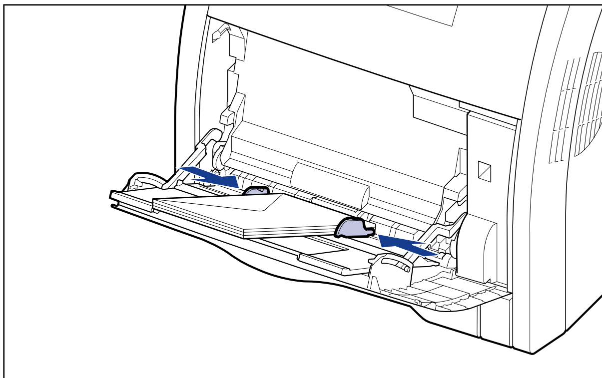


・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

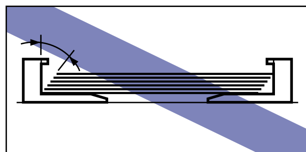


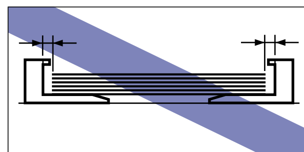
- 手差しトレイには、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、キヤノン推奨 4 面はがきを約 50 枚まで、封筒を約 10 枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

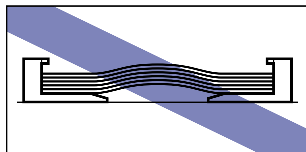
7 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。



重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→P.3-47）。

手差しトレイの用紙サイズを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから手差しトレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒、はがき、往復はがき、4 面はがきは、そのサイズを設定します。ユーザ設定用紙は、「ユーザセッテイサイズ」または「ユーザセッテイサイズ R」に設定します。手差しトレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。

手差しトレイの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

重要

- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- ユーザ設定用紙をセットしたときは、「手差しトレイ用紙サイズ」を以下のように設定してください。
  - ・横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）:「ユーザセッテイサイズ」
  - ・縦置きにセットした場合 :「ユーザセッテイサイズ R」
- 手差しトレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、異なるサイズの用紙をセットするたびに「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、手差しトレイにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してから印刷してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。ただし、「特殊モード J」を「ツカウ」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が異なる場合でも用紙サイズのチェックを行わずに印刷します。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。



1 ［セットアップ］を押します。

セットアップ

▼

カクチョウ　キノウ　→



2 [◄]、[►] で「キュウシ」を選択し、[OK] を押します。



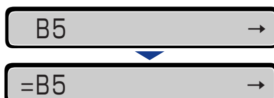


3 [◄]、[►]で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択し、[OK]を押します。





4 [◄]、[►] で用紙のサイズを選択し、[OK] を押します。



用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

次に手差しトレイの用紙タイプを設定してください（→次項目）。

手差しトレイの用紙タイプを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードで印刷されます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類	共通セットアップメニュー「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定
普通紙（60 ～ 105g/m^2）	フツウシ
	フツウシ H*1
	ラフシ *2
厚紙（106 ～ 120g/m^2）	アツガミ 1
厚紙（121 ～ 176g/m^2）、キヤノン推奨 4 面はがき	アツガミ 2
厚紙（177 ～ 220g/m^2）*3	アツガミ 3
OHP フィルム	OHP　フィルム
コート紙（105 ～ 120g/m^2）	コートシ *4
ラベル用紙	ラベルヨウシ
封筒	フウトウ
はがき	ハガキ

*1 普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を「フツウシ」に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

*3 177 ～ 220 g/m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、「アツガミ 3」に設定して印刷してください。

*4 121 ～ 160g/m^2 のコート紙を印刷するときは、「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「コートシ」にして、ユーザメンテナンスグループの「トクシュ　インジショリ」の「コートシ」を「スル」に設定します。

重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 実際に手差しトレイにセットする用紙のタイプと「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。
- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- 本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（60 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 176g/m^2）に印刷することができます。はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（60 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、「フツウシ」を選択し、厚紙（106 ～ 176g/m^2）に印刷する場合は、「アツガミ 1」を選択します。



1 [セットアップ] を押します。







2 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[OK] を押します。







3 [◀]、[▶]で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択し、[OK]を押します。







4 [◀]、[▶] で用紙のタイプを選択し、[OK] を押します。



用紙タイプの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

Windows や Macintosh のプリンタドライバから印刷する場合は、プリンタドライバを設定してください。(→次項目)
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、「デフォルト　ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行った後、プリンタドライバを設定してください。
DOS や UNIX などから印刷する場合は、「デフォルト　ヨウシサイズ」および「デフォルト　ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行ってください。

プリンタドライバの設定をして印刷する

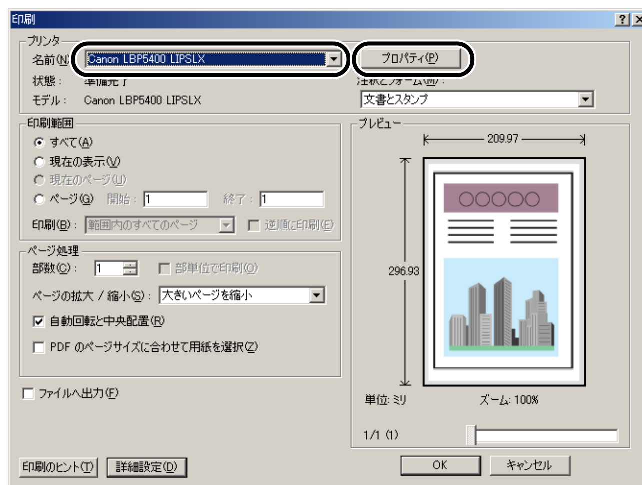
用紙を給紙部にセットしたあと、次の手順でプリンタドライバの設定をして印刷します。

プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

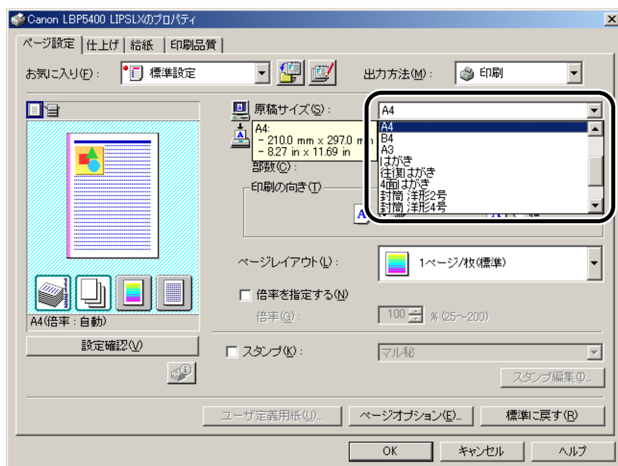
メモ

- プリンタドライバのインストール方法については、User Software CD-ROMに収められている取扱説明書を参照してください。
- プリンタドライバの設定項目の詳しい説明については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。
- BMLinkSプリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkSプリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

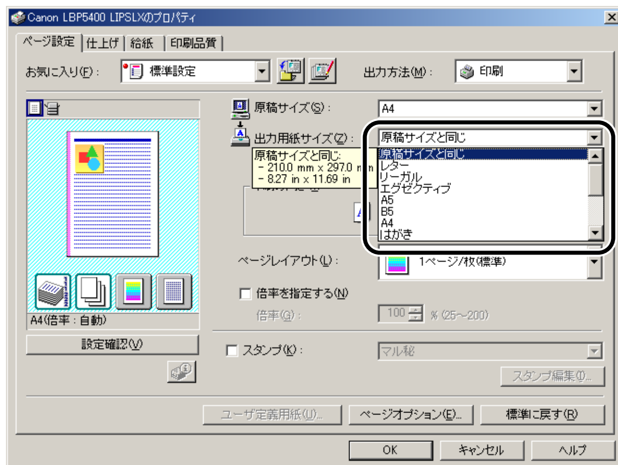


2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

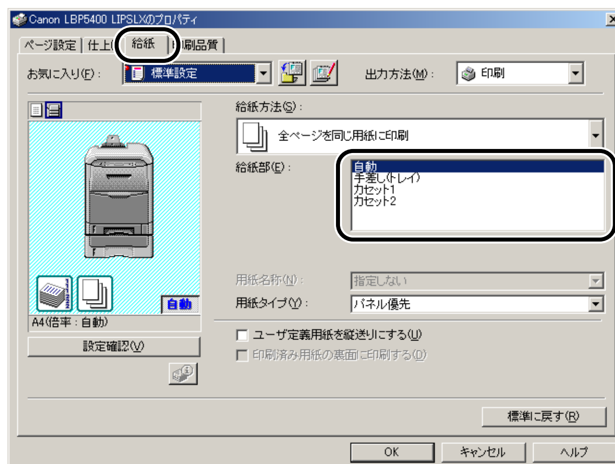
［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



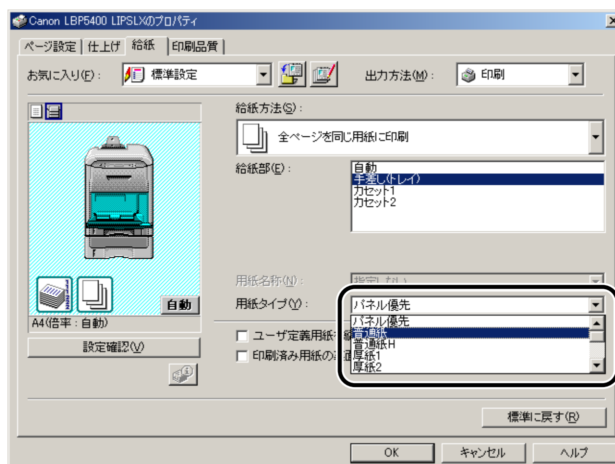


［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。



5 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。





［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定
普通紙	60～105g/m²	［普通紙］
		［普通紙 H］ ＊1
		［ラフ紙］ ＊2
厚紙	106～120g/m²	［厚紙 1］
	121～176g/m²	［厚紙 2］
	177～220g/m²＊3	［厚紙 3］

用紙タイプ		プリンタドライバの設定
OHP フィルム		[OHP フィルム]
ラベル用紙		[ラベル用紙]
コート紙	105 ～ 120g/m^2	[コート紙] *4
はがき		[はがき]
封筒		[封筒]

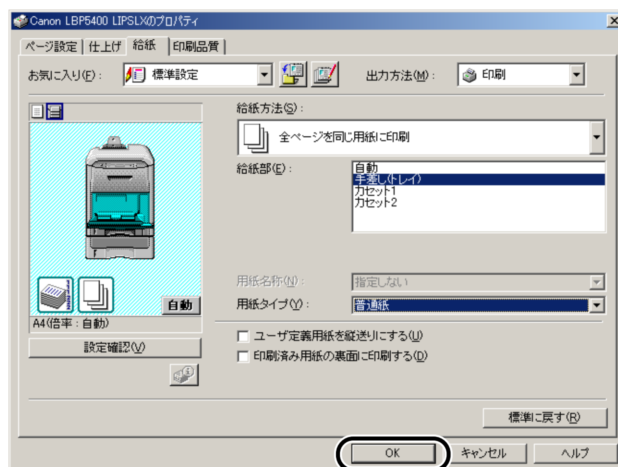
*1 普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

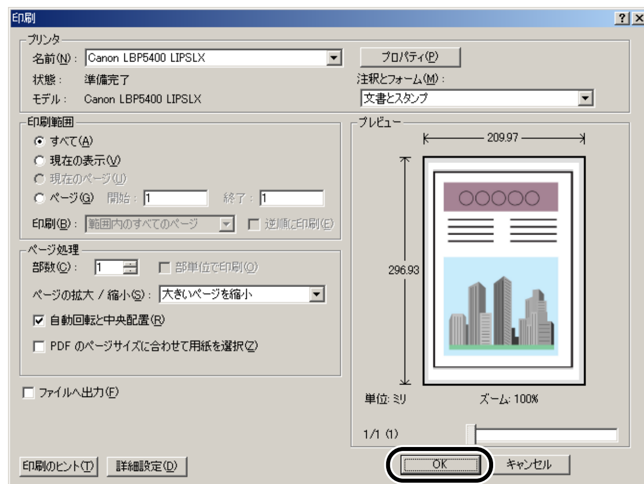
*3 177 ～ 220 g /m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、［厚紙 3］に設定して印刷してください。

*4 121 ～ 160g/m^2 のコート紙を印刷するときは、［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にしてから、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊印字処理］の設定を［する］にします。

6 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



7 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。



両面に印刷する

本プリンタは標準で両面印刷することができます。自動両面印刷で使用できる用紙は、A4、リーガル、レターサイズの普通紙と厚紙（106 ～ 120g/m²）、コート紙（105 ～ 120g/m²）です。

重要

- 厚紙（121 ～ 220g/m²）、OHP フィルム、ラベル用紙、コート紙（121 ～ 160g/m²）、はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 両面印刷の設定をした状態で、奇数ページのジョブを印刷するときの最終ページの印刷面は、「特殊両面処理」（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）の設定や給紙元によって、以下のようになります。

  ･給紙カセットから印刷する場合
  「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
  「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。

  ･手差しトレイから印刷する場合
  「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。
  「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
- プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙に印刷するとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、「特殊両面処理」を「シナイ」に設定してください。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。
- 手動両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

メモ

プリンタの RAM 容量によっては、罫線が多い文書や複雑な図・表・グラフのある文書を自動両面印刷する場合、印字品質が低下したり、「39　スプールメモリフル」と表示されて印刷できないことがあります。その場合は、「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおすか、拡張 RAM を増設する必要があります。「階調処理」については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」、拡張 RAM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

自動両面印刷と片面印刷を切り替える

自動両面印刷するときは、次の手順で行います。

■ **Windows から印刷する場合**

自動両面印刷をするときは、LIPS プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。LIPS プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、両面の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

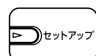
■ **Macintosh から印刷する場合**

自動両面印刷をするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ **DOS や UNIX から印刷する場合**

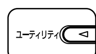
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルで設定します。

プリンタの操作パネルで自動両面印刷と片面印刷を切り替えるときは、次の手順で行います。

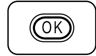


1 ［セットアップ］を押します。

```
セットアップ゜
▼
カクチョウ キノウ →
```

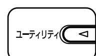






2 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。

```
キュウシ →
▼
テサ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→
```

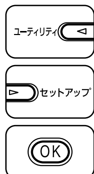






3 ［◄］、［►］で「リョウメン　インサツ」を選択し、［OK］を押します。

```
リョウメン インサツ →
▼
=シナイ →
```



4 ［◄］、［►］で「スル」を選択し、［OK］を押します。



「スル」の左に「＝」が表示され、両面印刷が設定されます。

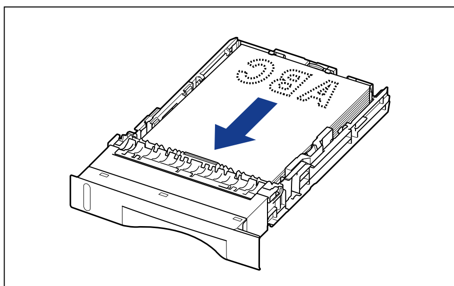
自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた

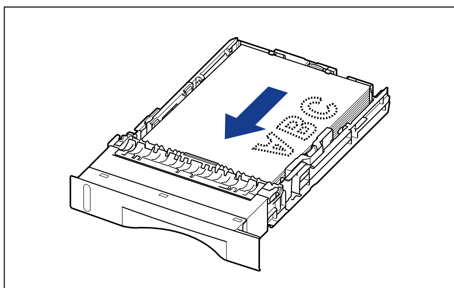
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは次のように用紙をセットします。

給紙カセットから給紙する場合

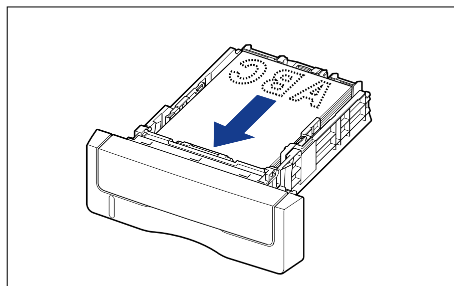
用紙の表面（1 面目）を下に向け、以下のようにセットします。
（⇦：給紙方向）

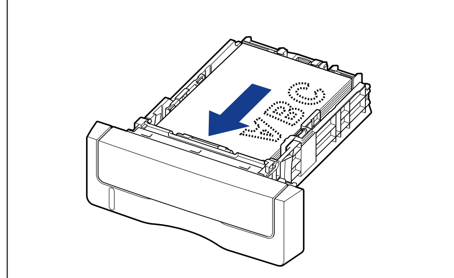
カセット 1





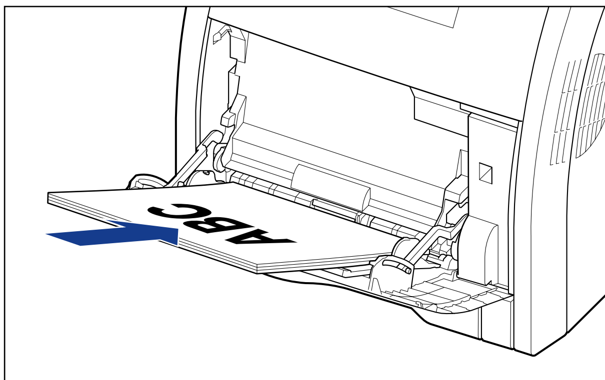
カセット 2

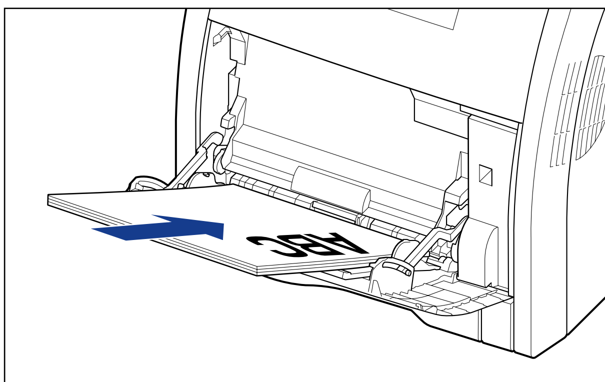




手差しトレイから給紙する場合

用紙の表面（1 面目）を上に向け、以下のようにセットします。
（←: 給紙方向）





手動で両面に印刷する

本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバや操作パネルで設定が必要です。

重要
- 本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、必ず「手差し両面」を「2 メンメ」に設定して印刷してください。
- はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に「手差し両面」を「1 メンメ」に設定して印刷し、次に表面（宛名側の面）を「2 メンメ」に設定して印刷してください。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ Windows から印刷する場合

印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバの［給紙］ページで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］をチェックします。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください

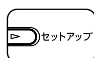
重要　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで手動両面印刷の設定を行います。「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh から印刷する場合

印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

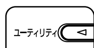
■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルから「手差し両面」を「2 メンメ」に設定します。
プリンタの操作パネルで裏面の設定をするには、次の手順で行います。

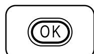


1 ［セットアップ］を押します。



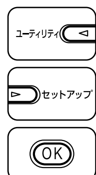






2 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。



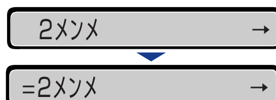


3 [◀]、[▶] で「テザシ　リョウメン」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で「2 メンメ」を選択し、[OK] を押します。



「2 メンメ」の左に「＝」が表示され、裏面印刷が設定されます。

手動両面印刷時の用紙のセットのしかた

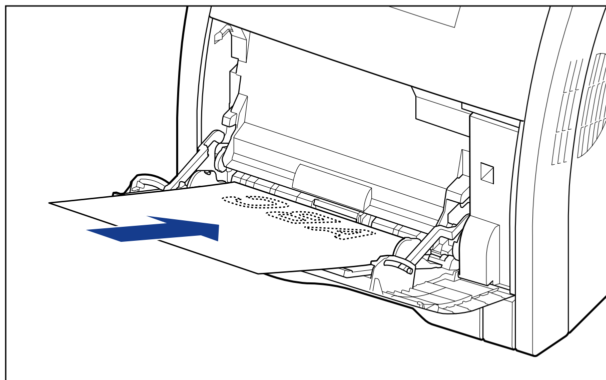
手差しトレイから裏面に印刷済みの用紙に印刷する場合は、次のように用紙をセットします。

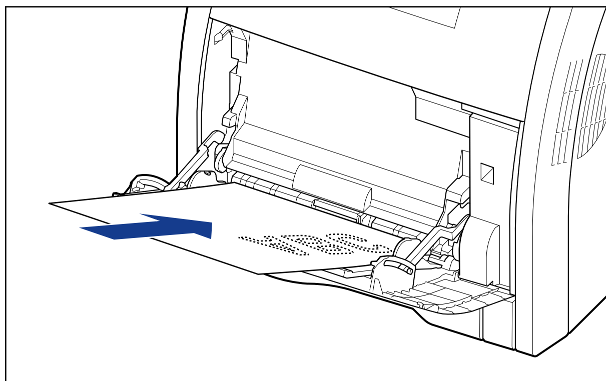


手動両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

■ A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙をセットする場合や、ユーザ設定用紙を縦置きでセットする場合

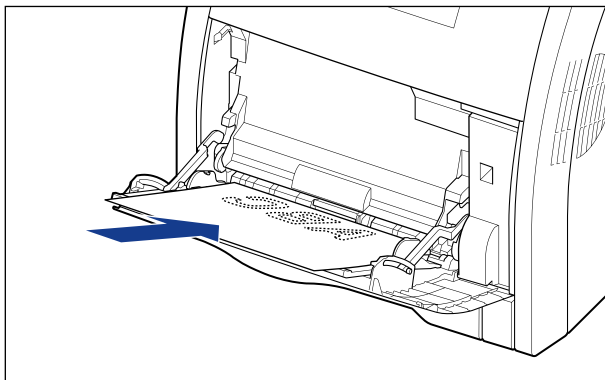
用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）

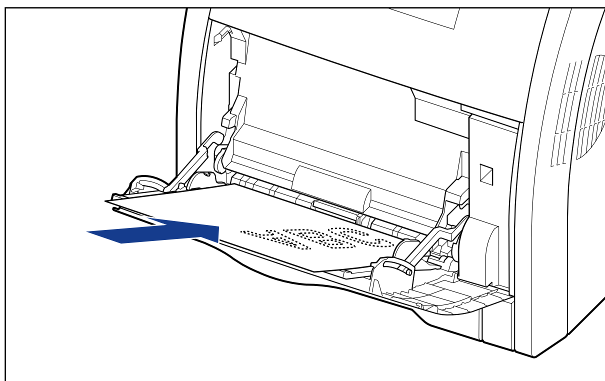




■ ユーザ設定用紙を横置きでセットする場合

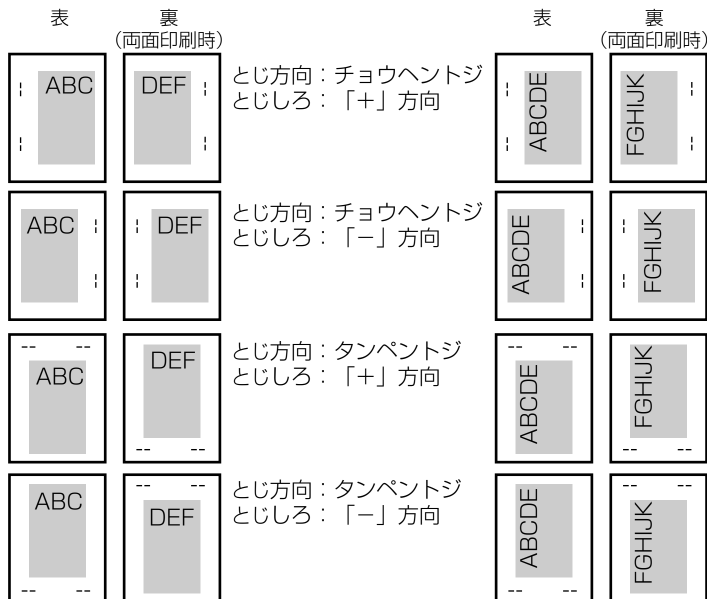
用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）





とじしろを付けて印刷する

用紙の端にとじしろ用の余白を付けて印刷することができます。とじしろを付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじしろ（最大 50mm）を指定します。



重要　とじしろを設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

メモ
- プリンタドライバの場合、（+）、（−）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
- 自動両面印刷の場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
- 縦位置補正、横位置補正の設定はとじしろの設定に関係なく有効です。このため、両面印刷で縦位置補正、横位置補正が設定されている場合、表裏のとじしろがずれることがあります。

とじしろを設定する

とじしろを設定するときは、次の手順で行います。

■ Windows から印刷する場合

とじしろは、LIPS プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじしろ］を設定します。LIPS プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

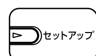
重要 BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルでとじしろの設定を行います。「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh から印刷する場合

とじしろは、プリンタ ドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、操作パネルでとじしろを設定します。
プリンタの操作パネルでとじしろを設定するときは、次の手順で行います。

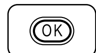


1 ［セットアップ］を押します。









2 ［◀］、［▶］で「レイアウト」を選択し、［OK］を押します。

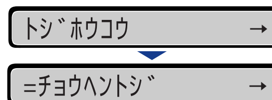








3 ［◀］、［▶］で「トジ　ホウコウ」を選択し、［OK］を押します。



とじ方向の設定値が表示されます。



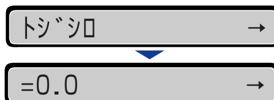
4 [◀]、[▶] で目的のとじ方向を選択し、[OK] を押します。



選択したとじ方向が設定されます。



5 [◀]、[▶] で「トジシロ」を選択し、[OK] を押します。

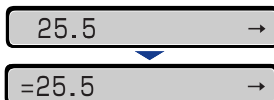


とじしろの設定値が表示されます。



6 [◀]、[▶] で目的の数値を選択し、[OK] を押します。

数値は、[◀] または [▶] を押すたびに 0.5mm 単位で変化します。



設定値の左右に「=」が表示され、とじしろが設定されます。

日常のメンテナンス

4
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X トナー ヨウイ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X トナー コウカン (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・[オンライン] を押すと印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
9G X トナー カクニン (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
1G X トナー コウカン (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G K トナー コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません。 ・「1G X トナー コウカン」(X=Y、M、C) が表示された場合は、モノクロ印刷のみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* トナーが少なくなったときに「16 X トナー ヨウイ」と「16 X トナー コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16 X トナー ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。

4
日常のメンテナンス

重要

印字がかすれたり、印字むらが出るときは、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5400	Canon Cartridge 311 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　ブラック） Canon Cartridge 311 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　イエロー） Canon Cartridge 311 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　マゼンタ） Canon Cartridge 311 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　シアン）

メモ

- 本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4 またはレター、用紙タイプ：普通紙
  - ・Canon Cartridge 311 Black
    （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　ブラック）：約 6,000 ページ
  - ・Canon Cartridge 311 Yellow
    （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　イエロー）：約 6,000 ページ
  - ・Canon Cartridge 311 Magenta
    （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　マゼンタ）：約 6,000 ページ
  - ・Canon Cartridge 311 Cyan
    （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　シアン）：約 6,000 ページ
- 間欠プリント（間隔をおいたプリント）、用紙サイズ、用紙タイプなど、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
- 印字比率が低くトナー消費量が少ない場合には、期待した印字可能枚数を実現できない場合があります。また、カラープリントの場合は、複数色のカートリッジが同時に寿命になることもあります。
- モノクロプリントした場合でも、プリンタの構造上、マゼンタ、イエロー、シアンのカートリッジの寿命に影響することがあります。

トナーカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください。

- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのトナーカートリッジを交換します

警告

使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

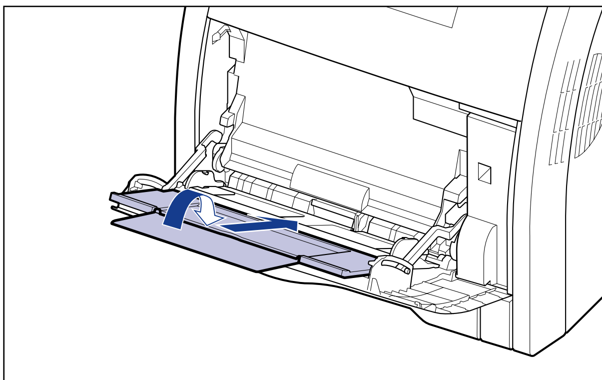
注意

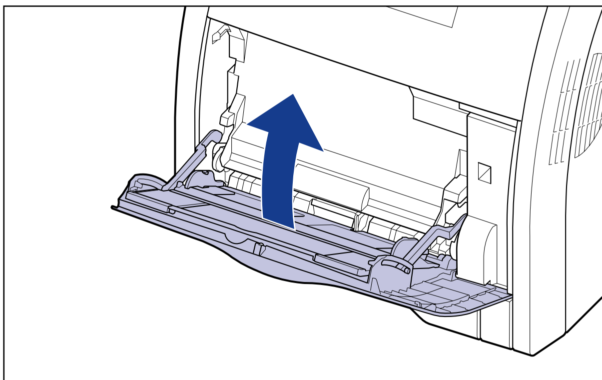
トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

メモ
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」（➞P.4-14）を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

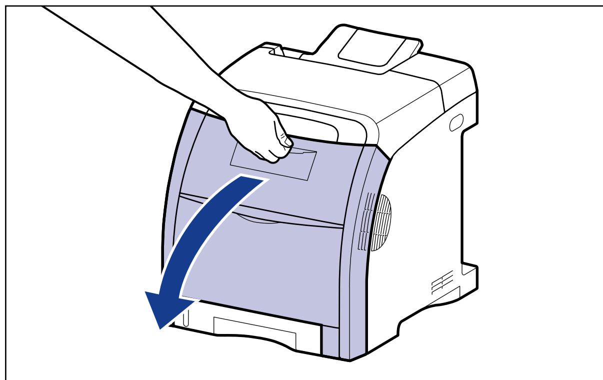
1 **手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。**





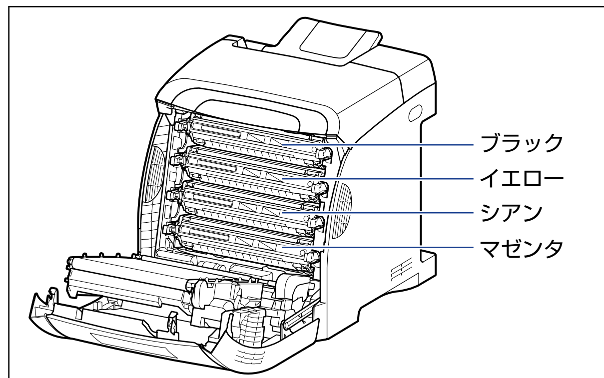
2 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

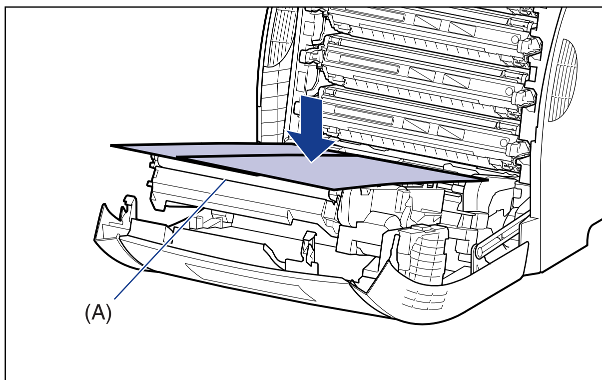




トナーカートリッジは、上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順に取り付けられています。

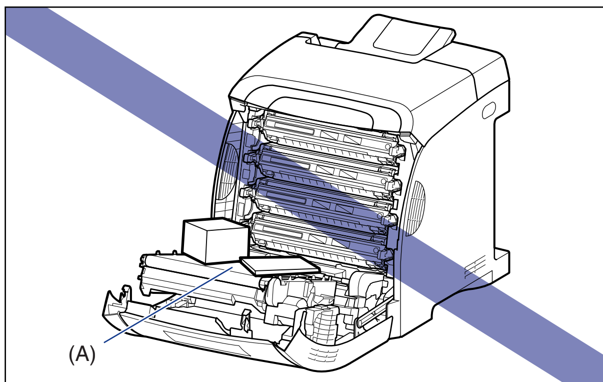


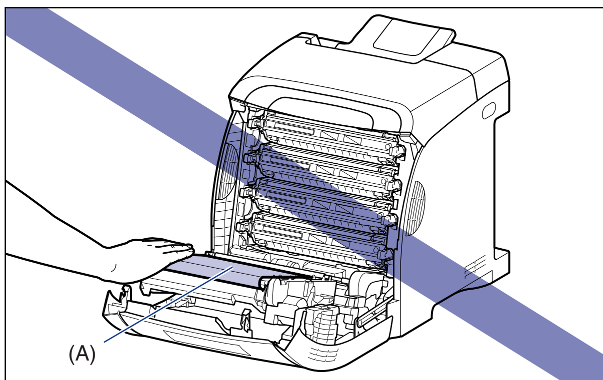
3 ETB ユニット（A）の搬送ベルトの上に、図のようにご使用の用紙（A4 サイズの用紙を推奨）をずれないように置きます。



重要

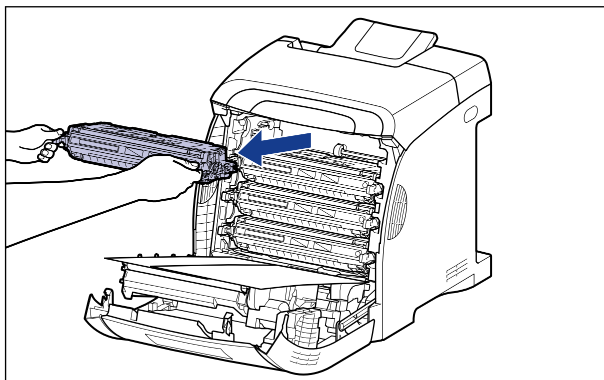
- トナーカートリッジを着脱するときは、ETB ユニットの搬送ベルトを保護するため、必ず用紙を搬送ベルトの上に置いて作業を行ってください。
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルト（A）に触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。





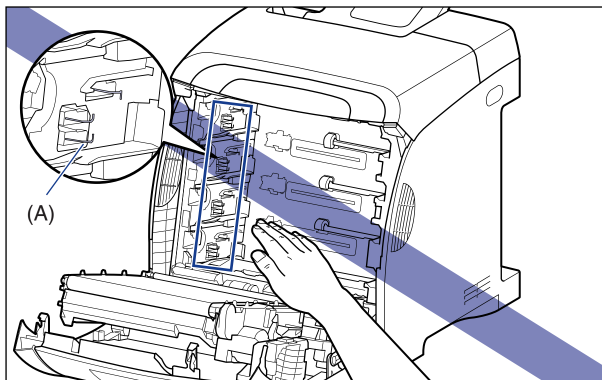
4 交換する色のトナーカートリッジの左右にある青色の取っ手を持ち、水平に引き抜きます。

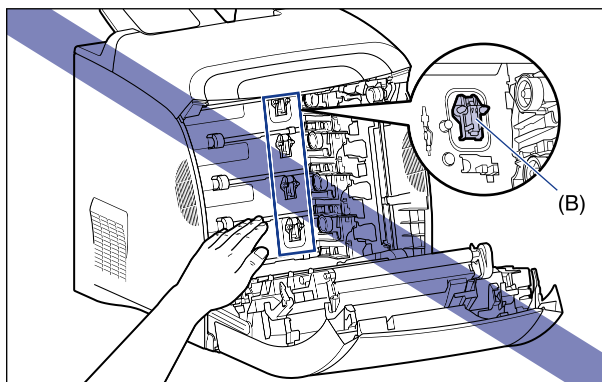
トナーカートリッジはしっかりと両手で持って、ETB ユニットの搬送ベルトに触れないように引き抜きます。





図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



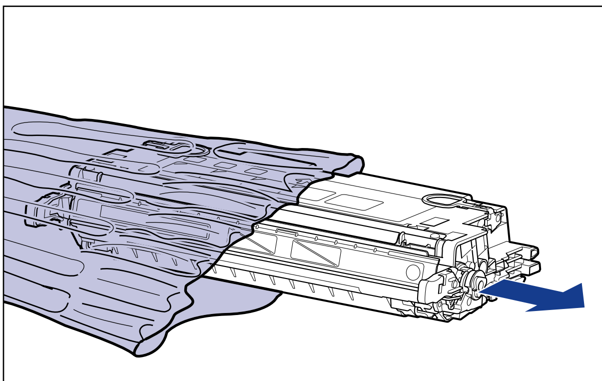


4

日常のメンテナンス

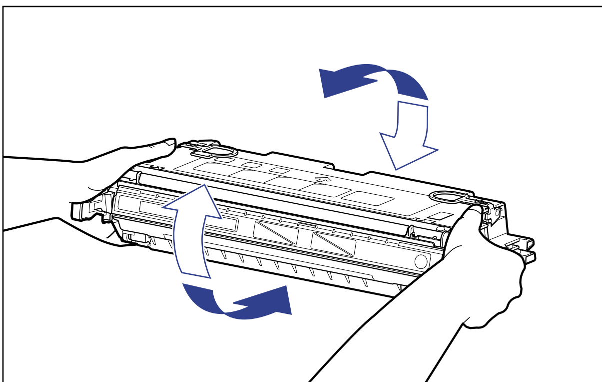
5 新しいトナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

保護袋は矢印付近に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。ただし、手で切り取れない場合は、トナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けてください。



重要 トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

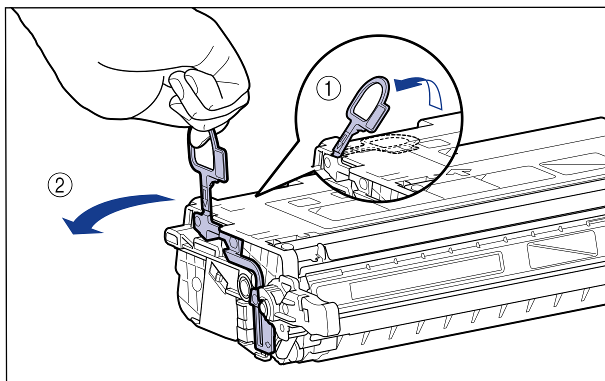
6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

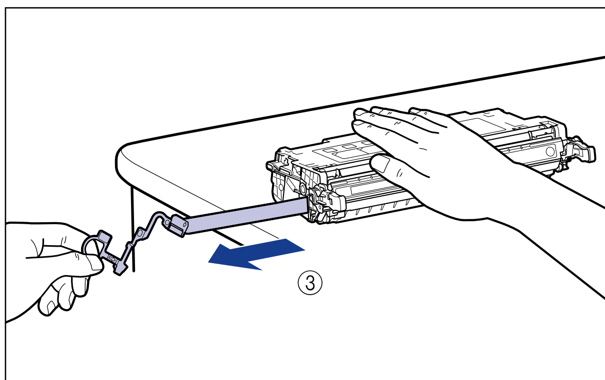


重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

7 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながら、図のようにタブを取り外し①②、シーリングテープ（約48cm）をゆっくりと引き抜きます③。

シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



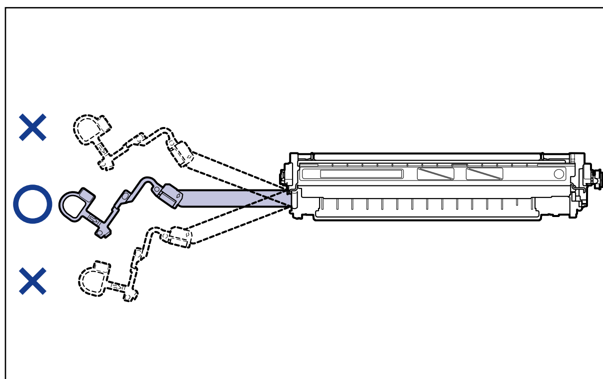




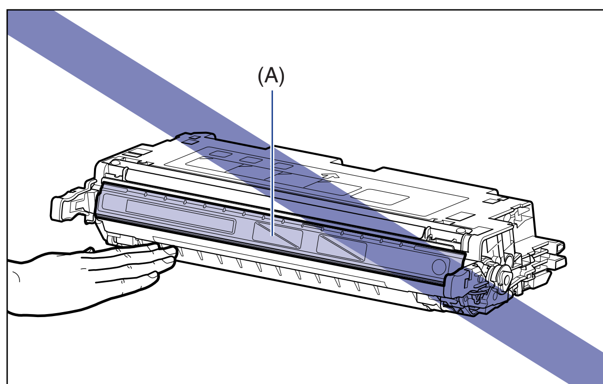
注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

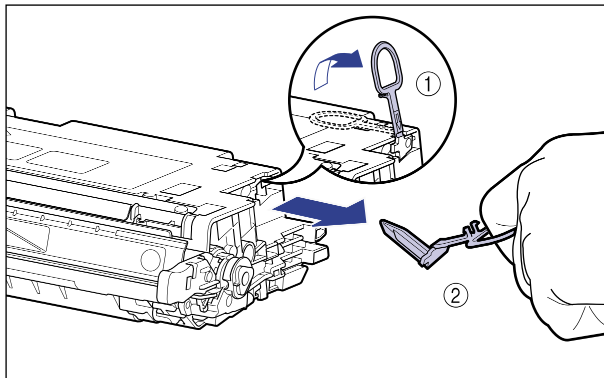
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



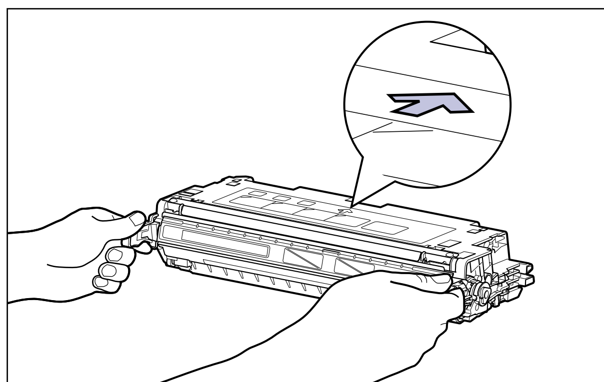
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッター（A）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



8 図のようにタブに指をかけ、梱包材を取り外します。

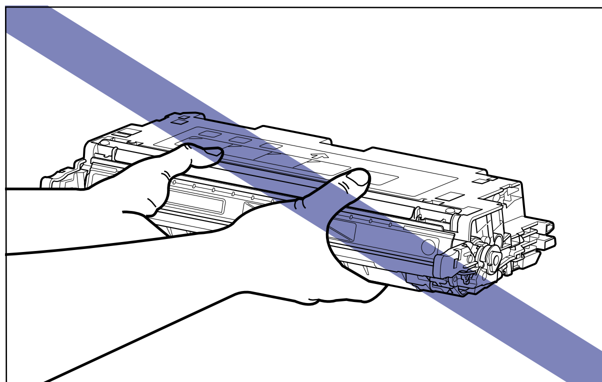


9 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。



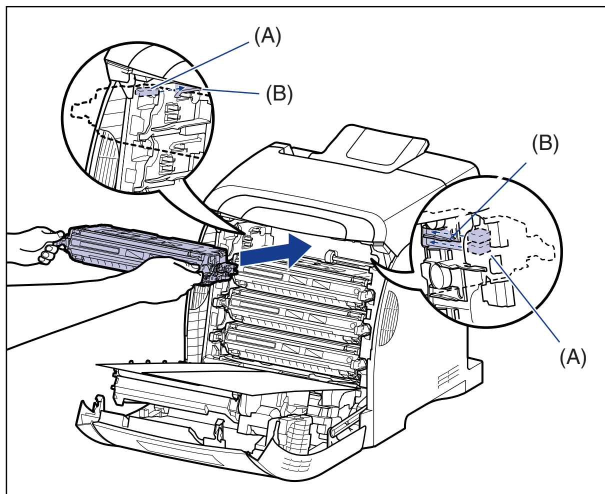


指示された以外の持ち方をしないでください。



10 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

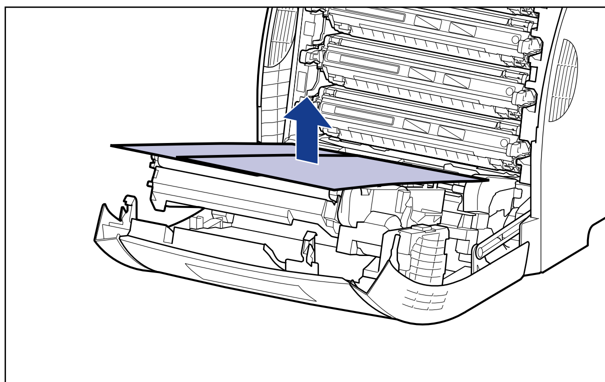
交換する色のトナーカートリッジの（A）を同じ色のラベルが貼られているスロット（B）に合わせて止まるまで差し込みます。





トナーカートリッジはしっかりと奥まで押し込んで取り付けてください。トナーカートリッジが確実に取り付けられていないと印字品質が低下します。

11 用紙を取り除きます。





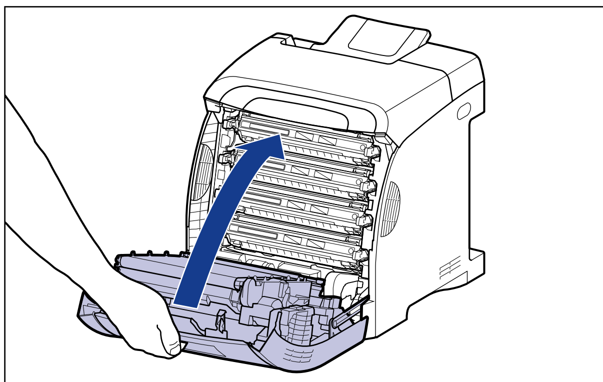
用紙を取り除くときに、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたり、傷をつけないように気を付けてください。

4

日常のメンテナンス

12 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



 前カバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。



- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

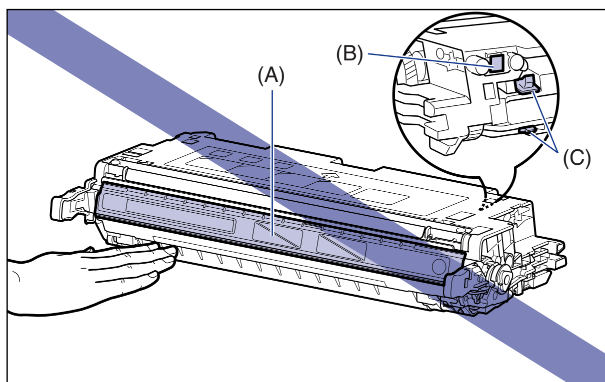
トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

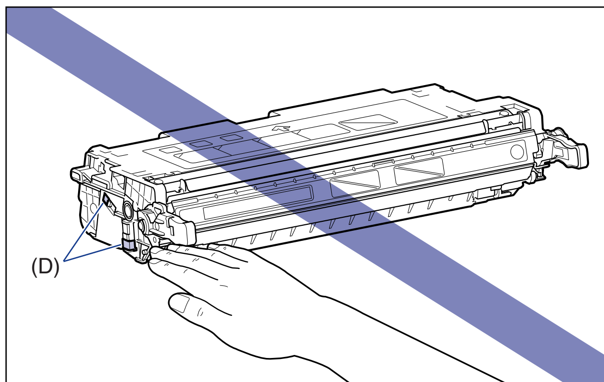
注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

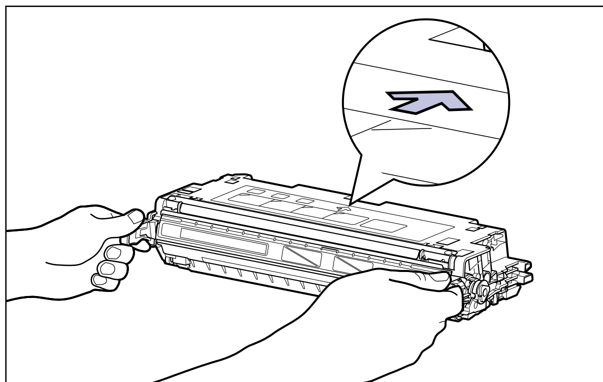
- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- トナーカートリッジを交換するときは、必ず同じ色のトナーカートリッジに交換してください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッター（A）を開けないでください。また、トナーカートリッジメモリ（B）に衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。センサー（C）など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

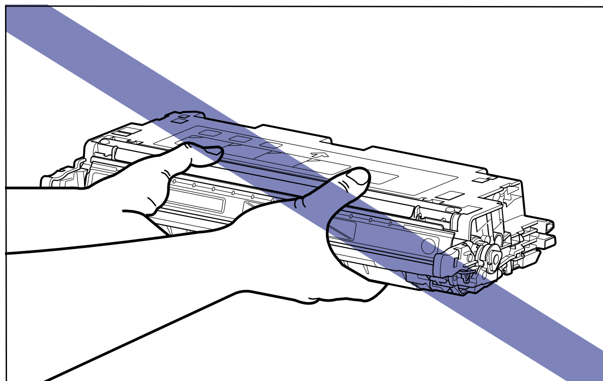


- 電気接点部（D）など指定された以外の部分は、持ったり、触れたり しないでください。故障の原因になることがあります。



- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。





- 絶対に分解や改造などをしないでください。

- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 立てたり、裏返したりしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

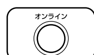
■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

重要
- A4 ／レターサイズの用紙以外に、クリーニング用紙を印刷することはできません。A4 ／レターサイズの用紙をご用意ください。
- クリーニング用紙を印刷するには、手差しトレイに A4 ／レターサイズの用紙をセットしてください。



1 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



2 **［ユーティリティ］を押します。**

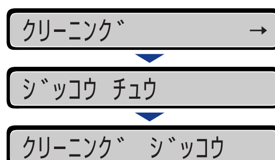




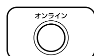




3 **［◀］、［▶］で「クリーニング」を選択し、［OK］を押します。**



ディスプレイに「クリーニング　ジッコウ」と表示され、クリーニング用紙の印刷待ちになります。



4 **手差しトレイに A4 ／レターサイズの白紙用紙（普通紙）をセットし、［オンライン］を押します。**



用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。



用紙は排紙トレイに完全に排紙されるまで触れないでください。用紙は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。



- クリーニングの実行には、約 25 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

印字位置を調整する

特定の給紙元からの印字位置がずれている場合に操作パネルから印字位置を調整することができます。

重要 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ 両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや「とじ方向」の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

印字位置の確認

印字位置プリントを印刷し、調整する方向と位置を確認します。

重要 両面印刷の印字位置を調整する場合は、あらかじめ「両面印刷」（→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）を「スル」に設定しておきます。



1 ［給紙選択］を押します。

キュウシ センタク

▼

キュウシモート゛ →







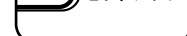
2 ［◀］、［▶］で「キュウシモード」を選択し、［OK］を押します。

キュウシモート゛ →

▼

=シ゛ト゛ウ →







3 ［◀］、［▶］で印字位置を確認したい給紙元を選択し、［OK］を押します。

両面印刷の印字位置を調整する場合は任意の給紙元を選択します。

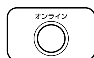
カセット1 →

▼

=カセット1 →

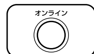
▼

キュウシモート゛ →



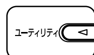
4 ［オンライン］を押します。





5 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



6 ［ユーティリティ］を押します。

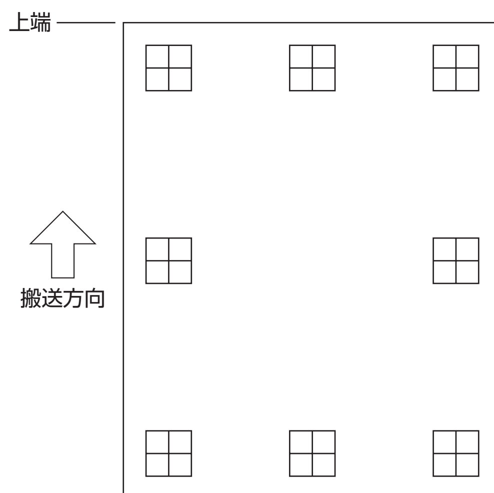




7 ［◀］、［▶］で「インジイチプリント」を選択し、［OK］を押します。



以下のような印字位置プリントが印刷されます。排紙された用紙の先端が、印字位置プリントの上端になります。

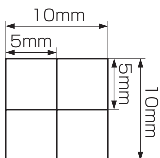


次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（→次項目）で、調整する方向と位置を設定します。

印字位置の調整

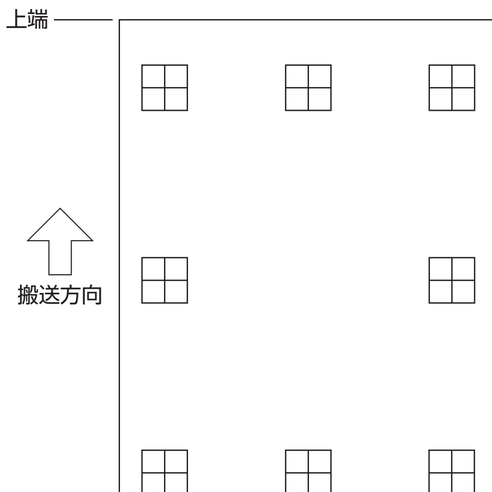
印字位置プリントの印刷結果を見て、調整する方向と位置を設定します。

印刷された用紙に印字された"田"は以下の数値で形成されています。



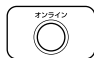
ここでは例として、給紙元をカセット 1 に選択し、以下の印字位置プリントが印刷された場合の設定を行います。

この場合、上方向に -5.0mm の印字位置の調整を行います。



重要 「タテイチホセイ（リョウメン)」、「ヨコイチホセイ（リョウメン)」は、両面印刷時の 1 ページ目の印字位置を設定します。両面印刷時の 2 ページ目はそれぞれの給紙元の設定にしたがいます。

メモ 印字位置が調整できる範囲は、縦方向が-5.0 ～ +5.0mm、横方向が -2.22 ～+2.22mm です。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

4 日常のメンテナンス

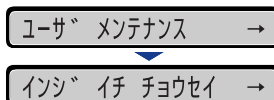


2 [セットアップ] を押します。

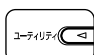




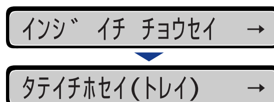
3 [◀]、[▶] で「ユーザ　メンテナンス」を選択し、[OK] を押します。



ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



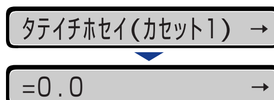
4 [◀]、[▶] で「インジ　イチ　チョウセイ」を選択し、[OK] を押します。



印字調整の設定項目が表示されます。



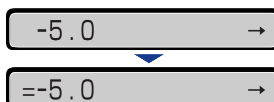
5 [◀]、[▶] で印字位置を調整する給紙元と方向を選択し、[OK] を押します。



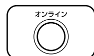


6 [◀]、[▶] で目的の数値を設定し、[OK] を押します。

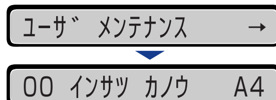
印字位置プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。

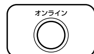


設定値の左に「=」が表示され、印字位置が設定されます。



7 [オンライン] を押します。





8 [オンライン] を押して、オンライン状態にします。

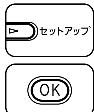


9 [ユーティリティ] を押します。





10 [◀]、[▶] で「インジイチプリント」を選択し、[OK] を押します。





設定変更された印字位置が印刷されます。印刷結果を見て、印字位置の確認をします。さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 〜 10 を繰り返します。

プリンタの外部を清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

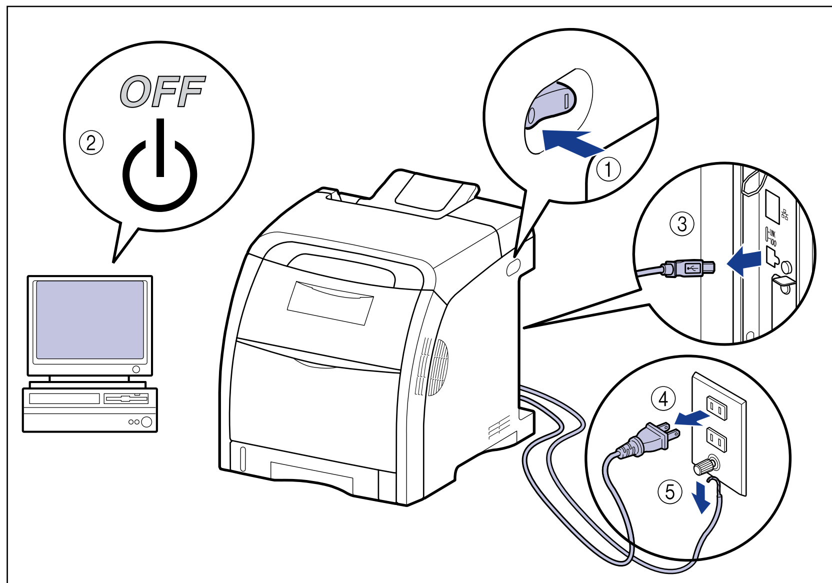
警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 次の操作を行います。

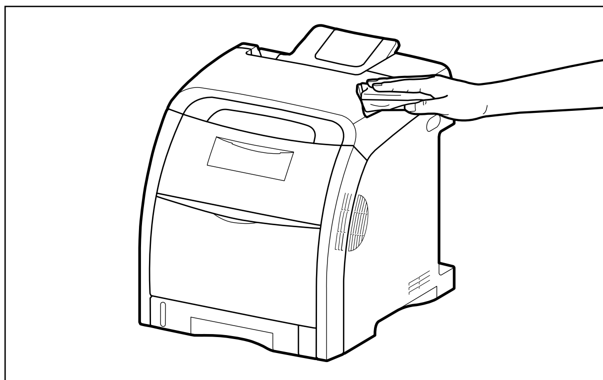
プリンタの電源をオフにします ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。



2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の手順にしたがって移動させてください。

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

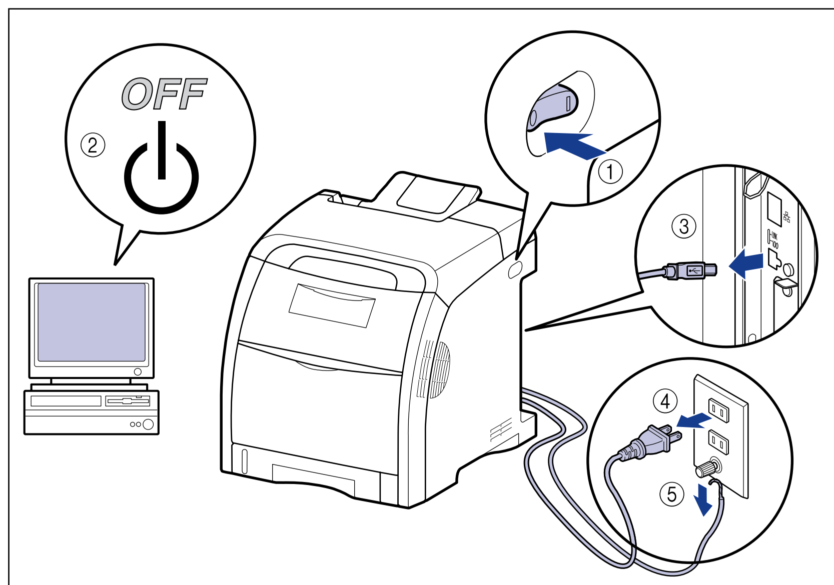
重要 必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

メモ 設置場所については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

1 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

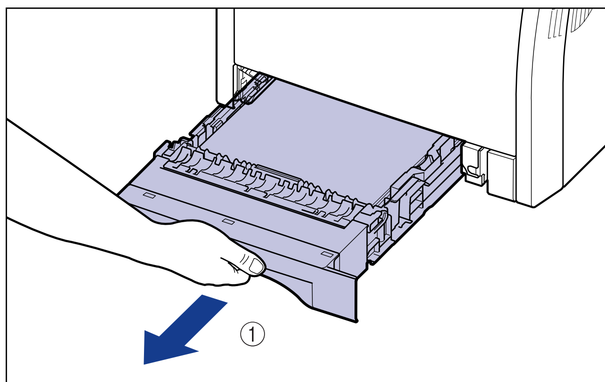


警告　プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

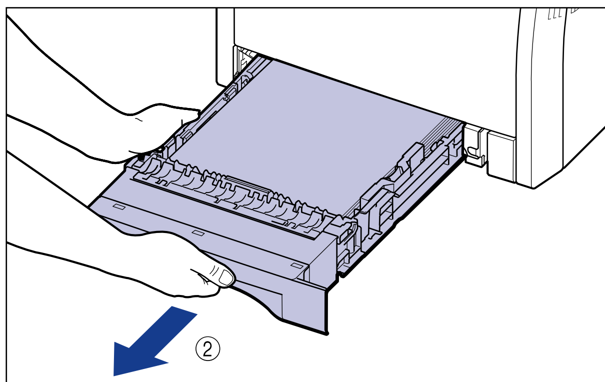
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。

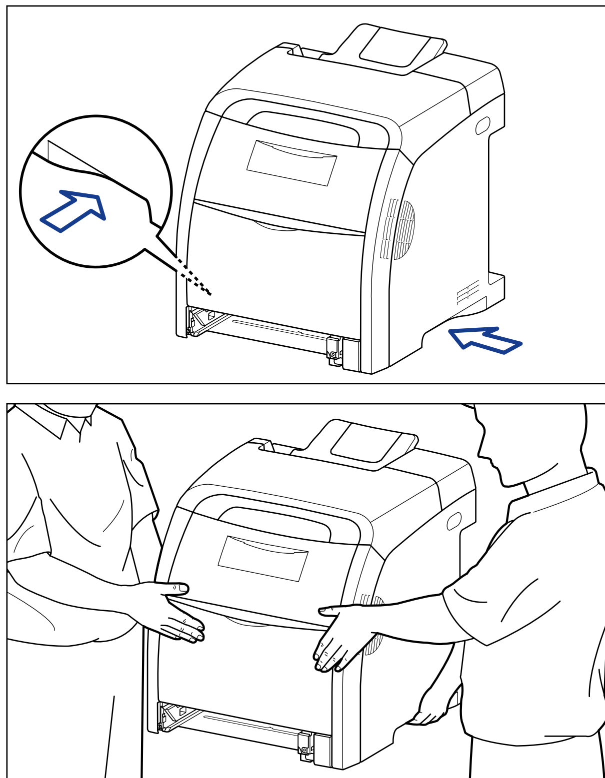


図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します ②。



4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。



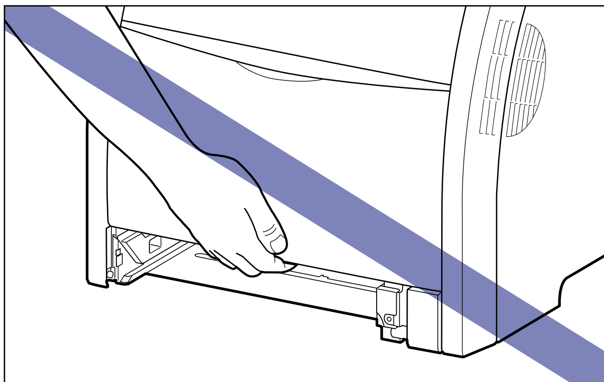


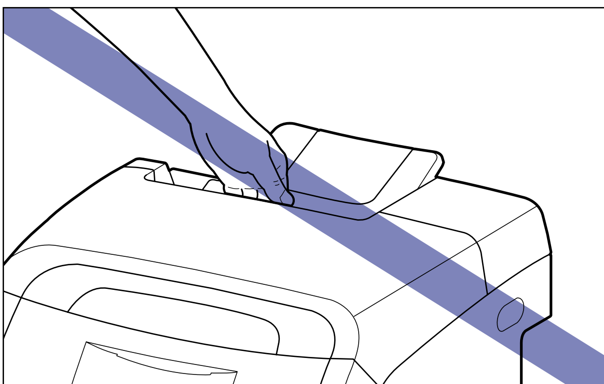
• 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 25.8kg あります。必ず 2 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

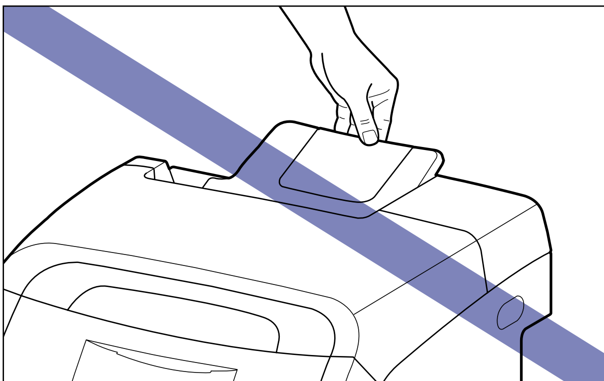
4

日常のメンテナンス

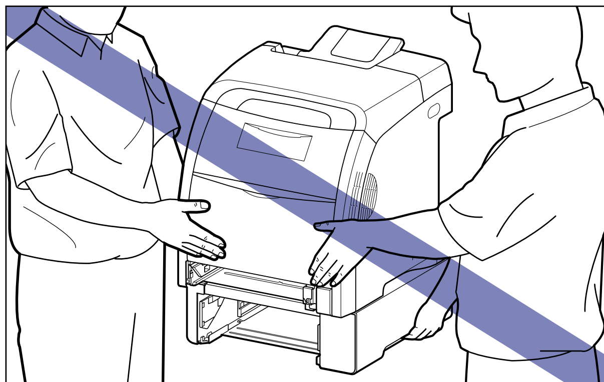
• 絶対に本体前面や排紙部など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落として
けがの原因になることがあります。







- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。





オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」を参照してください。

5 移動場所にゆっくりとおろします。



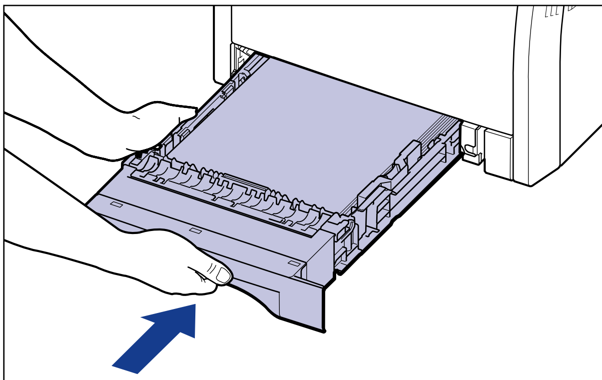
プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

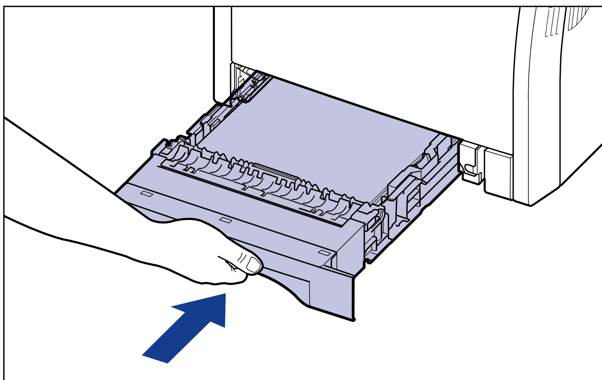


設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

6 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。





⚠注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

7 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 USB ケーブルを接続します。

> **●プリンタを輸送するときは**
>
> 移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
>
> 本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

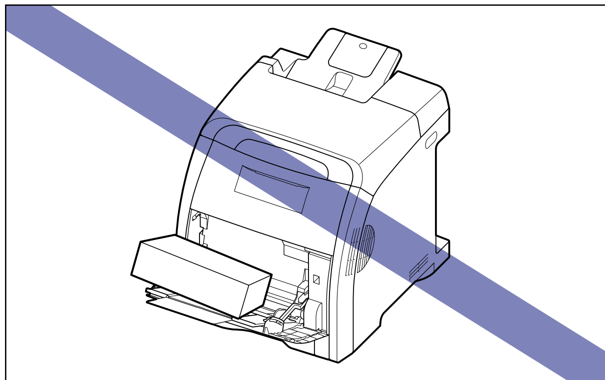
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

注意 万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

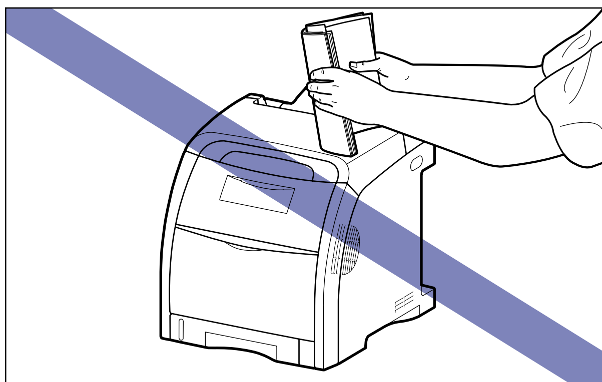
重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」(→P.xii)もお読みください。
- 前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイが閉まっていることを確認してから前カバーを開けてください。手差しトレイを開けたまま前カバーを開けると、プリンタが破損する原因になります。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。



- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。

- 印刷中に振動を与えないでください。印刷の品質が低下することがあります。



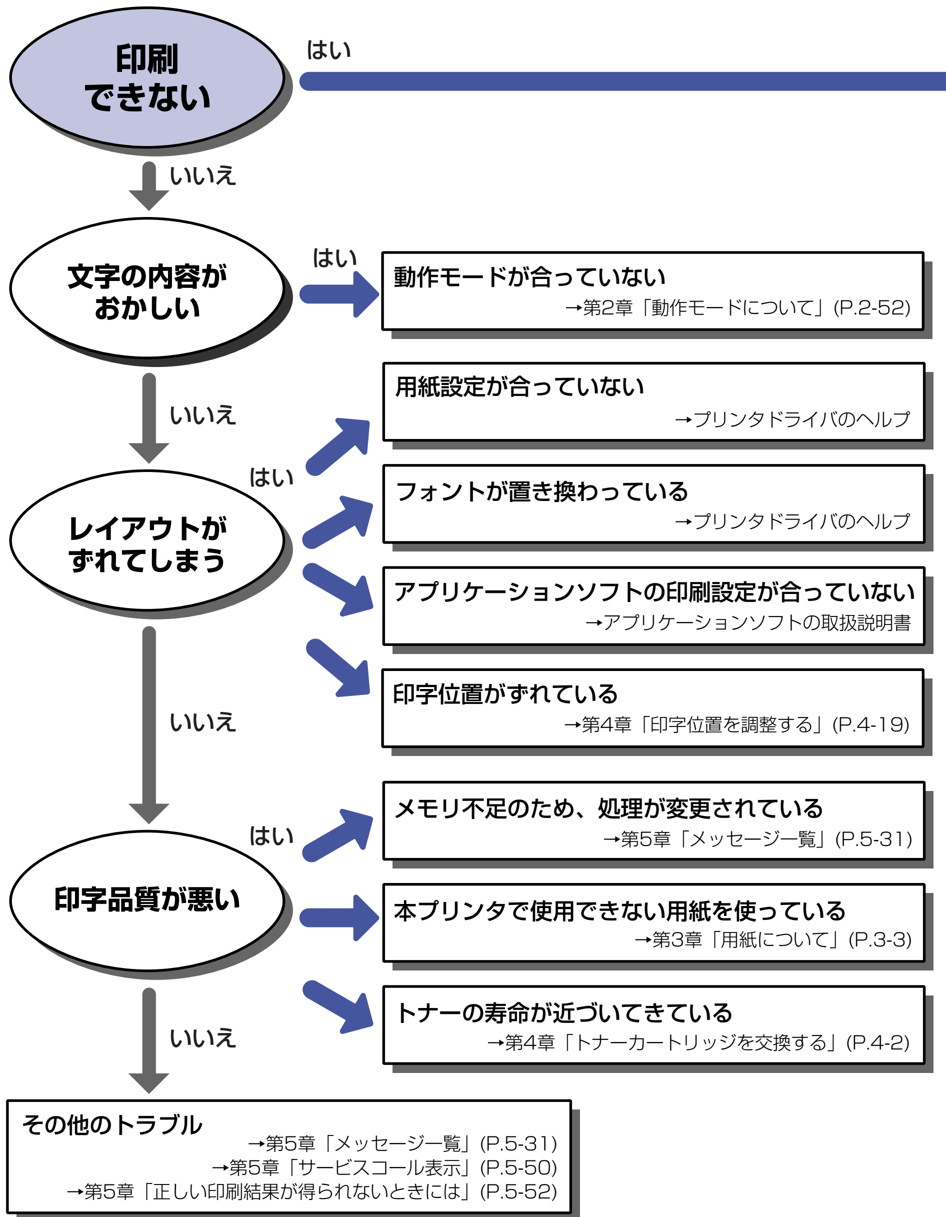
- 印刷中は、 絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 各カバーは、 ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、 電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、 使用・保管しないでください。

困ったときには

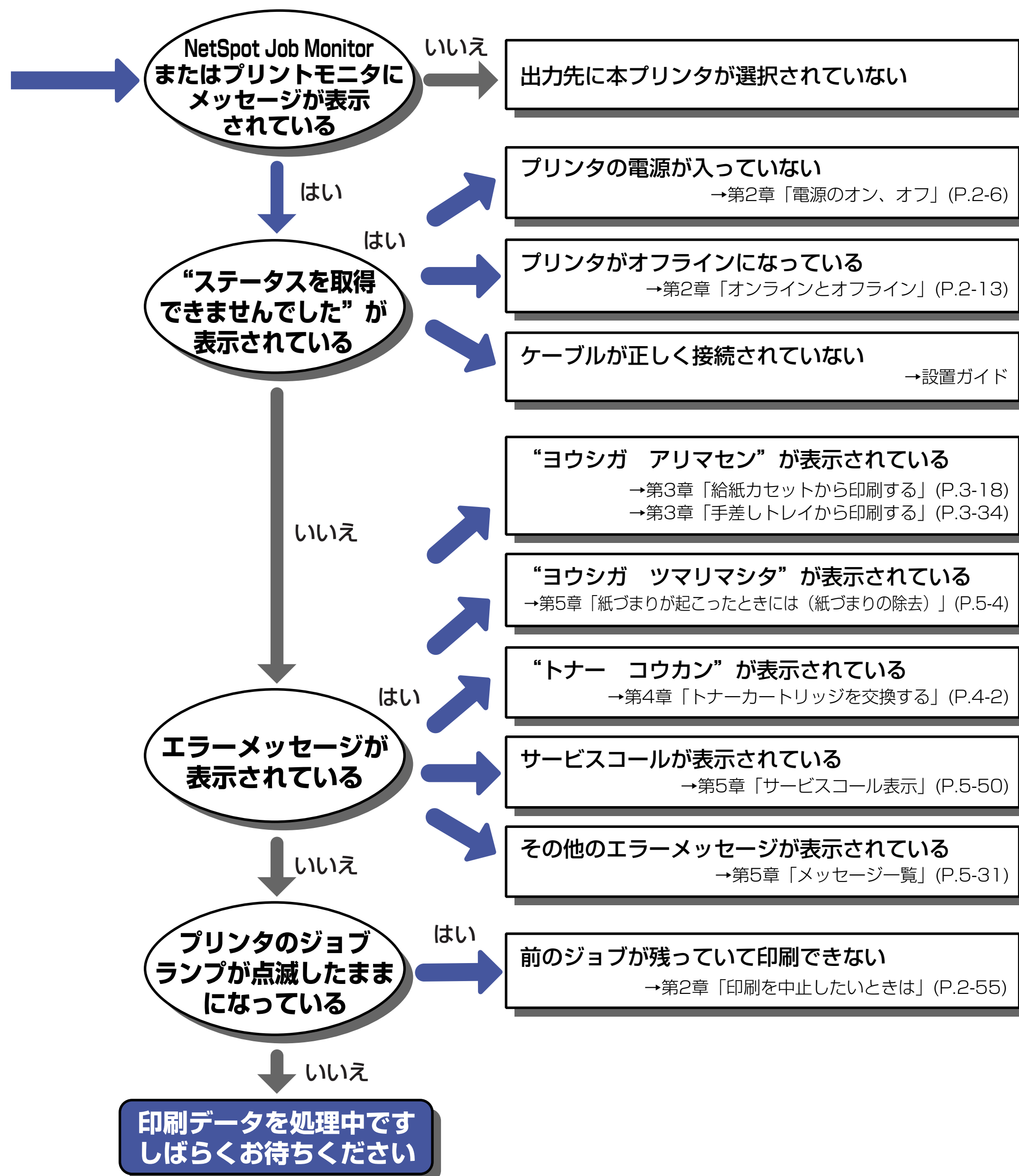
5
CHAPTER

この章では、紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ



印刷できない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→第2章「動作モードについて」(P.2-52)
いいえ
用紙設定が合っていない
→プリンタドライバのヘルプ
はい
レイアウトがずれてしまう
フォントが置き換わっている
→プリンタドライバのヘルプ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
印字位置がずれている
→第4章「印字位置を調整する」(P.4-19)
いいえ
はい
印字品質が悪い
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-31)
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第3章「用紙について」(P.3-3)
トナーの寿命が近づいてきている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-2)
いいえ
その他のトラブル
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-31)
→第5章「サービスコール表示」(P.5-50)
→第5章「正しい印刷結果が得られないときには」(P.5-52)

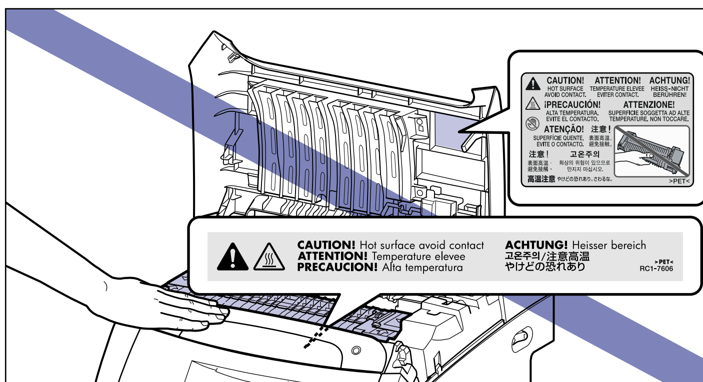

NetSpot Job Monitor
またはプリントモニタに
メッセージが表示
されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
はい
プリンタの電源が入っていない
→第2章「電源のオン、オフ」(P.2-6)
はい
“ステータスを取得
できませんでした”が
表示されている
プリンタがオフラインになっている
→第2章「オンラインとオフライン」(P.2-13)
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→第3章「給紙カセットから印刷する」(P.3-18)
→第3章「手差しトレイから印刷する」(P.3-34)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→第5章「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.5-4)
“トナー　コウカン”が表示されている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-2)
はい
エラーメッセージが
表示されている
サービスコールが表示されている
→第5章「サービスコール表示」(P.5-50)
その他のエラーメッセージが表示されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-31)
いいえ
プリンタのジョブ
ランプが点滅したまま
になっている
はい
前のジョブが残っていて印刷できない
→第2章「印刷を中止したいときは」(P.2-55)
いいえ
印刷データを処理中です
しばらくお待ちください

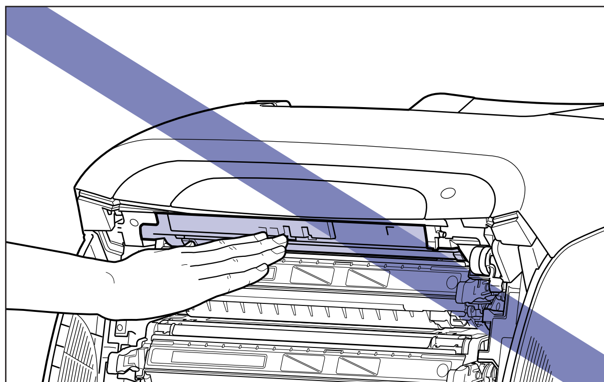
紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



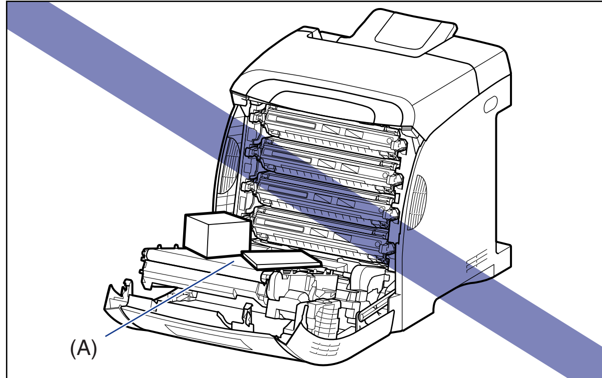


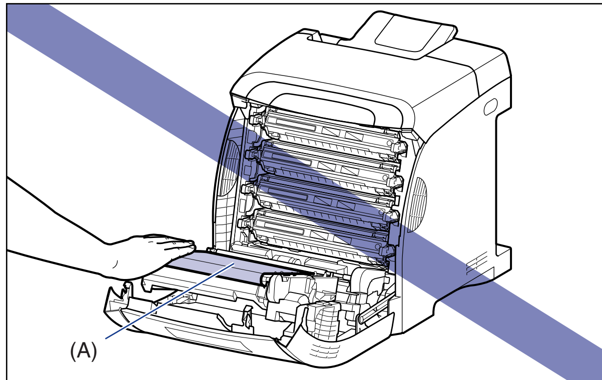
- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、印刷中のデータが消去されてしまいます。ただし、定着器を取り外して紙づまりの処理を行う場合は、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

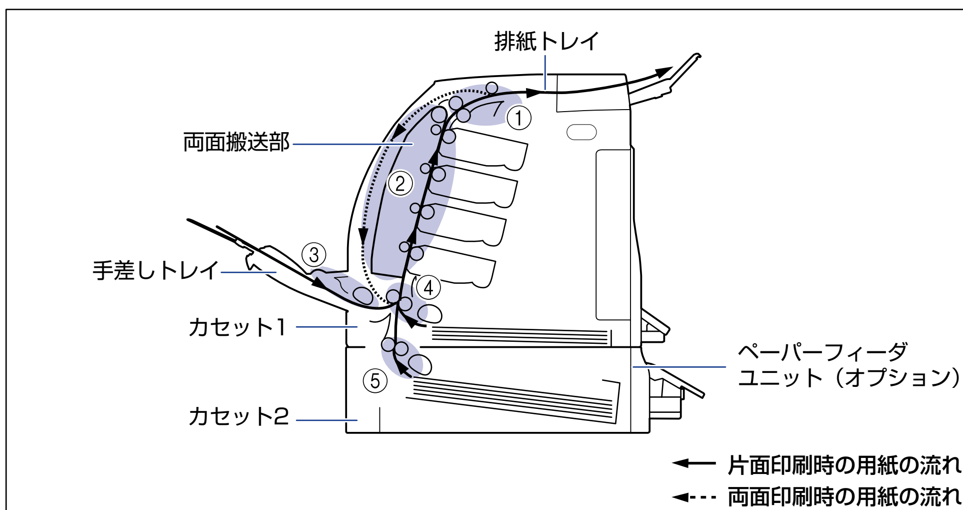
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルト（A）に触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。





紙づまりの位置

ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しております。



紙づまり位置		ディスプレイメッセージ
①	上カバー内部、排紙トレイ	ウエカバー　エリア
②	前カバー内部、両面搬送部	マエカバー　エリア
③	手差しトレイ	テザシトレイ　エリア
④	カセット 1	カセット1　エリア
⑤	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 2　エリア

紙づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。



前カバーまたは上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーまたは上カバーを一度開閉してください。

1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

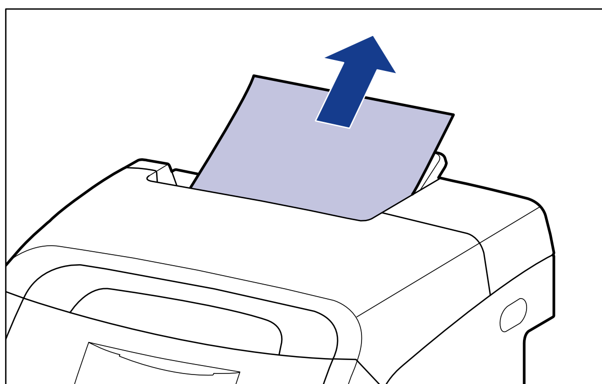
メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ



マエカハ゛ー エリア

2 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。



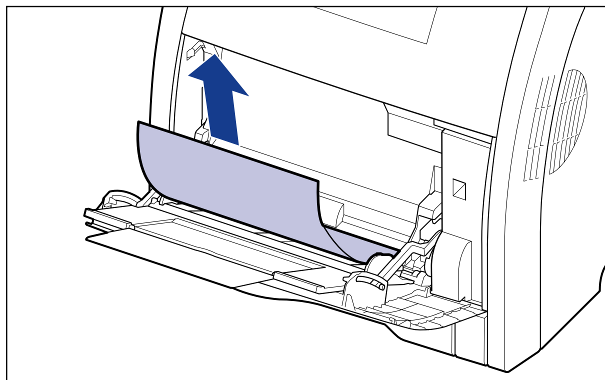


つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。



取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次に印刷する用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

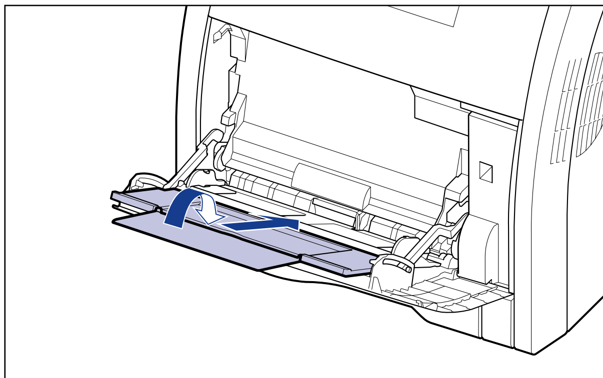
3 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。

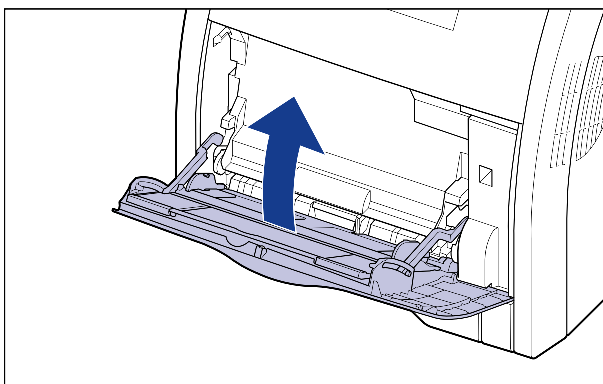




つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

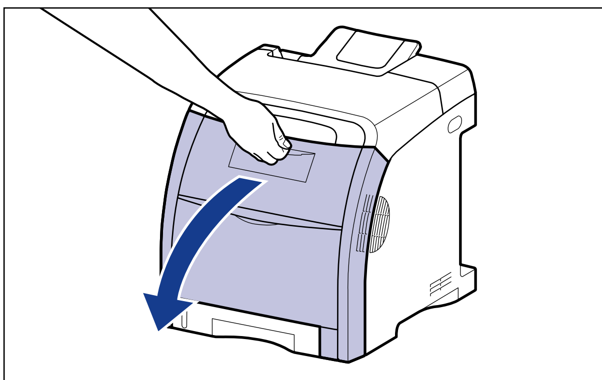
4 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。





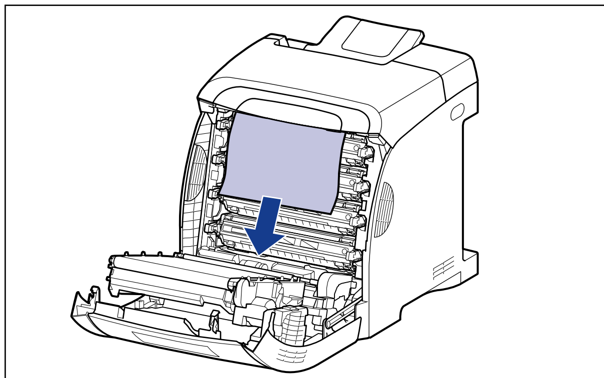
5 前カバーを開けます。

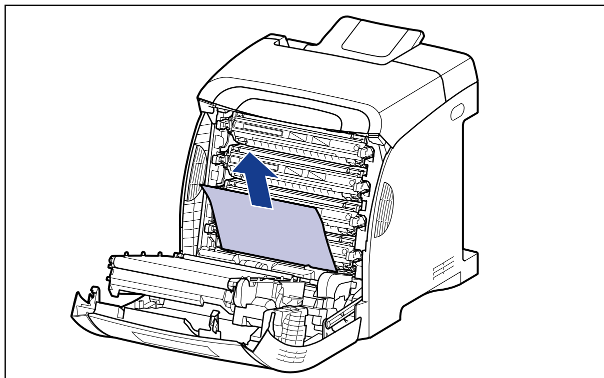
前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

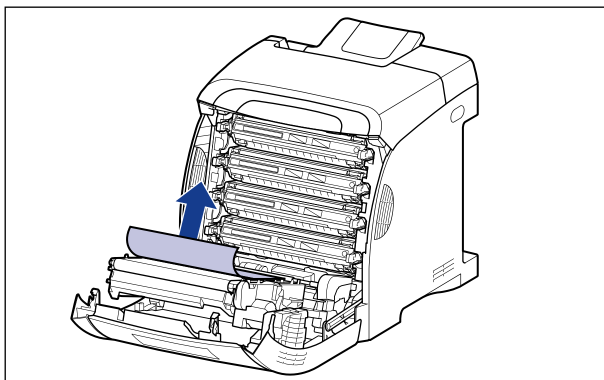


6 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。また、ETB ユニットの搬送ベルトやトナーカートリッジに触れないように、気を付けて用紙を取り除いてください。







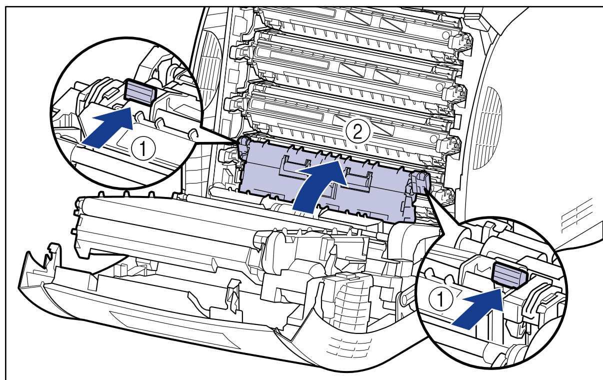

重要

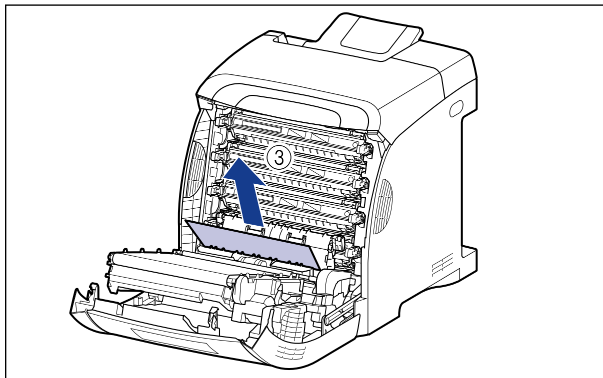
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

7 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。

両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。

❑ 両面搬送ガイドのロック解除ボタンを押して ①、両面搬送ガイドを上げながら ②、つまっている用紙を取り除きます ③。







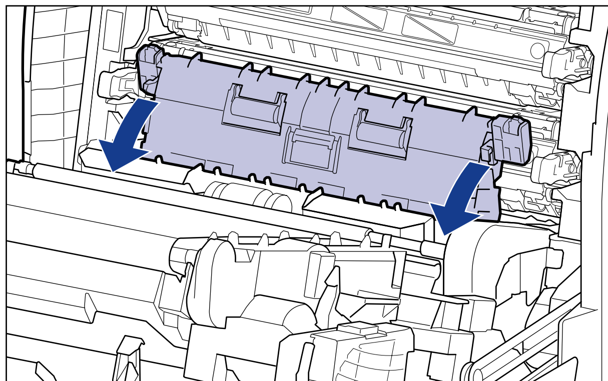
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

5

困ったときには

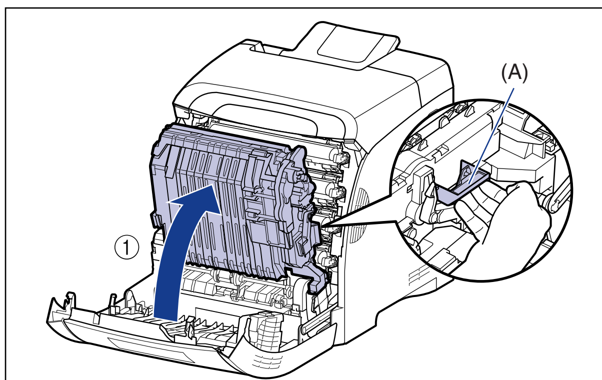
❑ 両面搬送ガイドを閉めます。

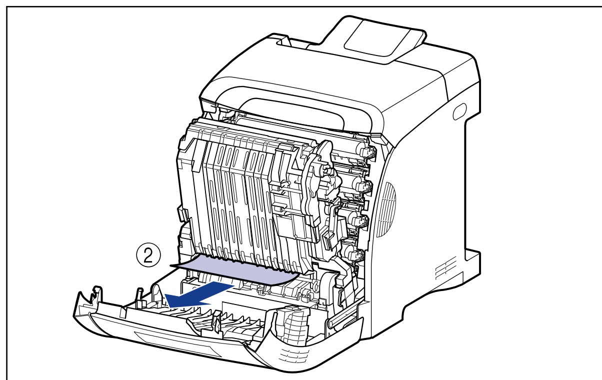
両面搬送ガイドは左右をしっかり閉めます。



重要 必ず両面搬送ガイドが完全に閉まっているかどうかを確認してください。両面搬送ガイドが完全に閉まっていないと、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

❑ 図のように両面ユニットの取っ手（A）を右手で持ち上げながら ①、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます ②。

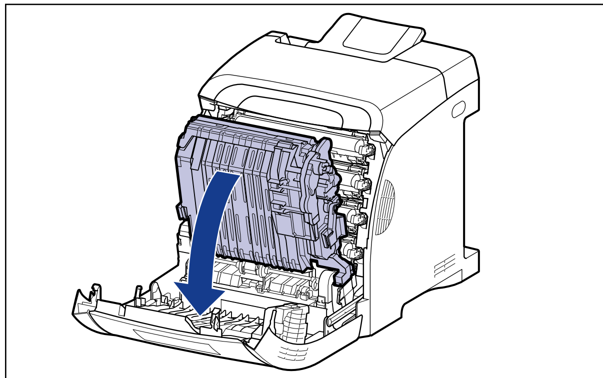






両面ユニットが外れてしまった場合は、「両面ユニットが正しくセットされていないときには」（→P.5-25）を参照してください。

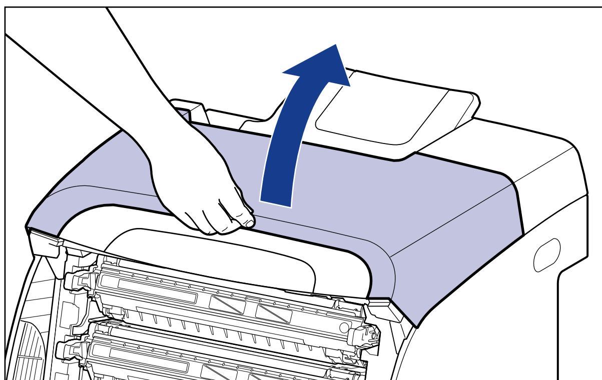
❑ 両面ユニットを元の位置に戻します。



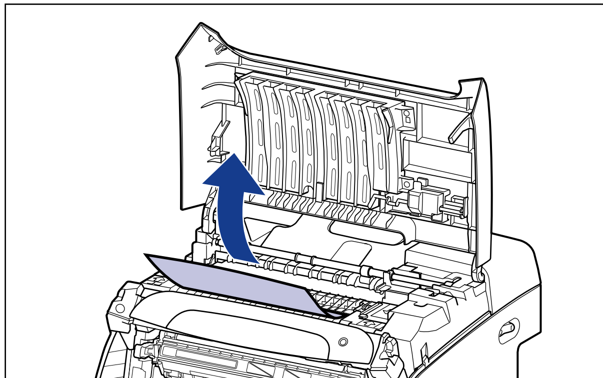
5

困ったときには

8 上カバーを開けます。



9 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

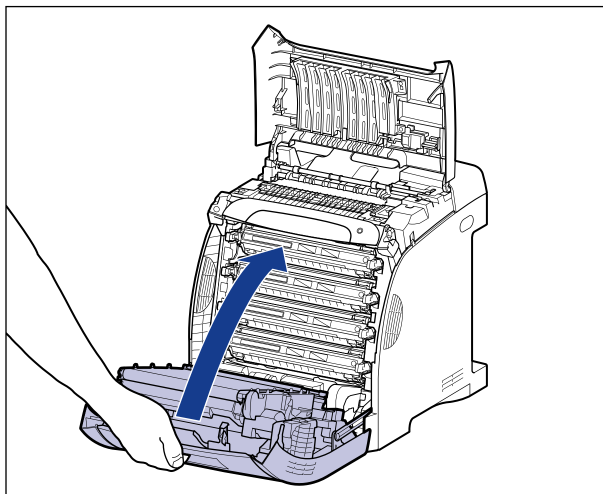




つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

10 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



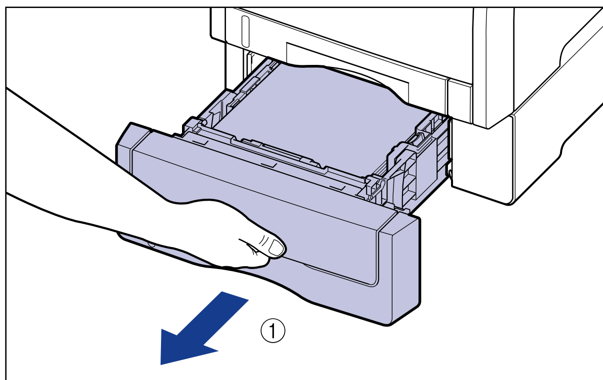


前カバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。

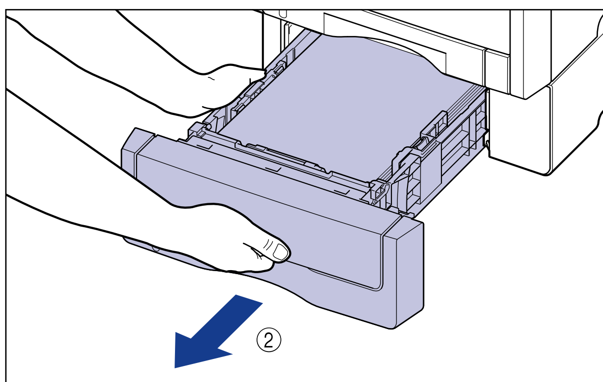
11 以降の作業は上カバーを開けた状態で行います。上カバーが閉まらないように気をつけて作業を行ってください。

12 オプションのペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。



図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します ②。

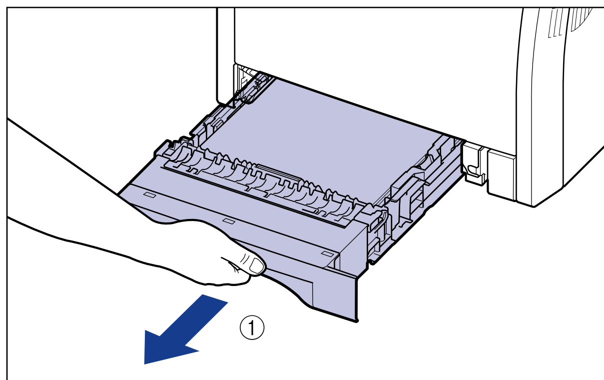


5

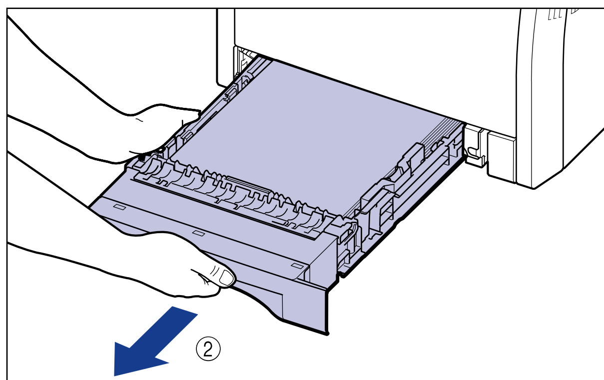
困ったときには

13 プリンタの給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します ①。

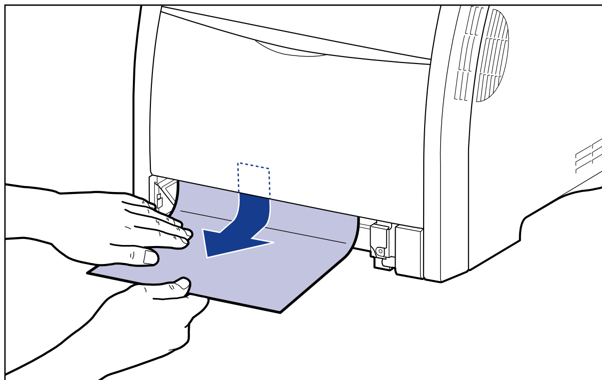


図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します ②。

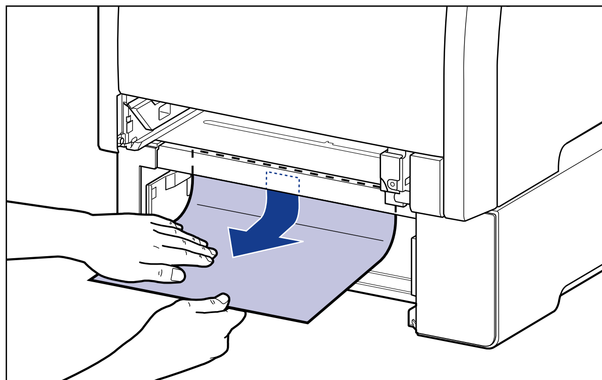


14 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ本体の場合



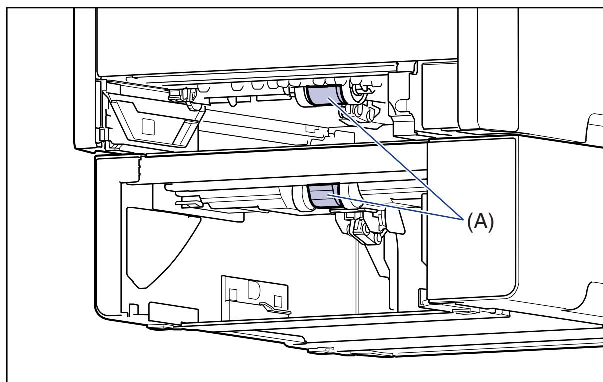
ペーパーフィーダの場合





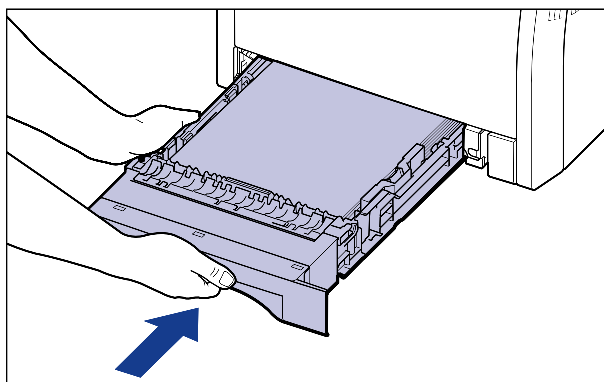
- つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに前カバーを開けて、手順6を参照してつまっている用紙を取り除いてください。無理に引っぱると給紙ローラが外れることがあります。

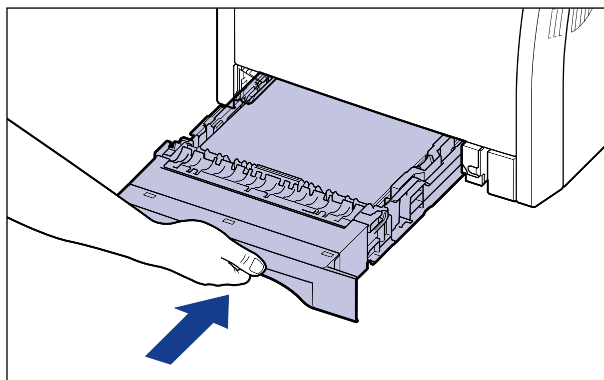
- プリンタとペーパーフィーダの給紙ローラ（A）には、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。



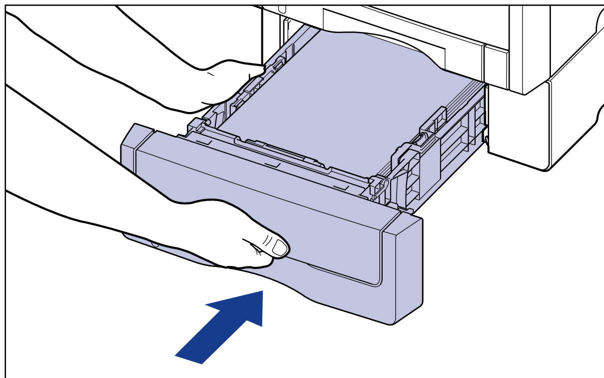
15 給紙カセットをプリンタにセットします。

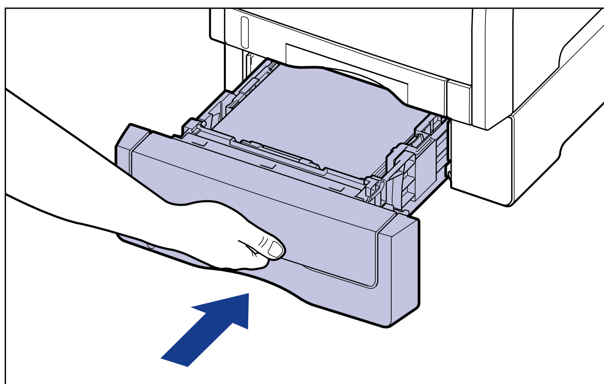
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。





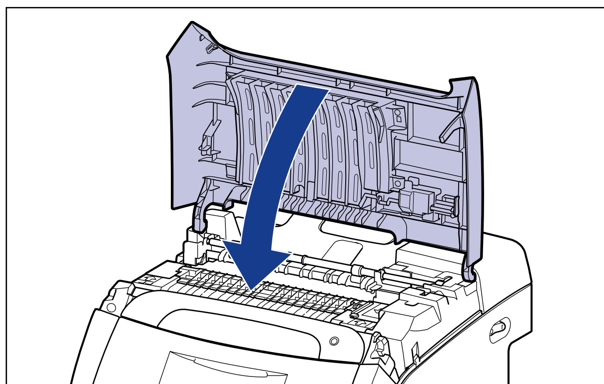
ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。





⚠注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

16 上カバーを閉めます。

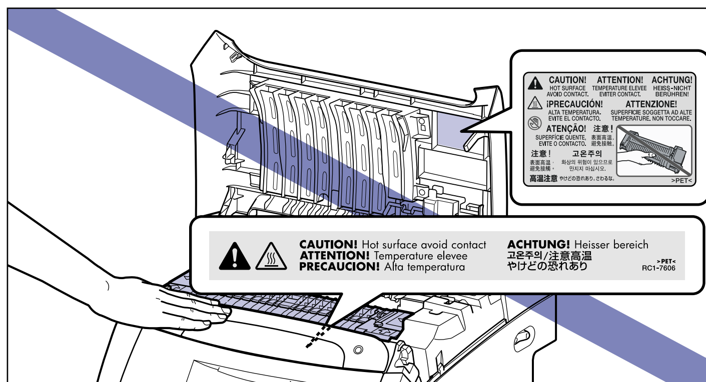


上カバーを閉めても、ディスプレイに上カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器に用紙が残っている可能性があります。「紙づまりのメッセージが消えないときは」（→P.5-21）の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除いてください。また、給紙カセットがしっかりと奥まで押し込まれているかも確認してください。

紙づまりのメッセージが消えないときは

紙づまりの処理を行っても、ディスプレイに上カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが表示されているときは、定着器に用紙が残っていることを表わしています。次の手順で定着器を取り外し、つまっている用紙を取り除いてください。

⚠注意 プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

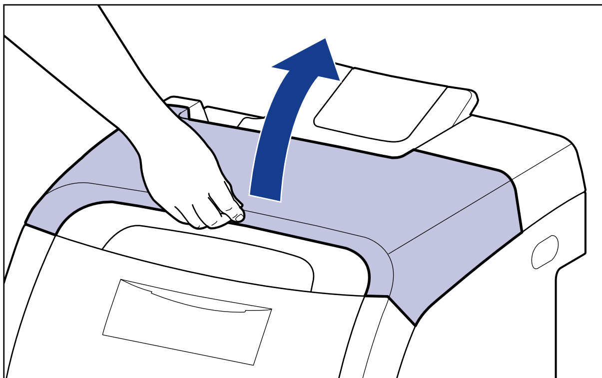


重要 定着器を取り外す場合は、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。つまっている用紙を取り除いたあとに、再度印刷しなおしてください。

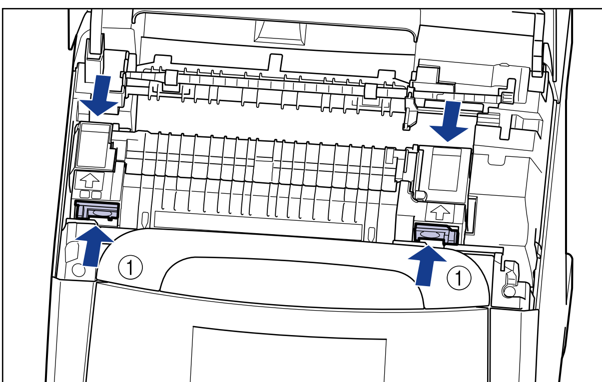
---

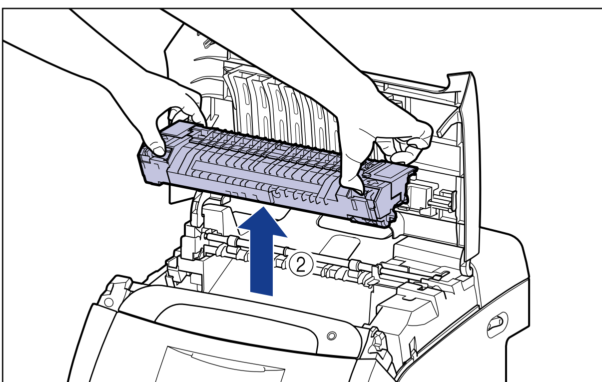
1 **プリンタの電源をオフにします。**

2 上カバーを開けます。



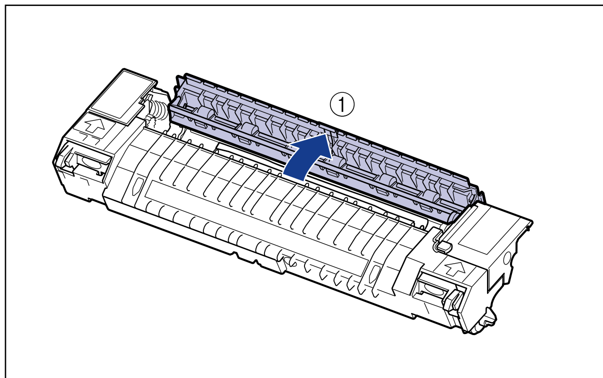
3 図のように矢印の部分をつまんで ①、定着器をゆっくりと取り外します ②。

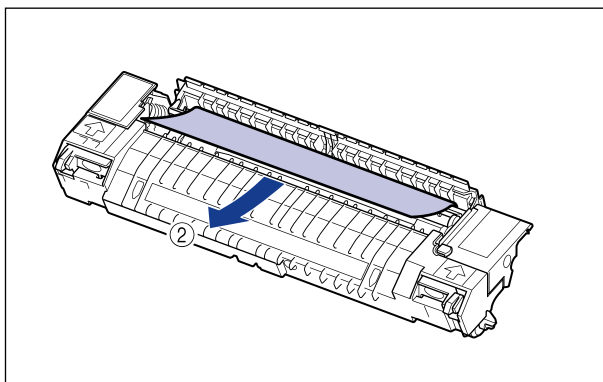




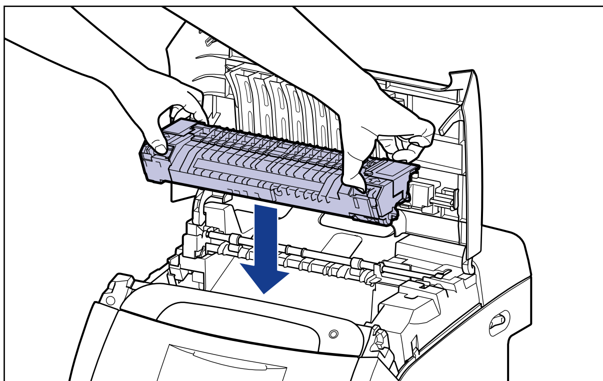
4 図のように定着器のカバーを開けて ①、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます ②。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。

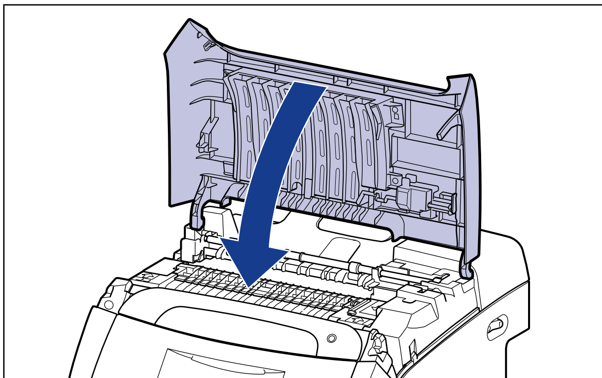




5 定着器を取り付けます。



6 上カバーを閉めます。



7 電源をオンにします。

両面ユニットが正しくセットされていないときには

本プリンタに標準の両面ユニットが正しく取り付けられていない場合は、ディスプレイに「OF　オプション　カクニン」というメッセージが表示されます。

次の手順で両面ユニットを正しく取り付けます。



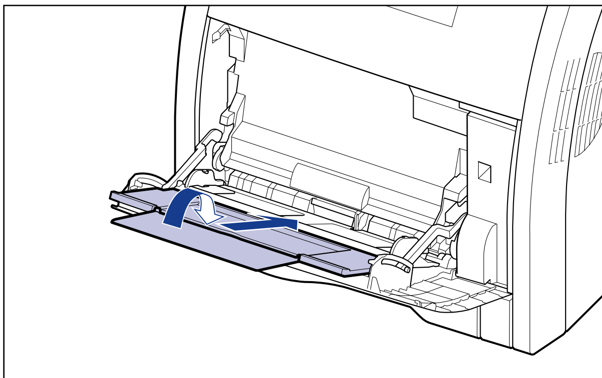
両面ユニットを正しく取り付けるため、一度両面ユニットを取り外します。両面ユニットを取り外す場合は、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。両面ユニットを正しく取り付けたあとに、再度印刷しなおしてください。

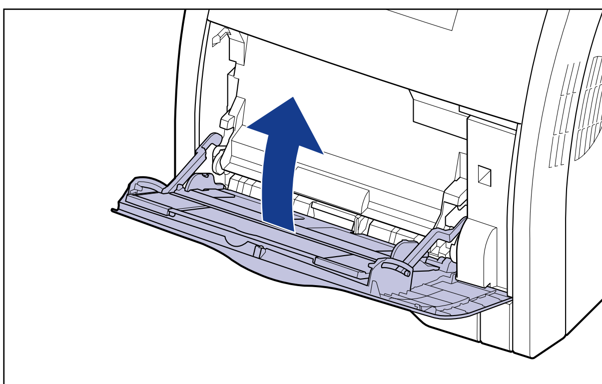
1 **プリンタの電源をオフにします。**

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

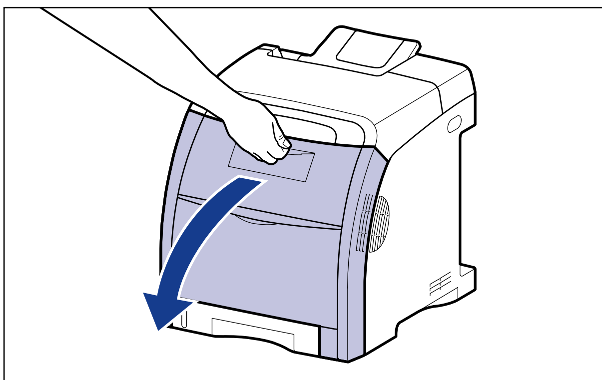
2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。





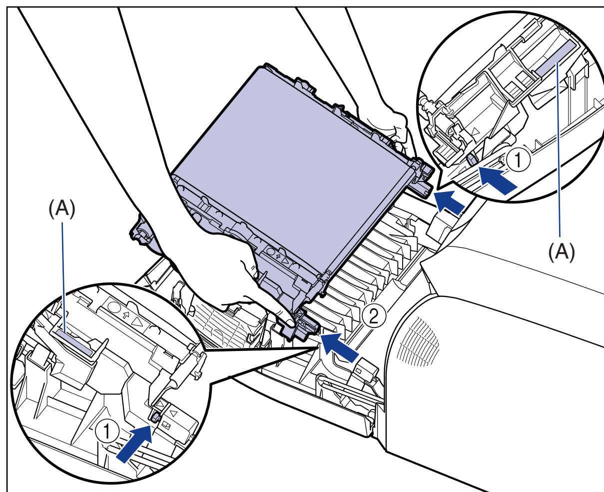
3 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。



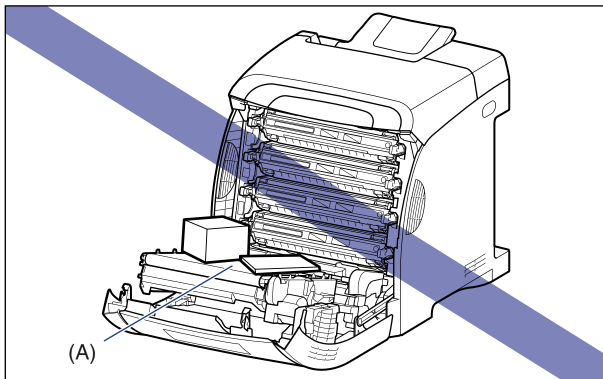
4 両面ユニットをゆっくりと取り外します。

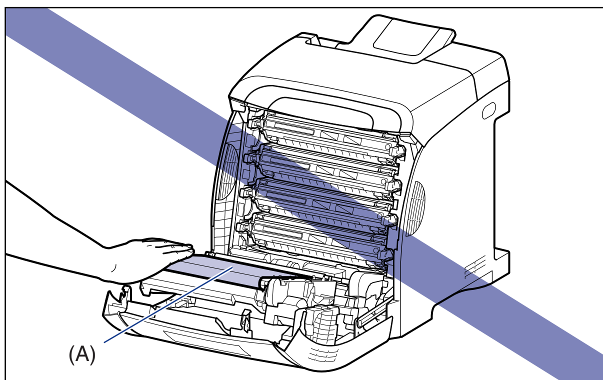
図のように両面ユニットの両端にあるレバーを押して ①、取っ手（A）を持ってゆっくりと取り外します ②。



重要

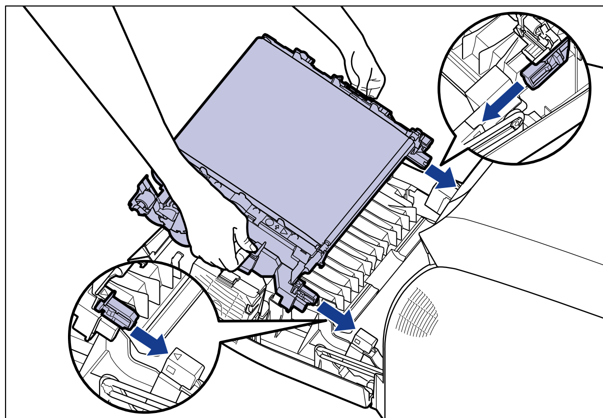
ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルト（A）に触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。



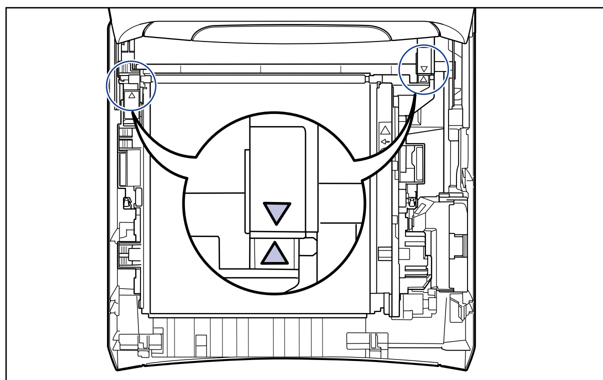


5 両面ユニットを取り付けます。

図のように両面ユニットの突起をプリンタに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと取り付けます。

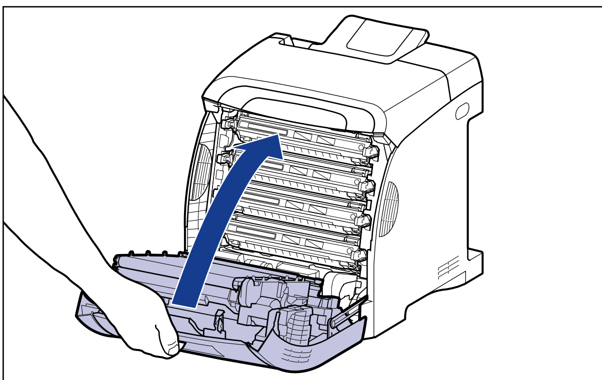


図のようにプリンタの三角マークと両面ユニットの三角マークが合っていることを確認します。



6 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



⚠注意　前カバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由で印刷が不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。また、印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ

- 複数の警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラー状態と警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- （警告メッセージ）の付いているメッセージは、メッセージが表示されている場合（警告状態が発生している場合）でも、プリンタは停止しません。
- ＜自動エラースキップ可＞のマークが付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続できますが、印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、［オンライン］を押して再度印刷しなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

E nnn-nnnn（n は数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置　「サービスコール表示」（➞P.5-50）の指示にしたがって、処置してください。

02　レイキャクチュウ

原因 1　連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた

処　置　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。

原因 2　幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷した場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている

処　置　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。印刷中に表示された場合は、冷却が終わると印刷を再開します。印刷終了後に表示された場合は、定着器の冷却が終わると、表示が消えて機械の駆動が止まり、印刷可能状態になります。

0F　オプション　カクニン

原　因　両面ユニットが正しく取り付けられていない

処　置　電源をいったんオフにし、両面ユニットを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（➞ 両面ユニットが正しくセットされていないときには：P.5-25）

11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因　給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置 1　用紙を補給またはセットしてください。

処置 2　［給紙選択］を押して、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。（➞ 給紙元の選択：P.3-14）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　前カバーまたは上カバーが開いている

処　置　前カバーまたは上カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原因 1　内部で紙づまりを起こしている

処　置　紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（➞ 紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

原因 2　給紙カセットがセットされていないため、手差しトレイから印刷できませんでした。

処　置　給紙カセットをセットして、しっかりと奥まで押し込みます。
印刷を再開するには、上カバーを一度開閉してください。

重要

- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- どのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず前カバーまたは上カバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14 X トナーミソウチャク（X は K または Y、M、C）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない

処　置　表示された色のトナーカートリッジをセットしてください。（➡ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

16 X セット　カクニン（X は K または Y、M、C）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しくセットされていない

処　置　表示された色のトナーカートリッジを正しくセットしてください。（➡ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

16 X トナー　ヨウイ（X は K または Y、M、C）　（警告メッセージ）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。（➡ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

16 X トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。（➡ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

18　キュウシ　エラー

原　因　手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている

処置 1　給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。

処置 2　［給紙選択］を押して、指定した用紙サイズ／用紙タイプがセット可能な給紙元を選択し、用紙をセットしてください。

処置 3　セットアップメニューの給紙グループの「デフォルト用紙サイズ」と「デフォルト用紙タイプ」の設定を給紙元にセット可能な用紙に変更してください。

処置 4　［オンライン］を押し、現在選択されている給紙元から印刷します。ただし、印字品質が低下することがあります。

18　カセット 1　ナシ

原　因　カセット 1 がセットされていない

処　置　カセット 1 をセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18）

1F　ハイシトレイ　フル

原　因　排紙トレイが満載になった

処　置　排紙トレイの用紙を取り除いてください。

1G　X　トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

1H　X　セツゾクカクニン（X は K または Y、M、C）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しく取り付けられていない可能性がある

処置 1　表示された色のトナーカートリッジを取り出し、正しくセットしなおしてください。

処置 2　処置 1 を行ってもメッセージが表示され、印字品質に問題がある場合は、トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換することをおすすめします。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

23　ダウンロードメモリフル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置 1　[オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷します。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM を取り付ける。（➞設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

26　システムメモリ　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置 1　[オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM を取り付ける。（➞設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

27　ジョブカイシ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

処置 1　［オンライン］を押し、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは印刷されません。

処置 2　本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。

処置 3　オプションのコントロール ROM を取り付けてエミュレーションを追加します。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

30　メモリ　フル　＜自動エラースキップ可＞

原因 1　システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。

原因 2　（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張 RAM が取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しく印刷されないことがあります。

重要　「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値 * に書き換えられます。（*：RIP Once、ハードディスクは工場出荷時の値に戻ります。（→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した RAM を取り付けて）印刷しなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

処置 3　セットアップメニューのインタフェースグループで「拡張受信バッファ」を「ツカワナイ」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

32　リョウメンインサツ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ 2 ページに分けて印刷します。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面印刷可能な用紙サイズあるいは用紙タイプに変更して、印刷しなおします。

33　ワークメモリ　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　各動作モード専用のワークメモリが確保できない

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

重要　［オンライン］を押して印刷を継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので、気を付けてください。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、印刷しなおします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- LIPS LXプリンタドライバをご使用の場合は、オプションの拡張RAMを取り付ける。ただし、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

35　トウロクテーブル　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた

処　置　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。

37　ヨウシタイプ　カクニン　＜自動エラースキップ可＞

原因 1　使用できない用紙タイプを指定した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。普通紙としてプリントが継続されます。普通紙でない場合は、正しいプリント結果が得られません。

処置 2　「手差しトレイ用紙タイプ」や「カセット N　用紙タイプ（N=1、2)」で適切な用紙タイプに設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　OHP フィルムに印刷する場合に、カラー印刷を行った（OHP フィルムは、モノクロ印刷時のみ使用可能です。）

処　置　カラーモードを「モノクロ」に設定し、モノクロで印刷しなおします。

38　ガシツ　テイカ　＜自動エラースキップ可＞

原　因　データが複雑すぎて処理できない

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、画質を落として印刷します。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ　1」に設定して印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　画質を下げずに印刷したいときは、オプションの拡張 RAM を取り付けて印刷しなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

39　スプールメモリフル　　　　　　　　　　　＜自動エラースキップ可＞

原　因　スプールメモリが不足したため、印刷できない

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、用紙サイズを小さく設定して、印刷しなおします。

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4　セットアップメニューの給紙グループで「両面印刷」が「スル」に設定してある場合は「シナイ」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 5　セットアップメニューの印字調整グループで「中間調選択」の設定を変更して印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 6　オプションの拡張 RAM を取り付けて印刷しなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

41　ヨウシサイズ　カクニン

原因 1　実際に手差しトレイや給紙カセットにセットした用紙サイズと、コンピュータまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」の設定が違っている

処　置　「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した

処　置　横置きにセットして印刷しなおします。

原因 3　LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処　置　縦置きにセットして印刷しなおします。

原因４ セットアップメニューの拡張機能グループの「特殊モードＪ」が「ツカワナイ」に設定されている。

処　置 手差しトレイから印刷する場合は、「特殊モード J」の設定を「ツカウ」に設定することで、「41　ヨウシサイズ　カクニン」が表示されなくなります。
ただし、用紙サイズのチェックを行わないため、手差しトレイにセットした用紙サイズとアプリケーションソフトで指定した用紙サイズが異なる場合は、余白があいたり、画像の一部が欠けたりすることがあります。
また、印刷速度が低下することがあります。

52　イメージモード　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因 イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した

処置１ ［オンライン］を押すと、印刷を継続します。ただし、正しく印刷されないことがあります。

処置２ イメージデータ形式に対応したプリンタドライバで印刷しなおします。

53　セキュアプリント　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原因１ LBP5400用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた

処　置 ［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。

原因２ ハードディスクが使用できない状態のときにセキュアプリントのデータを受信した

処　置 ［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、セットアップメニューの拡張機能グループで「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットし、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因３ セキュアプリントとして保存できるジョブ数を超えた（保存可能なセキュアプリントのジョブ数は、８個までです。）

処　置 ［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、印刷しなおします。

原因４ セキュアプリントとして保存できるジョブの容量を超えた（保存可能な容量は、セキュアプリントジョブ、保存ジョブ、停止中のジョブを合わせて 4GB までです。ただし、ユーザメンテナンスグループの「セキュアプリント形式」を「PDL」に設定している場合は 1.88GB までになります。）

処　置 ［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、停止ジョブを再開したり、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、印刷しなおします。

53　ホゾン　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原因 1　LBP5400用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた

処　置　［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。

原因 2　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

原因 3　保存できるジョブ数を超えた

処置 1　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置 2　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因 4　保存できるジョブの容量を超えた

処置 1　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置 2　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因 5　指定されたボックス番号が正しくない

処　置　正しいボックス番号を指定してください。

原因 6　セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている

処　置　「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

55　ハードディスク　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　ハードディスクにエラーが発生した

処置 1　自動的に再フォーマットされます。

処置 2　［オンライン］を押すと、ハードディスクを使用しない設定で起動します。ただし、ハードディスクを使用する機能では印刷できません。

処置 3　お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

56 ハードディスク　エラー

原　因　ハードディスクにエラーが発生した

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

57 RIP Once エラー　<自動エラースキップ可>

原因 1　ハードディスクの容量が不足して、RIP Once（リップワンス）による複数部数印刷を継続できなくなった

処置 1　複数のジョブに分割して印刷しなおします。

処置 2　セットアップメニューの拡張機能グループで「RIP Once（リップワンス）」を「ツカワナイ」に設定してからハードリセットしてください。（RIP Once（リップワンス）の機能は使えなくなります。）（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　[オンライン] を押すと、1 部のみ印刷されます。

原因 2　[編集＋プレビュー] モードで印刷時に、処理できる印刷部数を超えた

処置 1　すべての印刷ジョブを本プリンタ用のプリンタドライバを使って印刷しなおします。

処置 2　一度に印刷するページ数を減らし、複数回に分けて印刷しなおします。

58 ジョブメモリ　フル　<自動エラースキップ可>

原　因　ジョブを処理するためのハードディスクや RAM の空き容量が不足している

処置 1　一度に複数のジョブを処理していた場合は、[オンライン] を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。

処置 2　ジョブの容量が大きい場合、ジョブを分割して印刷します。

59　ジョブジュシンエラー　　＜自動エラースキップ可＞

原　因　ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した

処置 1　［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。

処置 2　ご使用のネットワークに問題が発生している可能性があります。ご使用のネットワークの状態を確認してください。

60　カギカンリ　エラー 1

原　因　鍵管理関係のファイルが壊れている

処　置　セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモート UI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認してください。その後プリンタを再起動し、リモート UI から鍵と証明書の再生成および SSL の設定を行ってください。鍵管理および SSL の設定を行ったあと、再度プリンタを再起動してください。（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」）

60　デコード　エラー

原　因　暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった

処　置　リセットメニューでソフトリセットしたあと、印刷しなおします。

9E　X トナー　イチカクニン（X は K または Y、M、C）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しい位置にセットされていない

処　置　各色のトナーカートリッジの取り付け位置は、上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順になっています。表示された色のトナーカートリッジを正しい位置にセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

9G　X　トナー　カクニン（X は K または Y、M、C）　　（警告メッセージ）

原　因　一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある

処置 1　表示された色のトナーカートリッジに問題がないか確認してください。

処置 2　処置 1 を行ってもメッセージが表示され、印字品質に問題がある場合は、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換することをおすすめします。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

A4　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

A5　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

A7　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D0　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D1　ブンカツメモリ　フル

原　因　分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（➞ HP-GL ユーザーズガイド）

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D1　リプロットバッファフル

原　因　リプロットバッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。(→ HP-GL ユーザーズガイド)

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D1　ポリゴンバッファフル

原　因　ポリゴンバッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、印刷しなおします。(→ HP-GL ユーザーズガイド)

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D8　レイアウト　エラー

原　因　メモリ不足によりページをレイアウトできない

処置 1　LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。(→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ)

処置 2　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、空きメモリを増やすためにハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおして印刷しなおします。(プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。)

処置 3　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

D8　バージョン　エラー

原　因　LBP5400 用でないプリンタドライバから印刷した

処　置　LBP5400 用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。

D8　シンタックス　エラー

原　因　LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた

処置 1　［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。

処置 2　印刷するデータを確認して、印刷しなおしてください。

D8　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D9　IMG　データ　エラー

原　因　TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている

処　置　本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　IMG　サンショウ　エラー

原　因　TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている

処　置　本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

E7　テイチャクキ　カクニン

原　因　定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない

処　置　定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。（➞ 紙づまりのメッセージが消えないときは：P.5-21）

EM　サーバセッテイ　エラー　（警告メッセージ）

原　因　E メール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった、あるいは POP3 サーバの設定が正しくない

処　置　リモート UI もしくは N/W ステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。（➞E メール印刷ができなかったときには：P.2-38）

EM　E メールアクセス　エラー　（警告メッセージ）

原　因　POP3 サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった

処　置　POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

F2　フォント　ミジッソウ　＜自動エラースキップ可＞

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた

処置 1　［オンライン］を押すと、間引き描画で印刷を継続します。

処置 2　メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。

F9-nn　チェックプリンタ（nn は 2 桁の英数字）

原　因　印刷データ処理中にトラブルが発生した

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

FF　フォント　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。

処置 2　LIPS のコマンドをプログラミングして印刷したときは、不要な文字セットを消去してから印刷しなおします。（→プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」）

FM　サイズ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。

FM　ザヒョウテン　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。

HF　ハードディスク　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　ハードディスクの空き容量が足りなくなった

処置 1　［オンライン］を押すと、現在行っている処理を無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置 2　ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。

PC　XXX ヨウシニ　コウカン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因　アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

処置 1　選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18）

処置 2　手差しトレイの場合は手差しトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。（➞ 手差しトレイから印刷する：P.3-34）

処置 3　［給紙選択］で、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択してください。（➞ 給紙元の選択：P.3-14）

処置 4　［オンライン］を押し、セットされている用紙に強制的に印刷してください。手差しトレイの場合、手差しトレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

重要　「PC　XXX ヨウシニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに前カバーまたは上カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

SL　トナー　カクニン

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジに梱包材が付いている

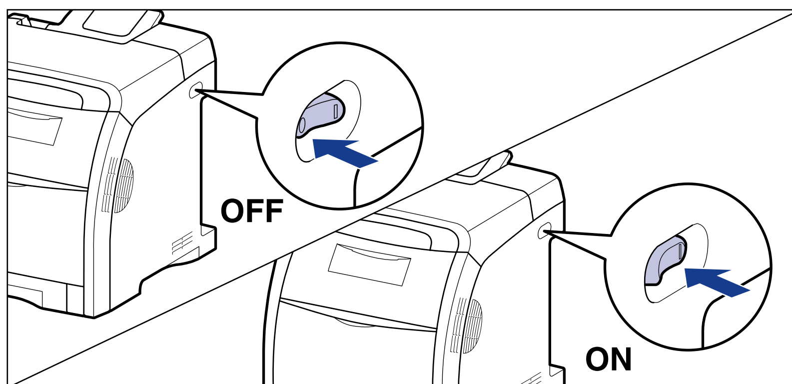
処　置　トナーカートリッジの梱包材を取り外してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnnn （n は英数字）	プリンタ内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	プリンタの定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

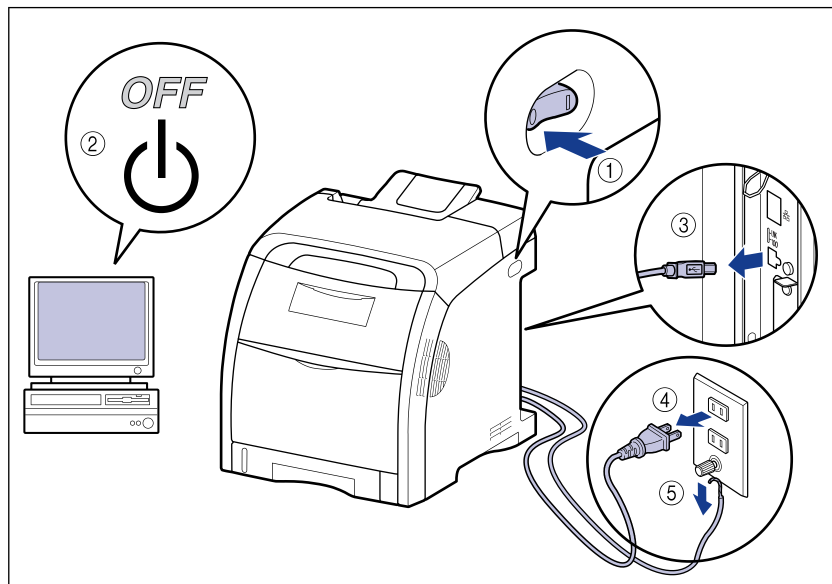


メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします ①。
USBケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして ②、USBケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバーをお知らせください。



不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

正しい印刷結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（➞P.5-31）、「サービスコール表示」（➞P.5-50）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（➞P.5-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- ここでは、LIPS プリンタドライバの操作方法で説明しています。BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」に記載されている「6. トラブルシューティング」を参照してください。
- BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合、「処置」に記載されているプリンタドライバの設定は行えません。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因 1　電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置　電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 2　延長コードを使用したりタコ足配線をしている

処　置　壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因 3　ブレーカが落ちている

処　置　配電盤のブレーカをオンにします。

原因 4　電源コード内部で断線している

処　置　同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

プリンタが動かない

原因 1 オフラインになっている

処　置 ［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（➞ オンラインとオフライン：P.2-13）

原因 2 メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置 ［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.2-55）

原因 3 インタフェースケーブルが外れている

処　置 インタフェースケーブルをコンピュータおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（➞設置ガイド「第 2 章 プリンタの設置」）

原因 4 本プリンタやオプション品に故障がある

処　置 ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（➞　メッセージ一覧：P.5-31、サービスコール表示：P.5-50）

プリントサーバのランプがすべて消灯している

原因 1 LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置 1 LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

処置 2 他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

原因 2 ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置 1 ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置 2 ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因 3 クロスタイプの LAN ケーブルを使っている。

処置 1 ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置 2 クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因４　ハブと通信できない

処置１　ハブの電源がオンになっていることを確認します。

処置２　接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（➞LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置３　ハブを交換します。

原因５　プリントサーバのハードウェアに異常がある

処　置　お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

印刷が途中で止まってしまった

原　因　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.2-55）

操作パネルのランプがつかない

原因１　電源がオンになっていない

処　置　電源をオンにしてください。

原因２　スリープモードになっている

処　置　印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。

操作パネルのキーが機能しない

原因１　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.2-55）

原因２　キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置　リモートUIからキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

印刷するたびに紙づまりが起こる

原因 1 給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている

処 置 用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。(➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18、手差しトレイから印刷する：P.3-34)

原因 2 給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処 置 用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。(➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18、手差しトレイから印刷する：P.3-34)

原因 3 給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている

処 置 使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.3-3)

原因 4 LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した

処 置 横置きにセットして印刷しなおします。

原因 5 LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処 置 縦置きにセットして印刷しなおします。

原因 6 紙づまり処理が不完全である

処 置 紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。(➞ 紙づまりが起こったときには (紙づまりの除去)：P.5-4)

ハードディスクが使えない

原因 1 セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている

処 置 「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。(➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2 ハードディスクエラーが発生した

処 置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。(➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因３　ハードディスクが正しく装着されていない

処　置　電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。（→設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」）

原因４　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

ジョブが保存できない

原因１　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計2GB を超えるデータを保存することはできません。

原因２　保存できるジョブ数を超えた

処置１　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因３　保存できるジョブの容量を超えた

処置１　［オンライン］キーを押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超える印刷を保存することはできません。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

印刷結果のトラブル

意味不明の半角文字が印刷される

原因 1 動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった

処　置 動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2 LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

処　置 LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因 3 付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows から印刷した

処　置 付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。

原因 4 DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

処　置 DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。

原因 5 コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった

処　置 動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、コンピュータと接続しているインタフェースに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

指定した書体と違う書体で印字される

原　因 Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

処　置 Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

白紙のページが印刷されない

原　因　LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている

処　置　白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

最後のページが印刷できない

原　因　コンピュータからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置　[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→ 印刷を中止したいときは：P.2-55）

データが用紙をはみだした

原因 1　LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した

処　置　横置きにセットして印刷しなおします。

原因 2　LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処　置　縦置きにセットして印刷しなおします。

原因 3　データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置　データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因 4　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。（→ 給紙カセットから印刷する：P.3-18、手差しトレイから印刷する：P.3-34）

原因 5　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処置 1　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要 封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

処置 2 LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。

重要 印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

原因 6 ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

処　置 ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）

原因 7 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ 印字位置を調整する：P.4-19）

印字位置がずれてしまう

原因 1 セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている

処　置 セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 3 ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない

処　置 ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）

原因 4 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ 印字位置を調整する：P.4-19）

印字位置がだんだんずれていく

原　因　ESC/P　モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。（➞ 動作モードについて：P.2-52）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原因 1　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 2　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

処　置　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されて印刷される

原因 1　縮小印刷の設定がされている

処置 1　LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。

原因 2　ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 ➞ A4 タテ」「B4 ➞ A4 ヨコ」に設定されている

処　置　ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）

用紙にしわがよる

原因 1 給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処　置 給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18、手差しトレイから印刷する：P.3-34）

原因 2 用紙が吸湿している

処　置 未開封の新しい用紙と交換してください。

用紙がカールする

原因 1 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置 新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.3-3）

原因 2 用紙が適切でない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.3-3）

メモ 印字した面が反る場合は、セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「特殊印字処理」の「用紙カール補正」を「スル」に設定して印刷しなおします。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1 用紙が重なって送られた

処　置 給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、コート紙、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.3-18、手差しトレイから印刷する：P.3-34）

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

印字品質のトラブル

用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない

原因 1　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　トナーカートリッジを新品に交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2)

原因 2　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

白いすじが入る

原　因　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2)

部分的に白く抜ける

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.3-3)

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.3-3)

原因 3　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2)

印刷しない部分に残像が現れる

原因 1　印刷する用紙が適当でない

処　置　用紙を取り替えて印刷してください。(➞ 用紙について：P.3-3)

原因 2　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2)

印字が全体的にうすい

原因 1　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。(➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。(➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

印字が全体的に黒ずむ

原因 1　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。(➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因 1　用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置　適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.3-3)

原因 2　トナーがなくなった、またはトナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2)

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着ローラが汚れている

処　置　定着ローラを清掃してください。（→ 定着ローラを清掃する：P.4-17）

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットする：P.3-20、手差しトレイに用紙をセットする：P.3-35）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処置 1　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

処置 2　LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。

重要　印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

定着性が悪い

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→ 用紙について：P.3-3）

原因 2　用紙の種類により、定着性が悪い場合がある

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］を以下のいずれかに設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

- イメージのみ
- テキストとイメージ
- グラフィックスとイメージ
- すべて

原因 3　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

同時に使用している他の LBP5400 と色が合わない

原　因　工場出荷時の K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある

処　置　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。（➞ カラーバランスを調整したいときには：P.5-71）

重要　トナー濃度を変更すると、すべてのカラー印刷に影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定（8）のままでご使用ください。

色ずれにより正しい色（指定した色）で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1　トナーカートリッジが正しくセットされていない

処　置　トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因２　4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処置１　ユーティリティメニューの「キャリブレーション」で色ずれを調整してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 7 章 セットアップ以外のメニューの設定項目」）

処置２　「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→ トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因３　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおします。（→ 用紙について：P.3-3）

原因４　電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った

処　置　ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されていることを確認して、印刷しなおします。

メモ

- セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「初回キャリブレーション」を「ジョブゴジッコウ」を選択している場合は、電源を入れてから最初の印刷が終了したときにキャリブレーションが行われます。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- キャリブレーションを行う場合は、LIPS 機能ガイド「第7章 セットアップ以外のメニューの設定項目」を参照してください。

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう

原因１　色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置１　アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。

処置２　アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。

原因２　網点のパターンにより、色が違って見える

処置１　濃い色に変更して、印刷しなおします。

処置２　用紙の送り方向を変えてセットし、印刷しなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置 1　アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。

処置 2　プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

処置 3　プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に変更します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

写真などの印刷でディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因　画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、印刷では、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置 1　プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。

グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　細い線をきれいに印刷するために、枠線の線幅によって特殊処理が行なわれることがある

処置 1　プリンタドライバで［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにします。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［ガンマ補正］の設定を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形が印刷される、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色で印刷されない

原　因　拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した

処　置　プリンタドライバで以下の設定を行います。
［印刷品質］ページで［お気に入り］から［ビットマップ展開］を選択し、［印刷品質］の［設定］をクリックして、［モード詳細］を［高品質］に設定します。

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処置 1　細めのフォントを使用して、印刷しなおします。

処置 2　プリンタドライバで［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。

印刷する色によって印字位置がわずかにずれる

原　因　レーザプリンタは非常に精度の高い技術で作られていますが、印刷画像によっては、ごくわずかに色ずれが目立つ場合があります。これは、レーザプリンタの構造によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

処置 1　ユーティリティメニューの「キャリブレーション」で色ずれを調整してください。
(→ LIPS 機能ガイド「第 7 章 セットアップ以外のメニューの設定項目」)

処置 2　プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定すると、印字不良（色ずれ）が軽減されることがあります。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

印刷した用紙の裏が汚れる

原　因　セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った

処　置　印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認してください。

カラー印刷時に用紙の端がにじむ

原　因　［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークが付いている

処　置　プリンタドライバで［印字領域を広げて印刷する］のチェックマークを消して、印刷します。
［印字領域を広げて印刷する］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

文字や線のまわりにコンピュータのディスプレイ上にはない四角い領域が現れて、他と異なる色で印字される

原　因　OS やアプリケーションソフトによっては、設定した中間調処理や色処理と異なる処理が行われる場合がある

処置 1　プリンタドライバで［グレー補償］の設定を［すべて］または［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

処置 2　プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［高解像度］、［解像度］、［階調］、［色調］のいずれかに設定します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

処置 3　プリンタドライバで［テキスト］、［グラフィックス］、［イメージ］の［マッチング方法］を同じ設定にします。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

カラーの線や文字がかすれる

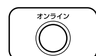
原　因　細い線や文字を使用している

処　置　プリンタドライバで［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付けます。
［色付きの線や文字を優先して印刷する］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

カラーバランスを調整したいときには

印刷結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（8）に設定されています。
操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

重要 トナー濃度を調節するときは、少しずつ調節し、コンピュータから問題のあった印刷データを再度印刷して結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（8）に戻し、お買い求めの販売店へご相談ください。



1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

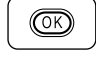


2 [セットアップ] を押します。









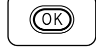
3 [◄]、[►] で「インジ　チョウセイ」を選択し、[OK] を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



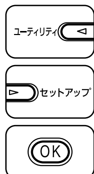




4 [◄]、[►] で目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、[OK] を押します。

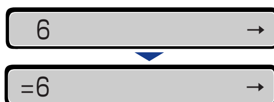


トナー濃度の設定値が表示されます。



5 [◄]、[►] で濃度を選択し、[OK] を押します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。



設定値の左に「=」が表示され、濃度が設定されます。

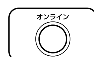
プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などが印刷されます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ
- ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、自動両面印刷が設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分印刷されます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙が印刷されます。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

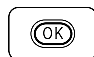
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



2 ［ユーティリティ］を押します。



ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。



3 ［OK］を押します。



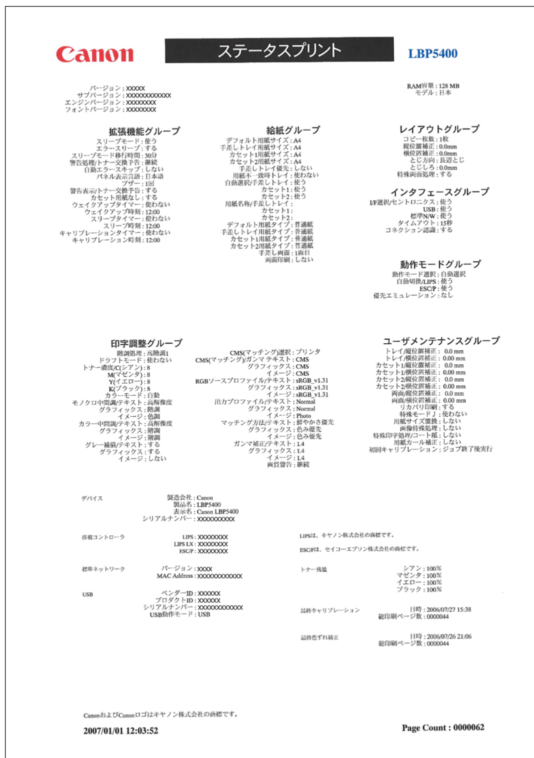
ステータスプリントが印刷されます。

5 困ったときには

4 ステータスプリントの印刷内容を確認します。

ステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、印刷枚数などを確認できます。印刷枚数は、ステータスプリントの右下にある「Page Count」で確認できます。

 重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、内容が異なることがあります。



Canon　ステータスプリント　LBP5400

バージョン : XXXXX
サブバージョン : XXXXXXXXXXXXX
エンジンバージョン : XXXXXXXX
フォントバージョン : XXXXXXXX

RAM容量 : 128 MB
モデル : 日本

拡張機能グループ
スリープモード : 使う
エラースリープ : する
スリープモード移行時間 : 30分
警告処理/トナー交換予告 : 継続
自動エラースキップ : しない
パネル表示言語 : 日本語
ブザー : 1回
警告表示/トナー交換予告 : する
カセット用紙なし : する
ウェイクアップタイマー : 使わない
ウェイクアップ時刻 : 12:00
スリープタイマー : 使わない
スリープ時刻 : 12:00
キャリブレーションタイマー : 使わない
キャリブレーション時刻 : 12:00

給紙グループ
デフォルト用紙サイズ : A4
手差しトレイ用紙サイズ : A4
カセット1用紙サイズ : A4
カセット2用紙サイズ : A4
手差しトレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/手差しトレイ : 使う
カセット1 : 使う
カセット2 : 使う
用紙名称/手差しトレイ :
カセット1 :
カセット2 :
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
手差しトレイ用紙タイプ : 普通紙
カセット1用紙タイプ : 普通紙
カセット2用紙タイプ : 普通紙
手差し両面 : 1面目
両面印刷 : しない

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦位置補正 : 0.0mm
横位置補正 : 0.0mm
とじ方向 : 長辺とじ
とじしろ : 0.0mm
特殊両面処理 : する

インタフェースグループ
I/F選択/セントロニクス : 使う
USB : 使う
標準N/W : 使う
タイムアウト : 15秒
コネクション認識 : する

動作モードグループ
動作モード選択 : 自動選択
自動切換/LIPS : 使う
ESC/P : 使う
優先エミュレーション : なし

印字調整グループ
階調処理 : 高階調1
ドラフトモード : 使わない
トナー濃度/C(シアン) : 8
M(マゼンタ) : 8
Y(イエロー) : 8
K(ブラック) : 8
カラーモード : 自動
モノクロ中間調/テキスト : 高解像度
グラフィックス : 階調
イメージ : 色調
カラー中間調/テキスト : 高解像度
グラフィックス : 階調
イメージ : 階調
グレー補償/テキスト : する
グラフィックス : する
イメージ : しない

CMS(マッチング)選択 : プリンタ
CMS(マッチング)/ガンマ テキスト : CMS
グラフィックス : CMS
イメージ : CMS
RGBソースプロファイル/テキスト : sRGB_v1.31
グラフィックス : sRGB_v1.31
イメージ : sRGB_v1.31
出力プロファイル/テキスト : Normal
グラフィックス : Normal
イメージ : Photo
マッチング方法/テキスト : 鮮やかさ優先
グラフィックス : 色み優先
イメージ : 色み優先
ガンマ補正/テキスト : 1.4
グラフィックス : 1.4
イメージ : 1.4
画質警告 : 継続

ユーザメンテナンスグループ
トレイ/縦位置補正 : 0.0 mm
トレイ/横位置補正 : 0.00 mm
カセット1/縦位置補正 : 0.0 mm
カセット1/横位置補正 : 0.00 mm
カセット2/縦位置補正 : 0.0 mm
カセット2/横位置補正 : 0.00 mm
両面/縦位置補正 : 0.0 mm
両面/横位置補正 : 0.00 mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードJ : 使わない
用紙サイズ置換 : しない
画像特殊処理 : しない
特殊印字処理/コート紙 : しない
用紙カール補正 : しない
初回キャリブレーション : ジョブ終了後実行

デバイス　製造会社 : Canon
製品名 : LBP5400
表示名 : Canon LBP5400
シリアルナンバー : XXXXXXXXXXX

搭載コントローラ　LIPS : XXXXXXXX
LIPS LX : XXXXXXXX
ESC/P : XXXXXXXX

標準ネットワーク　バージョン : XXXX
MAC Address : XXXXXXXXXXXXX

USB　ベンダーID : XXXXXX
プロダクトID : XXXXXX
シリアルナンバー : XXXXXXXXXXXXX
USB動作モード : USB

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

トナー残量　シアン : 100%
マゼンタ : 100%
イエロー : 100%
ブラック : 100%

最終キャリブレーション　日時 : 2006/07/27 15:38
総印刷ページ数 : 0000044

最終色ずれ補正　日時 : 2006/07/26 21:06
総印刷ページ数 : 0000044

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2007/01/01 12:03:52　Page Count : 0000062

付録

6
CHAPTER

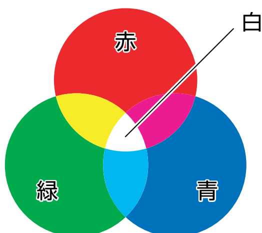
この章では、カラーのしくみ、おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

カラープリントのしくみ

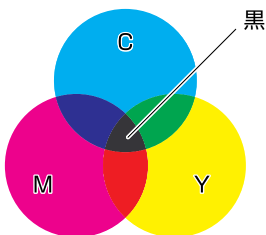
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の３原色と色の３原色

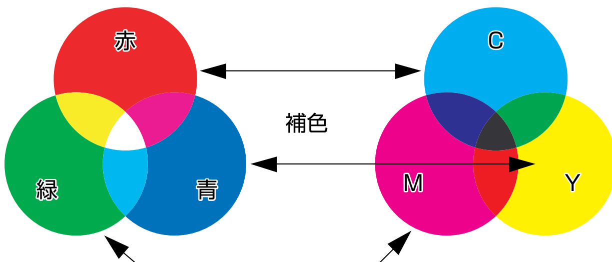
コンピュータのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の３原色で表現されます。
光の３原色は、赤と緑と青の３色をすべて混合すると白になります（加法混色）。



カラープリンタは、光の３原色ではなく、絵の具などと同じ色の３原色で色を表現します。
色の３原色は、Ｃ（シアン）、Ｍ（マゼンタ）、Ｙ（イエロー）で、３色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。



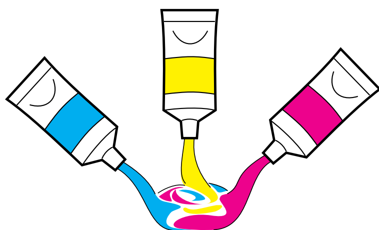
そして、光の３原色と色の３原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。



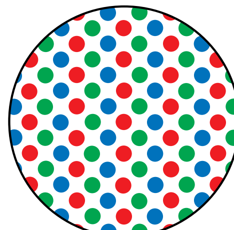
6
付録

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

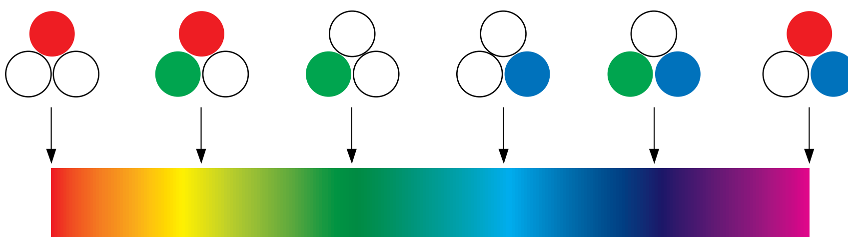


絵の具



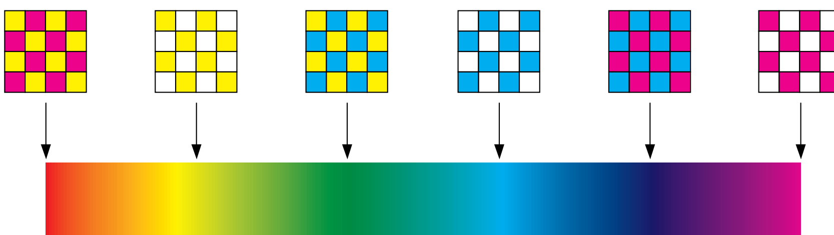
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

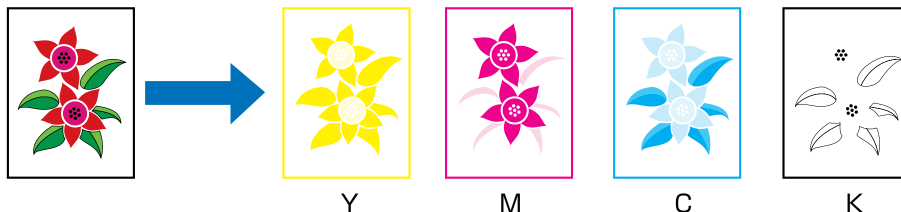
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）に K（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。



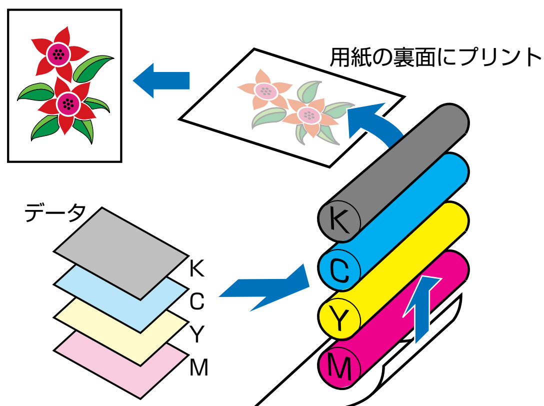
カラーバー

カラープリントのしくみ

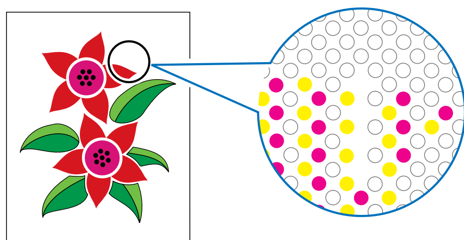
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。



そして、これらのデータをそれぞれの別のトナーカートリッジで現像して、トナーが用紙に次々に転写されます。



４色すべてのデータが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。



6
付録

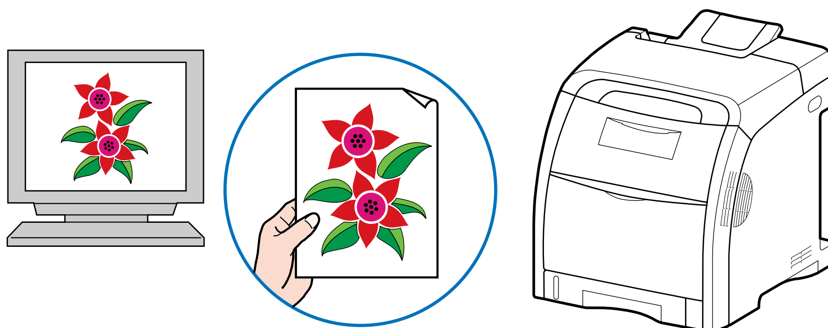
より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。

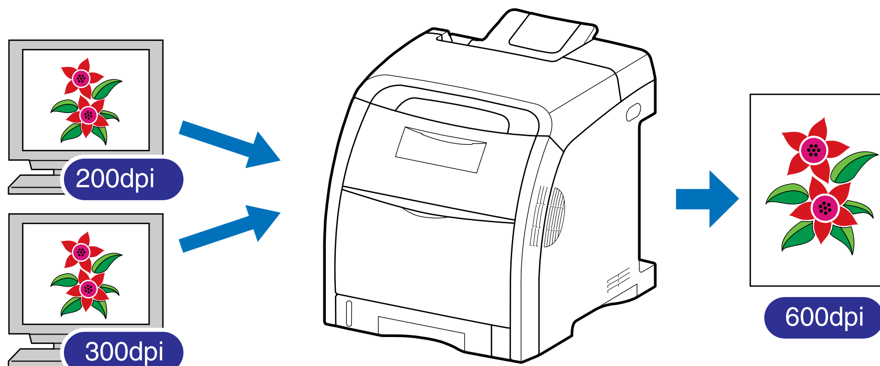
アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。



■ 解像度を合わせる

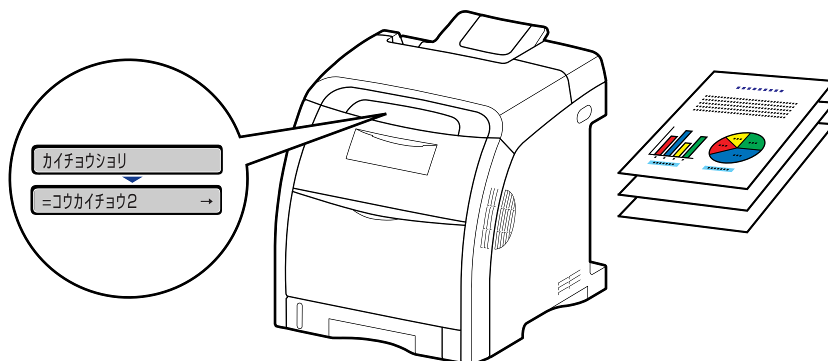
プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで 600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。

画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300 または 200dpi 解像度にしておきます。



■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

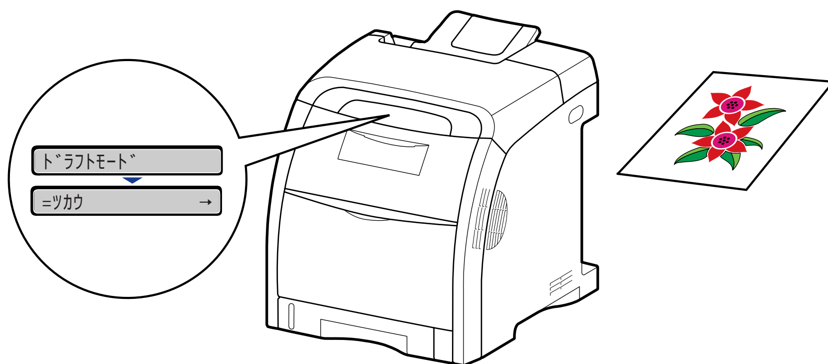
文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準の階調（高階調モード 1）でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、高階調（高階調モード 2）でプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。



メモ　階調の設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ 文字やレイアウトの確認はドラフトモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、ドラフトモードでプリントします。



メモ　ドラフトモードの設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

おもな仕様

■ ハードウェアの仕様

形式	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
解像度	600dpi
プリント速度 **普通紙 (60 ～ 105g/m^2)**	A4 連続プリント時 モノクロ：21 ページ／分 カラー：21 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップタイム（電源オンからプリンタがスタンバイになるまでの時間）	45 秒以下 * プリンタの使用条件（オプション品装着の有無や設置環境など）によって異なる場合があります。 * トナーカートリッジを交換した直後の電源オン時は 190 秒以下
リカバリータイム（スリープからスタンバイになるまでの復帰時間）	プリンタスリープモード（スリープモード 2）時：約 20 秒 * プリンタの使用条件（オプション品装着の有無や設置環境など）によって異なる場合があります。 * スリープ中にカバーを開閉した場合は約 60 秒
ファーストプリント時間	A4 プリント時 10.1 秒以下 * 出力環境によって異なる場合があります。

6

付録

用紙サイズ	カセット 1	・定形サイズ 　A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定サイズ 　縦置きの場合： 　幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm 　横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）： 　幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 215.9 mm 最大積載枚数約 250 枚（64g/m²）
	カセット 2（オプション）	・定形サイズ 　A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定サイズ 　縦置きの場合： 　幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm 　横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）： 　幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 215.9 mm 最大積載枚数約 500 枚（64g/m²）
	手差しトレイ	・定形サイズ 　A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、 　往復はがき、4 面はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号 ・ユーザ設定サイズ 　縦置きの場合： 　幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm 　横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）： 　幅 127.0 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 215.9 mm 最大積載枚数約 100 枚（64g/m²）
自動両面プリント		A4、リーガル、レター
排紙方式		フェースダウン
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 200 枚（64g/m²）
稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）		Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：6.6B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　スタンバイ時：35dB（A）以下 　プリント時：53dB（A）以下
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）		動作時平均　約 437W スタンバイ時平均　約 49W パネルオフモード（スリープモード 1）時平均　約 49W プリンタスリープモード（スリープモード 2）時平均　約 13W* 最大 920W 以下 * 工場出荷時の設定です。

消耗品	**トナーカートリッジ**	· Canon Cartridge 311 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　ブラック） · Canon Cartridge 311 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　イエロー） · Canon Cartridge 311 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　マゼンタ） · Canon Cartridge 311 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　シアン） プリント可能ページ数　約 6,000 ページ * * A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
質量	**プリンタ本体および同梱品**	プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）............................. 約 22.0kg トナーカートリッジ（1 個）.. 約 1.2kg
	消耗品およびオプション品	トナーカートリッジ（1 個） （キヤノン純正品）..約 1.2kg* ペーパーフィーダユニット PF-93 （カセットを含む）.. 約 5.0kg * トナーカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Canon Cartridge 311 Black Canon Cartridge 311 Yellow Canon Cartridge 311 Magenta Canon Cartridge 311 Cyan

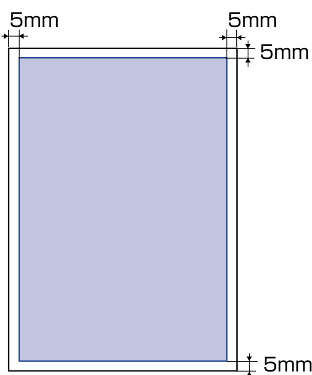
■ コントローラの仕様

CPU	PowerPC 750CXr（400MHz*） * 上限とする周波数の値です。
メモリ（RAM）容量	標準 128MB オプションの拡張 RAM により、最大 384MB まで拡張可能
ホストインタフェース	パラレルコネクタ（IEEE1284 準拠）× 1 個 USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）× 1 個 LAN コネクタ（10BASE-T/100BASE-TX）× 1 個
ユーザインタフェース	LCD16 桁× 1 段 LED ランプ 8 個 操作キー 8 個
RAM スロット	1
ROM スロット	1
拡張ボードスロット	1

■ ソフトウェアの仕様

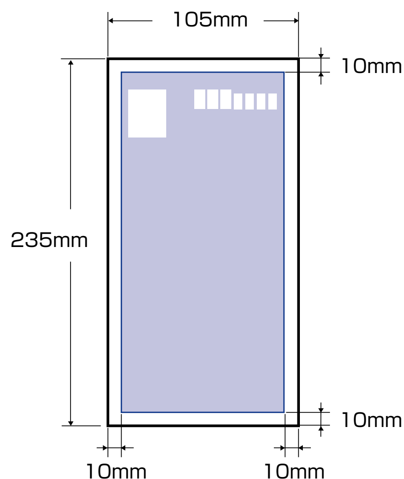
内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／LIPS III ／LIPS IV ／LIPS LX	
エミュレーションコマンド	内蔵	ESC/P
	オプション	N201（標準 N201）、I5577、HP-GL 商品名：CR-MER
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体 TMW3*、平成角ゴシック体 TMW5*、ラインプリンタボールド、ガーランド * これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol	
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。） * 用紙いっぱいにデータがある場合、「印字領域を広げて印刷する」にチェックして印刷しても、データの周囲が欠けて印字されることがあります。その場合はプリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、印刷しなおしてください。ただし、［印字領域を広げて印刷する］にチェックして印刷した場合、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。 * 封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。	

●普通紙、厚紙、OHPフィルム、コート紙、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4面はがき



重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

●封筒　（洋形4号の例）



重要

封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

6

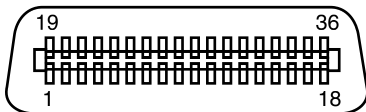
付録

インタフェース仕様

パラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）

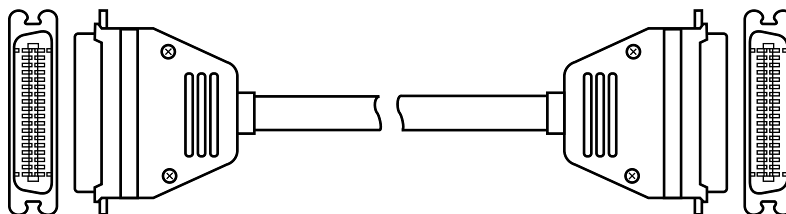
■ 信号線とピン配置

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	$\overline{\mathrm{STROBE}}$	19	GND($\overline{\mathrm{STROBE}}$)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	$\overline{\mathrm{ACK}}$	28	GND(PERROR, SELECT, $\overline{\mathrm{ACK}}$)
11	BUSY	29	GND(BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND($\overline{\mathrm{AUTOFD}}$, $\overline{\mathrm{SELECT\ IN}}$, $\overline{\mathrm{INIT}}$)
13	SELECT	31	$\overline{\mathrm{INIT}}$
14	$\overline{\mathrm{AUTOFD}}$	32	$\overline{\mathrm{FAULT}}$
15	$\overline{\mathrm{AUXOUT1}}$	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	$\overline{\mathrm{AUXOUT4}}$
18	Peripheral Logic High	36	$\overline{\mathrm{SELECT\ IN}}$



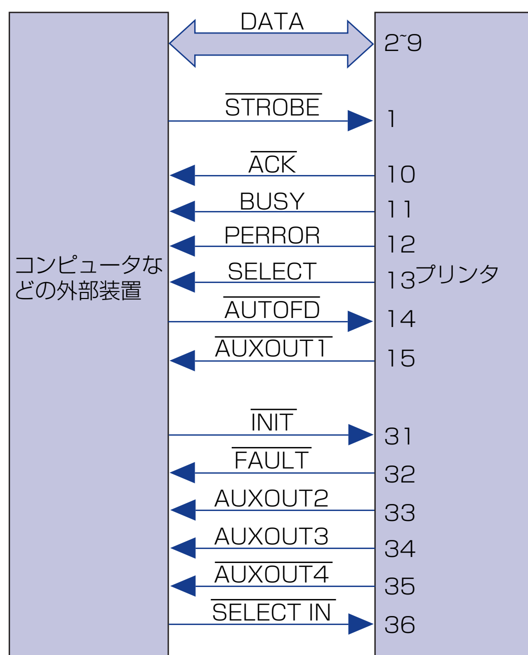
メモ　「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

■ コネクタおよびケーブル



コネクタ：第一電子工業　57FE-30360または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長3m）。

■ 結線図



6
付録

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

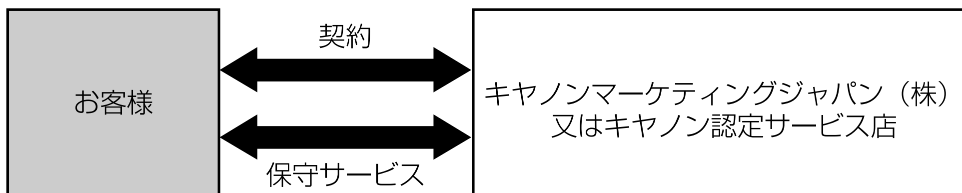
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**
従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**
万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**
キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

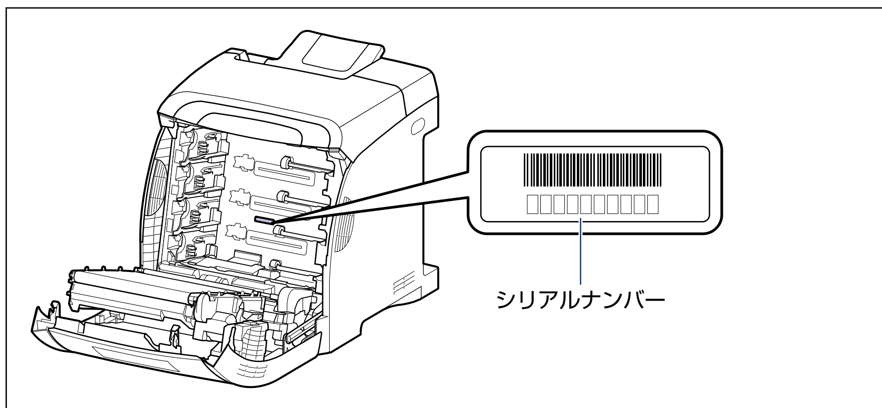
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

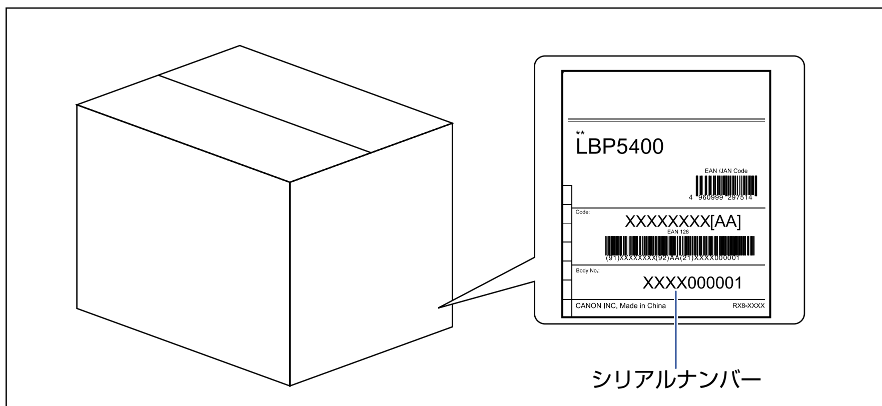
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体内部



■ 梱包箱外側



6
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。



キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0567 (08)